

# 目 次

I	はじめに	1
II	管理部門	
1	普及啓発・受診勧奨	
1-1	普及啓発事業の目的	2
1-2	がん征圧運動	2
1-3	研修会、健康教育の実施	3
1-4	普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し	3
1-5	北海道・市町村との連携	5
1-6	企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携	6
1-7	賛助会実績	7
1-8	受診勧奨	7
2	がん相談事業実績	8
3	精度管理体制	
3-1	精度管理体制	10
3-2	専門職の研鑽	10
3-3	施設認定	17
4	事後管理の流れ	18
5	安全管理体制	19
6	検診車の保有状況	20
7	施設整備に対する助成金の受け入れ状況	21
8	研究等事業	22
III	検（健）診部門	
1	検（健）診受診者数	23
2	がん検診の成績	24
3	健康診査の成績	58
4	各種検査の成績	78
5	検診センターの精密検査成績	81
	【参考資料】	
1	がん対策の背景	90
2	市町村が実施するがん検診における当協会の受託状況について	95
3	北海道対がん協会	97
3-1	概要	97
3-2	目的及び事業	98
3-3	検診センター及び細胞診センターの機能	99
3-4	機構図	101
3-5	役員等名簿	102
3-6	沿革概要	104
4	個人情報保護方針	107
5	検診センターにおける各種検診日	108
6	がん対策基金のご案内	109
7	がん征圧賛助会へのご入会案内	113

## － 本事業年報の説明 －

「2021事業年報」は、公益財団法人北海道対がん協会の令和3（2021）年度の事業を集録したものです。

なお、各資料の年度区分は次表のとおりです。

目次	ページ	区分
Ⅱ 管理部門	P 2～P 22	令和3（2021）年度
Ⅲ 検（健）診部門	P 23～P 89	令和3（2021）年度
<b>【参考資料】</b>		
1 がん対策の背景	P 90～P 94	令和3（2021）年度
2 市町村が実施するがん検診の受託状況について	P 95～P 96	令和2（2020）年度 ～令和3（2021）年度
3 北海道対がん協会 ～7 がん征圧賛助会へのご入会案内	P 97～P 113	別途記載のとおり

# I はじめに

日頃より当協会の運営並びに事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、毎年のごことでありますが、当協会の令和3年度の事業内容、検（健）診実績等を取りまとめました「2021 事業年報」をお届けいたします。ご高覧いただき、当協会に対するご理解の一助になれば幸いです。

本年5月から新型コロナウイルス感染症が感染症法上での位置づけが2類から5類に移行して、インフルエンザ感染症と同じ扱いとなり、行政指導による社会生活の制限はなくなりました。新型コロナウイルス感染症がなくなった訳ではありませんが、欧米に遅れてわが国もやっとポストコロナ時代に移行したことになります。新型コロナウイルス感染症による検（健）診事業における影響は計り知れないものがあり、新型コロナウイルス感染症流行前と比べて、当協会のがん検診受診者数は10.3%減という厳しい状況になりました。がん検診対象者（40～69才）のうちで当センターでの検診受診者数の割合はコロナ前の2019年は19.8%、コロナ禍が始まった2020年は17.4%に落ち込んで、本報告の2021年は19.0%に回復してきています。また、2022年は20.1%とコロナ前の割合を超えてきていますが、がん検診対象者（40～69才）が毎年2～3万人減少しているために、受診者数としてはコロナ前を割り込んでいる状況です。北海道の人口減や高齢化の加速を考慮すると、がん検診受診率の急激な上昇がなければ、今後のがん検診受診者数の伸びは期待できません。当協会の実績を維持するには特定健診、協会けんぽ、人間ドックの受診者の取り込みが必要になります。

私が会長に就任した2022年は、最初に胃がん検診の改革に取り組みました。札幌市などは内視鏡検診の導入が始まり、年々胃X線検診から内視鏡検診に移行する受診者が増加しています。そこで内視鏡検査室を1部屋増やして、当初の1日30名体制から現在では48名体制としました。また、内視鏡スコープをすべて細径の経鼻用スコープに変えて、受診者の受容性の向上を図りました。胃がんのX線検診ではピロリ感染診断を行って、ピロリ感染者を拾い上げて内視鏡検査と除菌治療に誘導しています。さらには、二次除菌に失敗方やペニシリンアレルギーの方などを対象に自費診療のピロリ専門外来を開設しました。また、便秘は死亡率を上げる疾患であり、その対策として便秘外来の開設も行っています。

今年度からは内科診察医を2名体制にすることで、検査室・更衣室・待合室などを改修して、特定健診、協会けんぽ、人間ドックの拡大に対応しています。今後はさらなる受診者の確保に向けた取り組みが必要になりますが、少なくとも現時点では例年より予約が取りやすい状況にあります。これらの取り組みの成果は来年以降に発刊する事業年報で報告することになります。

これからも、がんや生活習慣病に関する正しい知識の普及啓発、検（健）診事業、がんに関する調査・研究事業を柱にして、心身ともに豊かな社会の実現に向けて邁進しますので、皆様方のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

令和5年6月

公益財団法人 北海道対がん協会

会長 加藤 元嗣



## 基本理念

---

- がん及び生活習慣病等の予防、治療及び研究の事業を通じて疾病の予防と健康寿命の延伸に寄与し、地域社会の健全な発展に貢献します。
- 働く人々の健康を守り、労働衛生の向上に寄与します。

## 基本方針

---

- 普及啓発、検（健）診及び調査研究に取り組み、道民一人ひとりの疾病の予防と健康づくりを支援します。
- 最新の知識と常に高い技術の習得に努め、道民の皆様から信頼・安心・満足いただける検（健）診機関として、精度の高いサービスを提供します。
- 良質な労働衛生サービスを提供して、働く人々が健康で安心して働ける環境づくりを支援します。
- 健康づくりのプロとして仕事に誇りを持ち、活力にあふれる職場環境づくりを目指します。
- 関連する諸法令を遵守して業務を遂行し、社会的責任を果たします。
- 情報セキュリティ対策並びにリスクマネジメントの適切な実施により、お客様の個人情報の保護を行います。

## II 管理部門



# 1 普及啓発・受診勧奨

## 1-1 普及啓発事業の目的

公益財団法人北海道対がん協会では、協会の目的である、広く道民に対するがんに関する正しい知識の普及とともに、がん検診事業の推進を図るため、がん予防道民大会をはじめとした各種普及啓発事業を実施しています。また、企業のCSR活動と連携し、がん早期発見のための検診の必要性・重要性を訴えています。

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、残念ながらがん予防道民大会など全道規模のイベントを中心として、多くの普及啓発事業の開催が叶いませんでした。

## 1-2 がん征圧運動

公益財団法人日本対がん協会が、「がん征圧月間」として9月に展開する全国がん征圧運動に参加するとともに、北海道が9・10月に展開する「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」と連携し、各種事業を実施しています。

### (1) がん予防道民大会

がん予防道民大会は、がんに関する正しい知識の普及を目的として、「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」の中心行事として、北海道、北海道健康づくり財団及び開催地の市町村との共催により、数多くの協賛・後援のもと毎年開催しています。

第53回は、北見市で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

### (2) 令和3年度がん征圧月間行事

開催日	開催場所	事業名	内容	参加者数等
9月初旬	市町村、道立保健所、道内医療機関等関係機関	がん征圧月間ポスターの配布	日本対がん協会から、がん征圧月間ポスターを購入し、道内の関係機関へ配布	4,450枚
9月～10月	札幌市保健所・各区役所・保健センター、旭川市、釧路市	がん征圧懸垂幕	がん早期発見の大切さを訴える懸垂幕・看板	10機関
9/18(日)	朝日新聞	がん征圧月間特集	朝日新聞朝刊に特集記事を掲載	—
10/16(土)～29(火)	イオン余市店	がん予防普及パネル展	動画の上映、パネル・ポスターの掲示、パンフレットの配布等	—
11/1(月)～2(火)	イオンモール苫小牧			—
12/7(火)～8(水)	北海道庁1階特設展示場A			101名

### (3) リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021

毎年、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン in 室蘭」にチームTAIGANとして、参加していましたが、2021年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現地での開催は中止となりました。このため、身近で歩いた歩数が、がん征圧の募金につながる、「セルフ・ウォーク・リレー」に職員が参加しました。

### (4) 禁煙運動への参加

北海道たばこ対策連絡協議会、禁煙週間実行委員会の構成員として活動しています。

禁煙週間実行委員会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、札幌地下歩行空間における、相談や展示のイベントは中止となりました。

## 1-3 研修会、健康教育の実施

企業、学校、関係団体等からの依頼に応じて、随時講師を派遣し、健康教育を実施しました。

開催日	主催	研修会名	内容	従事者	参加者数
6/6、 11/21	北海道薬剤師会	健康サポート薬局に係る研修会（研修会A）	健康サポート薬局に期待すること－検診機関の立場から	（札幌） 企画課 久保 彩香	各約90名 （WEB）
8/27	第一生命保険(株) 札幌総合支社	がん検診受診啓発に向けた研修会	がん検診受診推進に向けて	（札幌） 企画課 久保 彩香	約600名 （WEB）
8/3、 11/9、 11/18	北海道市町村共済組合	令和3年度レディース健康セミナー	がん検診は不要不急の外出ではありません～乳がんと子宮がんについて～	（札幌） 企画課 久保 彩香	各20名
11/5	北海道静内高等学校	令和3年度がん教育講話	がんに関する知識について	（札幌） 巡回検診課 齋藤 葉月	466名
11/24	旭川市シニア大学	旭川市シニア大学講座	がん検診のススメ	（旭川） 総務・施設課 小林 あつみ	37名

## 1-4 普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し

### (1) 普及啓発資料の作成・購入

	資料名	部数
①	2020事業年報	460
②	機関誌「しらかば」 年2回発行	計2,600
③	がん検診（日本対がん協会作成リーフレット）	1,300
④	乳がん検診とブレスト・アウェアネス（日本対がん協会作成リーフレット）	1,000
⑤	女性のがんと健康	1,000
⑥	がん征圧月間ポスター（日本対がん協会作成ポスター）	4,450



(2) 教育機材の貸し出し

乳がんのしこりを体験できる「乳がん触知モデル（精密型）」のほか、乳房疾患模型、肺がん模型、喫煙タール模型、腸疾患模型の各種疾患模型や、がん予防普及パネルなどの教育機材を無償で貸出しています。（担当：経営管理部企画課）

品名	模型説明	
乳がん触知モデル （精密型）	<p>人体に近似した素材ですので、乳房自己診断技術の習得・実践に理想的なものになっています。片方の乳房には、一般的に乳がんの発生しやすい部分にいくつかのしこりを設けています。もう片方の乳房は比較しやすいよう正常なものにしてあります。</p> <p>サイズ：37×24×17cm</p>	
乳房疾患模型	<p>断面にカットされた模型により、一般的な乳房疾患（腺癌、のう胞、線維線種）や、乳房の組織構造も学ぶことができます。</p> <p>サイズ：16.5×11×7.5cm</p>	
肺がん模型	<p>健康な肺と、肺気腫・癌に侵された肺を比較しながら、色や形だけでなく、ポンプで空気を送り、膨らみ方の違いも比較することができます。</p> <p>サイズ：55×43×30cm</p>	
喫煙タール模型	<p>1日10本のたばこを吸う喫煙者の肺が、1年間の間に肺に取り込む発がん性物質、タール液がボトルに密封されています。</p> <p>サイズ：9×9×13.5cm</p>	
腸疾患模型	<p>結腸と直腸の疾患（憩室、ポリープ、痔核、慢性炎症性疾患）と、がんは様々なステージや良性、悪性の変化を見ることができます。</p> <p>サイズ：18.0×21.0×27cm</p>	

## 1-5 北海道・市町村との連携

### (1) がん及び生活習慣病対策推進会議の実施

次年度のがん及び生活習慣病対策事業を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に開催しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症が収束していないことから、オンラインにより4地域（札幌、旭川、釧路、帯広）合同で開催し、初めての試みながら75団体にご参加いただきました。

日 時：令和3年10月18日（月） 13：00～16：00

開催方法：オンライン開催（Zoom）

#### 1 北海道からの報告

- ・北海道におけるがんと生活習慣病の状況等について

#### 2 特別講演

「コロナ禍での肺がんについて」

KKR札幌医療センター 病院長 磯部 宏 医師

#### 3 北海道対がん協会からの報告

- ・令和4年度 検（健）診の実施計画について
- ・がん検診の精度管理について
- ・令和4年度 検（健）診料金の改定について

### (2) 北海道がん対策基金

「がんに負けない社会」の実現を目的として、平成27年2月9日に北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源として設立した「北海道がん対策基金」において事務局を担い、基金の運営・管理を行っています。

基金に関する詳細は p109～p112を参照してください。

### (3) 札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会

札幌市が平成29年3月に策定した「札幌市がん対策推進プラン」を推進するため、市民のほか企業等に向けた総合的ながん対策について普及啓発を実施するために設立した実行委員会において、事務局を担い、事業の実施や進捗の管理を行っています。

## 1-6 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携

### (1) 企業との連携

ピンクリボン活動などを通じて、企業のCSR活動と連携し、一般市民向けの普及啓発イベントの実施や、企業職員向けに健康教育を実施し、がんに対する意識の向上を図っています。

なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、事業形態を変更し、以下の内容となっています。

#### 【北海道コカ・コーラボトリング株式会社】

平成22(2010)年5月に北海道コカ・コーラボトリング(株)と締結した「ピンクリボン活動協定」に基づき、道内でピンクリボン活動支援自動販売機の設置を推進し、これを原資に、乳がんから女性を守るための啓発活動「リボンの願い事業」を行っています。

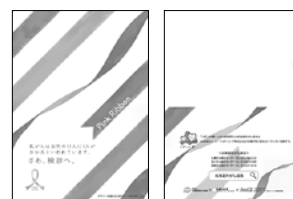
#### ①乳がん検診無料クーポン券プレゼント

満40歳以上で、乳がん検診を受診したことがない、もしくは、前回受診から3年以上受診していない道民に対して、乳がん検診の重要性を伝え、継続して受診するきっかけを提供することを目的として実施しました。

新聞やホームページ・雑誌等で募集したところ、多数の応募をいただきました。当選者のうち38名に、札幌がん検診センターで無料クーポン券を利用いただき、「コロナで外出を控えていたが、今回のことをきっかけにまた継続して検診を受けようと思った」「周りに検診を受けていない友人も多いので、声をかけたいと思う。」等の感想をいただき、目的を達成することができました。

#### ②啓発購入・作成

作成した、ふせん・バッジ・クリアファイルを活用し、道民の皆様や関係者の皆様に乳がん検診の重要性を呼びかけています。



#### ③寄付金贈呈式

例年開催している寄付金贈呈式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としました。

なお、2021年の寄付額は1,836,596円であり、事業を開始した2010年からこれまでの寄付金累計額は、約2千万円となりました。皆様からいただいた貴重な寄付金は、乳がん検診の普及啓発、乳がん検診機器の購入等に活用させていただいています。

#### 【その他のピンクリボン自動販売機設置協力企業】

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| ・株式会社伊藤園            | ・株式会社エスシー・アベックス |
| ・アサヒ飲料株式会社          | ・北海道ペンディング株式会社  |
| ・サントリービバレッジサービス株式会社 | ・イオンディライト株式会社   |
| ・株式会社アベックス          |                 |

### (2) 地区組織との連携

例年、健康推進活動を行っている組織団体と連携し、講習会の開催や各種イベントでの啓発を実施していますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、実施することができませんでした。

## 1-7 賛助会実績

がん征圧運動を広げるため、賛助会制度（個人会員（年1口1,000円）、法人会員（年1口10,000円）で、口数に制限はありません。）を設けております。会員の皆様から頂いた賛助会費は、例年のとおり道民の皆様へのがんの正しい知識の普及用教材としてのパンフレット・リーフレット等の作成・配布や、がん検診、がんの研究等に活用させていただきました。賛助会に関する詳細は113ページを参照してください。

令和3年度の会員数は個人会員256人、法人会員100件でした。

R3	札幌	旭川	釧路	計
個人	176	52	28	256
法人	52	23	25	100

## 1-8 受診勧奨

### (1) 未受診者への受診勧奨

検診対象年齢でありながら一度も受診していない方への働きかけや、1年未受診者・2年未受診者への働きかけを積極的に勧めるため、新聞折り込みチラシ等約64万枚、未受診者勧奨はがきを約1万7千枚作製し、市町村に提供しました。

### (2) 事業所などへの検診勧奨

検診が未実施の小規模事業所に対し積極的に働きかけを行い、がん検診の定着化を勧めました。

### (3) 日曜検診の実施

平日受けられない人などを対象に、3センターでがん検診と各種検診（健診）を17日間実施し、延べ2,440人が受診しました。

## 2 がん相談事業実績

がん電話相談は、昭和59年11月に開設し、専任の相談員（保健師）が、これまで延べ9,753件の電話相談に対応しています。令和3（2021）年度の相談内容は以下のとおりです。

近年は、メールによる問い合わせも増えてきており、随時対応しています。

①相談者数 : 45件

②相談者の住所 : (単位：件)

札幌市内	33
札幌市外	12
不明	0

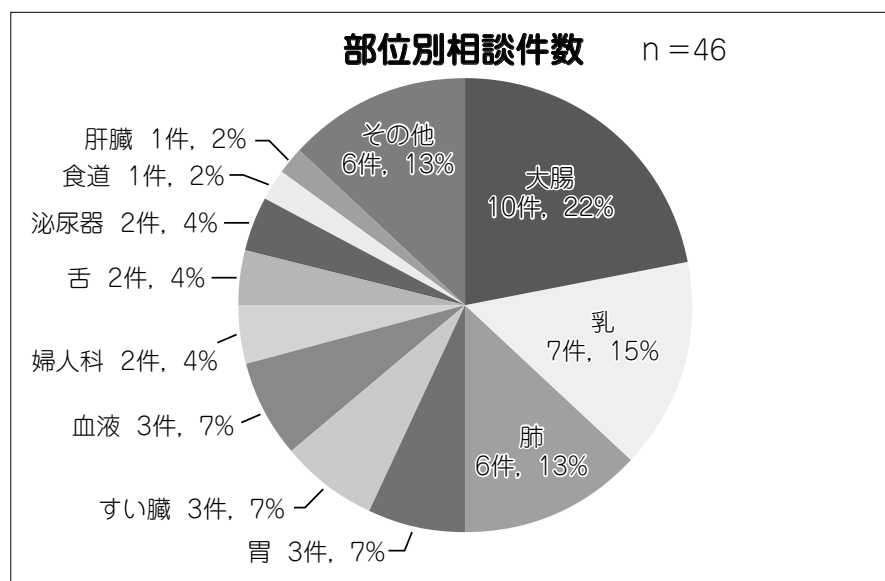
③相談者の属性 : (単位：件)

本人	30
家族	15

④相談者の年齢・性別 : (単位：件)

年代	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明	総計
男性	0	0	0	1	4	3	0	8
女性	1	1	4	7	9	15	0	37
総計	1	1	4	8	13	18	1	45

⑤ 相談者のがん部位 :



※重複した相談もあるため、相談件数と一致しない。

⑥相談内容（複数の場合は主なものを計上）：

内 容	件数	%
病気・治療内容に関すること	16	35.6
医療への不満・不安に関すること	7	15.6
専門病院に関すること	6	13.3
自覚症状あり不安に関すること	5	11.1
経済的不安に関すること	2	4.4
日常生活に関すること	1	2.2
心理的課題に関すること	1	2.2
その他	7	15.6

（コメント：特記事項）

例年、医師とのコミュニケーションが円滑でないために、不安・不満を抱いて相談に至るとい  
うケースがあったが、コロナ下により家族が医師と面会できない等の状況もあり、このことが顕  
著になったと考えられる。

例年と同様、壮年期の方からの相談が多かったが、がん治療で苦しむ40歳代の母親に「自分は  
どうしたらよいのか」と、高校生からの相談がある等、幅広い年齢層からの相談があった。

## 3 精度管理体制

### 3-1 精度管理体制

国が推奨する「がん検診事業評価のためのチェックリスト」にそって精度の高いがん検診を実施するため、業務仕様書を作成し、遵守しています。

### 3-2 専門職の研鑽

#### (1) 資格保有状況（常勤職員）

##### ■医師

資格名称	人数
日本消化器がん検診学会指導医	1
日本消化器がん検診学会総合認定医	2
日本消化器内視鏡学会指導医	3
日本消化器内視鏡学会専門医	5
日本消化器病学会指導医	2
日本消化器病学会専門医	4
日本ヘリコバクター学会 H. Pylori感染症認定医	4
日本内科学会指導医	2
日本内科学会総合内科専門医	3
日本内科学会認定医	5
日本外科学会認定医	1
日本大腸肛門病学会指導医	1
日本消化管学会指導医	2
日本消化管学会専門医	2
日本人間ドック学会認定医	1
日本人間ドック学会健診指導医	1
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医	2
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 乳がん検診超音波検査実施・判定医	1
日本乳腺甲状腺超音波医学会 乳房超音波講習会 認定医	1

日本産科婦人科学会専門医	3
日本臨床細胞学会細胞診専門医	3
国際細胞学会認定細胞診断医	1
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医	1
日本医師会認定産業医	5

■放射線技師、臨床検査技師、保健師、看護師

資格名称	人数
胃がん検診専門技師	29
胃がん検診基準撮影法指導員	5
消化器内視鏡技師	3
マンモグラフィ撮影技術認定技師	31
乳房超音波講習会履修者	15
超音波検査士（消化器）	2
超音波検査士（体表臓器）	2
超音波検査士（健診）	1
肺がんCT検診認定技師	6
細胞検査士	17
国際細胞検査士	11
健康運動指導士	3
人間ドック検診情報管理指導士	3
医療情報技師	2
医用画像情報専門技師	1
認定心電検査技師（日本臨床衛生検査技師会）	1
JHRS認定心電図専門士（日本不整脈心電学会）	2

(2) 学会・研修会活動

■学会所属状況

学会・委員会名	活動状況
日本消化器がん検診学会	学会に所属し、日本の精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器がん検診学会北海道支部	幹事を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。



日本消化器がん検診学会 北海道支部放射線研修委員会	委員長と事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器内視鏡学会	監事を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器内視鏡学会北海道支部	評議員を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器病学会	執行評議員、ガイドライン作成委員を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器病学会北海道支部	評議員を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化管学会	学術企画委員を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本神経消化器病学会	理事を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本カプセル内視鏡学会	監事を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本大腸肛門病学会	評議員を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本大腸検査学会	評議員を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本放射線技術学会北海道支部	日々の検査精度の維持・向上及び資格更新を目的に加入しています。
北海道放射線技師会	常務理事を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
札幌放射線技師会	理事を擁し、札幌市における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本乳癌検診学会	日々の検査精度の維持・向上及び資格更新を目的に加入しています。
日本婦人科がん検診学会	日々の検査精度の維持・向上及び資格更新を目的に加入しています。
日本臨床細胞学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入しています。
北海道臨床細胞学会	理事及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
北海道細胞検査士会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入しています。
日本臨床衛生検査技師会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入しています。

日本超音波医学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入しています。
日本超音波検査学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入しています。
日本CT検診学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の更新を目的に加入しています。
日本医療情報学会	医療画像を始め、医療全般にかかる患者保護や取り扱いの最新の情報を取得するため加入しています。

## ■学会発表（令和3年度）

日時	会名	演題	報告者		開催地	
			所属	氏名		
4/25	日本放射線技術学会北海道支部 (WEB)	乳房画像セミナー「マンモグラフィ・超音波検査併用検診のあれこれ 1st」 マンモグラフィ・超音波検査それぞれのメリット	札幌	放射線技術部	瀬野尾勤子	WEB
		消化管&超音波セミナー 胃X線検診追加撮影のチュートリアル vol.1	札幌	放射線技術部	荒井 雅昭	WEB
9/11 ～ 9/12	第30回日本婦人科がん検診学会 (WEB)	自己採取（尿検体）HPV検査の職場領域の子宮がん検診への導入シミュレーション	札幌	検査科	高橋 葉奈	金沢
		COVID19が子宮がん検診に与えた影響と今後の検診における課題の考察	札幌	検査科	和田 恒之	
10/23	ソノラボ・北海道乳腺超音波研究会合同企画セミナー (WEB)	乳腺エコー検査の進め方	旭川	放射線科	松井 麻未	WEB
11/20 ～ 11/21	第60回日本臨床細胞学会秋期大会	自己採取（尿検体）HPV検査の職場領域の子宮がん検診への導入シミュレーション	札幌	検査科	高橋 葉奈	米子
		子宮頸がん検診における自己採取（尿検体）でのHPV検査の可能性	札幌	検査科	和田 恒之	
3/12	日本消化器がん検診学会北海道支部放射線研修委員会 第47回放射線研修委員会研修会 (WEB)	当施設における対策型胃X線検診の被ばく線量調査及び診断参考レベルとの比較	札幌	放射線技術部	守谷 有梨	WEB
		逐年受診で発見された進行がん症例の検討	旭川	放射線科	竹内 佑衣	WEB

## ■研修会参加（令和3年度）

日時	研修会名	主催	参加者		開催地	
			所属	氏名		
4/3	第18回超音波研修会	日本消化器がん検診学会北海道支部	釧路	検査科	三浦 務	WEB

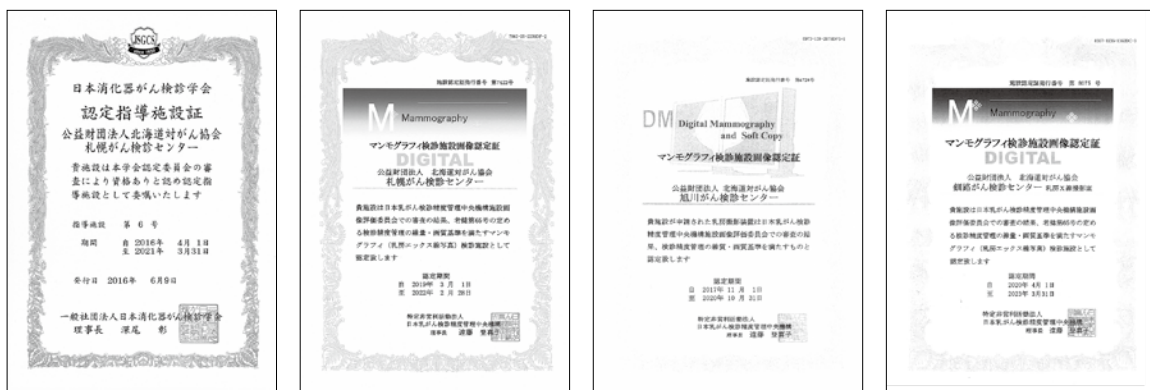
4/17	北海道内視鏡技師会 定例総会・医学講義	北海道内視鏡技師会	旭川	看護科	佐藤 和美	札幌市
					加藤 智子	
4/23	第60回日本消化器がん検診学会総会 webセミナー「検診エコー達人への道」	日本消化器がん検診学会	札幌	放射線技術部	中川 栄志	WEB
					西山 靖子	
					門司 麻央	
4/25	日本放射線技術学会北海道支部学術大会 第77回春季大会	日本放射線技術学会 北海道支部	札幌	放射線技術部	荒井 雅昭	WEB
					寺田 武司	
			旭川	放射線科	松井 麻未	WEB
5/1	新型コロナ対策研修会	日本臨床衛生検査技師会	釧路	検査科	甲原 萌菜	WEB
5/16	診療放射線技師の業務拡大に伴う統一講習会	日本放射線技師会	札幌	放射線技術部	瀬野尾勤子	札幌市
6/4 ~6	第60回日本消化器がん検診学会総会	日本消化器がん検診学会	札幌	放射線技術部	戸澤 麻美 他9名	WEB
6/10	2021年度 第1回イブニングレクチャ 「感染症covid-19対策」	札幌放射線技師会	札幌	放射線技術部	寺田 武司	WEB
6/12	第74回北海道放射線技師会学術講演会	北海道放射線技師会	札幌	放射線技術部	瀬野尾勤子	WEB
6/18 ~ 7/11	第62回日本臨床細胞学会春季大会 (Hybrid)	日本臨床細胞学会	釧路	検査科	和泉 東子 三浦 務	WEB、 現地 6/4 ~6
6/25	第7回オホーツクMSCT談話会セミナー	オホーツクMSCT談話会セミナー	旭川	放射線科	細川 肇	WEB
7/1	第20回胃X線検査を楽しく学ぶ会	胃X線検査を楽しく学ぶ会	札幌	放射線技術部	山本 仁史	WEB
7/3	第50回日本消化器がん検診学会 北海道地方会	日本消化器がん検診学会 北海道支部	札幌	放射線技術部	畠山佳那子 他6名	WEB
			旭川	放射線科	細川 肇 他6名	WEB
			釧路	放射線科	丹野 律子	WEB
					南川 浩二	
					横堀 峰義	
岡田茉佑香						
仲野 悦徳						
7/9	第315回北海道細胞検査士会道央地区例会	北海道細胞検査士会	釧路	検査科	甲原 萌菜	WEB
7/10	第52回北海道ヘリカルCT研究会	北海道ヘリカルCT研究会	札幌	放射線技術部	樋口 洋平	WEB
7/11	第8回胃X線読影勉強会	日本消化器がん検診 精度管理評価機構	札幌	放射線技術部	山本 仁史	WEB
					福原 健司	
					寺田 武司	

7/11	第8回胃X線読影勉強会	日本消化器がん検診 精度管理評価機構	旭川	放射線科	細川 肇 他5名	WEB
7/28	診療放射線技師部会研修会 第1回北海道救急医学会	日本放射線技術学会 北海道支部	札幌	放射線技術部	樋口 洋平	WEB
7/31	乳腺超音波更新講習会	日本乳がん検診精度 管理 中央機構	旭川	放射線科	山本 智美	大阪
8/19	令和3年度結核予防技術者北海道地区講習会 高齢者と外国出生者への対応、線量管理の具 体的方策	北海道	札幌	放射線技術部	山本 仁史 鈴木 康雄	WEB
9/18	北海道放射線技師会 Web 読影セミナー 「胃X線検査の撮影・読影」	北海道放射線技師会	札幌	放射線技術部	中川 栄志 瀬野尾勤子	WEB
9/23	令和3年度細胞検査士養成WS	日本細胞検査士会	釧路	検査科	甲原 萌菜	WEB
10/4 ~30	2021年度 細胞検査士認定試験WEB模擬試験	北海道細胞検査士会	釧路	検査科	甲原 萌菜	WEB
10/7	2021年度 第2回イブニングレクチャ	札幌放射線技師会	札幌	放射線技術部	寺田 武司	WEB
10/9	第8回北海道ブートキャンプ 腹部超音波研修会	北海道ブートキャン プ 腹部超音波研究会	旭川	検査科	倉兼 俊之 他2名	WEB
10/23	北海道支部・東北支部合同 第4回北海道支部学術研修会	日本消化器がん検診 精度管理評価機構 北海道支部	札幌	放射線技術部	山本 仁史 寺田 武司	WEB
10/23	ソノラボ・北海道乳腺超音波研究会合同企画 セミナー	北海道乳腺超音波研 究会	旭川	放射線科	松井 麻未	WEB
10/29	第54回細胞検査士資格認定試験	日本臨床細胞学会	釧路	検査科	甲原 萌菜	大阪市
11/1 ~30	第9回北日本支部医学検査学会	日本臨床衛生検査技 師会北日本支部	釧路	検査科	甲原 萌菜	WEB
11/3	第4回ふらっと会 研修会	北海道放射線技師会	札幌	放射線技術部	瀬野尾勤子	札幌市
11/7	日本放射線技術学会 北海道支部 第77回秋季学術大会	日本放射線技術学会 北海道支部	札幌	放射線技術部	寺田 武司	WEB
11/10 ~16	第215回北臨技WEB講習会（一般検査部門）	北海道臨床衛生検査 技師会	釧路	検査科	甲原 萌菜	WEB
11/20 ~21	第60回臨床細胞学会秋期大会	日本臨床細胞学会	旭川	検査科	中山 仁 他3名	WEB
11/27	日本放射線技術学会北海道支部学術大会 第77回秋季大会	日本放射線技術学会 北海道支部	旭川	放射線科	松井 麻未	WEB
12/6	第71回 デジタルマンモグラフィ品質管理講習会	NPO法人日本乳が ん検診精度管理中央 機構	釧路	放射線科	丹野 律子	WEB
12/18	令和3年度厚生労働省告示第273号研修	日本放射線技師会	札幌	放射線技術部	瀬野尾勤子	札幌市
12/19	ファシリテータ養成講習会	日本放射線技師会	札幌	放射線技術部	瀬野尾勤子	札幌市
12/25	乳腺超音波更新講習会	日本乳がん検診精度 管理 中央機構	札幌 旭川	放射線科 放射線科	久野 愛子 松井 麻未	名古屋 名古屋
1/20	マンモグラフィ撮影技師研修会	札幌市医師会	札幌	放射線技術部	宮腰 紗和 他8名	WEB

2/25 ~26	第29回日本CT検診学会学術集会	日本CT検診学会	釧路	放射線科	南川 浩二	ハイブリット開催
2/26	第29回日本CT検診学会学術集会	日本CT検診学会	札幌	放射線技術部	中川 栄志 福原 健司	WEB
2/26	第53回北海道ヘリカルCT研究会	北海道ヘリカルCT研究会	旭川	放射線科	細川 肇	WEB
			札幌	放射線技術部	福原 健司 樋口 洋平	WEB
2/26	日本放射線技術学会北海道支部 第5回専門委員会 合同セミナー	日本放射線技術学会 北海道支部	旭川	放射線科	松井 麻未	WEB
			札幌	放射線技術部	寺田 武司	WEB
2/26 ~ 6/30	臨床検査技師に対するタスクシフティング業務啓発事業	日本臨床衛生検査技師会	釧路	検査科	甲原 萌菜	WEB
3/9	乳腺超音波検査技師研修会	札幌市医師会	札幌	放射線技術部	瀬野尾勤子 他多数	WEB
3/10	2021年度 第3回イブニングレクチャ	札幌放射線技師会	札幌	放射線技術部	寺田 武司	
3/12	第47回放射線研修委員会研修会 (令和3年度生活習慣病検診従事者指導講習会)	日本消化器がん検診学会 北海道支部 北海道保健福祉部健康安全局共催	札幌	放射線技術部	鈴木 康雄 他多数	WEB
			旭川	放射線科	細川 肇 他10名	
3/12	第47回日本消化器がん検診学会 北海道支部放射線研修会	日本消化器がん検診学会北海道支部	釧路	放射線科	丹野 律子	WEB
					南川 浩二	
					横堀 峰義	
					岡田茉佑香 仲野 悦徳	
3/12 ~13	第12回東京マンモグラフィ技術講習会	日本乳がん検診精度管理 中央機構	旭川	放射線科	佐藤 瑠香	東京
3/13	第17回北海道胃がん検診専門技師技術研修会	日本消化器がん検診学会 北海道支部	札幌	放射線技術部	鈴木 康雄 他多数	WEB
			旭川	放射線科	細川 肇 他7名	WEB
3/13	第17回北海道胃がん検診専門技師技術研修会	日本消化器がん検診学会	釧路	放射線科	丹野 律子	WEB
					南川 浩二	
					横堀 峰義 (座長)	
3/16 ~17	令和3年度診療放射線技師研修会	日本対がん協会 結核予防会	札幌	放射線技術部	山田 裕加 他3名	WEB
			旭川	放射線科	竹内 佑衣 佐藤 瑠香	WEB
3/19	第10回胃X線読影勉強会	NPO法人日本消化器がん検診精度管理評価機構	釧路	放射線科	丹野 律子	WEB

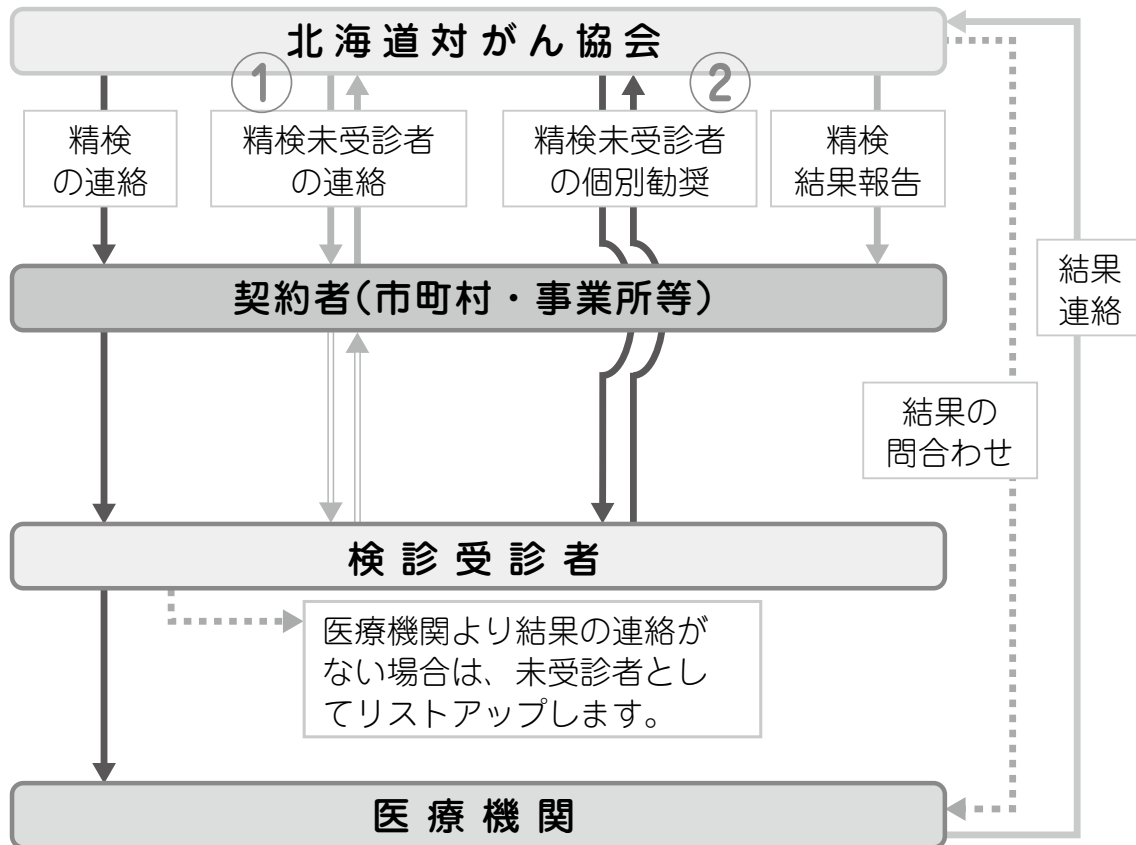
### 3-3 施設認定

- 日本消化器がん検診学会認定指導施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設認定
- 日本臨床細胞学会施設認定
- 日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診・画像認定施設
- 全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価認定施設
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 臨床検査分野（A評価）
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 胸部X線検査分野（A評価）
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 胃X線検査分野（A評価）
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 腹部超音波検査分野（A評価）



## 4 事後管理の流れ

受診者への結果通知で終了とせず、精検未受診者に対して、検診に関する専門的な知識をもった保健師が契約者と連携し、受診後数回にわたってフォローアップをすることで、精検受診につなげ、疾病の早期発見に努めています。



①未受診者調査	検診受診後2カ月が経過しても医療機関より結果の連絡がない場合は、精検未受診者としてリストアップし、契約者へ送付して、契約者から未受診者へ受診勧奨を行っていただきます。
②アンケートの送付	①を実施後、一定期間過ぎても医療機関より結果の連絡がない場合は、対がん協会から未受診者へ直接アンケートを送付し、受診を勧奨します。
結果の問い合わせ	未受診者から医療機関を受診した情報を得た場合は、医療機関へ直接結果の問い合わせを行います。

---

## 5 安全管理体制

---

医療安全管理指針を定め、日頃から事故防止に努めています。

事故が発生（または未遂）した場合は、原因を分析し、解決方法を記載した報告書を速やかに作成することとしており、報告書は全職員がシステム上で閲覧できるようになっています。また、医療安全推進会議（各科担当者）と医療安全管理委員会（課長級）をそれぞれ月1回開催し、報告書をもとに類似事例の発生予防につながる改善策を検討して、全職員へ還元しています。



## 6 検診車の保有状況

(単位：千円)

種 別	検診車名称	初年度登録 (購入年月)	購入金額	財 源 内 訳			備 考	
				北海道	団 体	自 己 資 金		
胃 肺 検 診 車	1	しらかば 107号	H 8. 3	57,917	宝くじ協会 54,000		3,917	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	2	〃 108号	H10. 3	59,220	33,811		25,409	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	3	〃 115号	H 9. 1	59,740	宝くじ協会 54,000		5,740	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	4	〃 120号	(H15. 5)	22,659			22,659	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	5	〃 122号	(H18. 1)	30,030			30,030	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	6	〃 123号	(H26. 7)	29,568			29,568	胃、肺併用車 13時 I I X線TV車
	7	〃 164号	(R 2. 9)	15,353	15,000		353	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	8	〃 165号	(R 2. 9)	25,796	25,000		796	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	9	〃 166号	(R 2. 9)	35,702	30,000		5,702	胃、肺併用車 13時 I I X線TV車
	10	〃 167号	(R 4. 3)	39,400	39,000		400	胃、肺併用車 13時 I I X線TV車
	11	〃 168号	(R 4. 11)	44,660	35,000		9,660	胃、肺併用車 F P D X線TV車
	12	〃 169号	(R 4. 11)	44,000	35,000		9,000	胃、肺併用車 F P D X線TV車
	13	〃 201号	H13. 12	60,900	宝くじ協会 56,700		4,200	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	14	〃 202号	H14. 12	62,790		宝くじ協会 62,790		胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	15	〃 203号	H21. 2	91,140		宝くじ協会 63,000	28,140	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	16	〃 204号	H27. 2	65,880		J K A 22,050	43,830	胃、肺併用車 13時 I I X線TV車
	17	〃 205号	H29. 3	69,660		宝くじ協会 69,660		胃、肺併用車 13時 I I X線TV車
	18	〃 206号	H29. 3	58,104			58,104	胃、肺併用車 13時 I I X線TV車
	19	〃 207号	H30. 2	69,876		J K A 31,000	38,876	胃、肺併用車 F P D X線TV車
	20	〃 208号	H31. 2	69,066	69,066			胃、肺併用車 F P D X線TV車
	21	〃 209号	R 2. 6	73,700	67,000		6,700	胃、肺併用車 F P D X線TV車
胸部 検診車	1	しらかば 152号	(H31. 4)	21,178	20,000		1,178	F P D胸部車
	2	C T エルム号	H19. 2	97,545		宝くじ協会 60,900	36,645	低線量ヘリカルCT検診車
婦人科 検診車	1	しらゆり 5号	H26. 12	8,850			8,850	超音波診断装置搭載
	2	しらゆり 6号	R 1. 8	48,330			48,330	超音波診断装置搭載
	3	しらゆり 7号	R 1. 12	8,580			8,580	超音波診断装置搭載
乳房 検診車	1	すずらん 5号	H24. 2	65,520		J K A 11,550	53,970	乳房X線装置(SMG対応)
	2	〃 6号	(H29. 4)	44,928			44,928	乳房X線装置(SMG対応)
	3	〃 7号	H30. 3	69,940	69,940			乳房X線装置(SMG対応) 超音波診断装置搭載
送 迎 用 バ ス	1	はまなす 1号	H22. 7	26,460			26,460	受診者送迎車
	2	はまなす 2号	H 6. 9	17,201			17,201	受診者送迎車
	3	はまなす 3号	H21. 4	6,031			6,031	受診者送迎車
	4	はまなす 4号	H29. 4	3,520			3,520	受診者送迎車
	5	はまなす 5号	H27. 3	5,908			5,908	受診者送迎車

(令和5年3月現在)

## 7 施設整備に対する助成金の受け入れ状況

(単位：円)

年度	助成機関	助成対象				年度計
		検診車	センター建設	センター設備	基本財産	
34	昭和33年度継承資金				128,699	
	北海道補助	253,550,000	769,900,000	98,500,000	300,000	
	札幌市補助	7,792,000	10,000,000	18,500,000	100,000	
	旭川市補助		45,000,000			
	郵政省配分金	37,500,000				
	郵政省ガン切手益金			10,080,000		
	日本自転車振興会	92,850,000	91,070,000	25,500,000		
	中央競馬社会福祉財団	17,000,000		15,000,000		
	日本ガン協会	3,000,000				
	日本小型自動車振興会	65,000,000	116,020,000	25,500,000		
	日本船舶振興会	38,750,000		4,600,000		
	釧路市補助			95,000,000		
63	市町村補助	3,980,000	20,617,041	22,569,884		
	一般寄付		54,240,952	81,706,454		
元	中央競馬社会福祉財団			4,750,000	4,750,000	
2	日本宝くじ協会	55,620,000				
	日本自転車振興会	21,630,000			77,250,000	
3	北海道補助	33,849,000				
	札幌市補助	27,246,000				
	中央競馬社会福祉財団			6,400,000	67,495,000	
4	北海道補助	33,849,000	40,000,000			
	旭川市補助		4,700,000			
5	秋山愛生館	15,000,000			93,549,000	
	北海道補助	54,000,000				
6	日本自転車振興会			5,072,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,000,000	66,072,000	
6	北海道補助	108,000,000			108,000,000	
7	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			12,823,000		
8	中央競馬社会福祉財団			7,400,000	74,223,000	
	北海道補助	54,000,000	97,190,000			
9	一般寄付		18,128,723		169,318,723	
	北海道補助	33,811,000	602,000,000	147,290,000		
	札幌市補助		287,744,000	73,645,000		
11	日本自転車振興会	11,550,000	40,665,515		1,196,705,515	
	一般寄付					
13	北海道補助	81,100,000				
	日本自転車振興会			13,335,000		
14	中央競馬社会福祉財団			4,000,000	98,435,000	
	北海道補助	56,700,000			56,700,000	
14	日本宝くじ協会	62,790,000			62,790,000	
16	日本対がん協会			1,000,000	1,000,000	
17	日本宝くじ協会	63,840,000			63,840,000	
18	北海道補助			5,696,000		
	日本宝くじ協会	60,900,000			66,596,000	
20	厚生労働省			95,550,000		
	日本宝くじ協会	63,000,000			158,550,000	
21	日本対がん協会			2,000,000	2,000,000	
23	J K A	11,550,000			11,550,000	
26	J K A	22,050,000			22,050,000	
28	日本宝くじ協会	69,660,000			69,660,000	
29	J K A	31,000,000				
	北海道補助	69,940,000		9,900,000	110,840,000	
30	北海道補助	70,000,000		10,000,000	80,000,000	
元	北海道補助			10,193,000	10,193,000	
2	北海道補助	140,000,000		10,800,000	150,800,000	
3	北海道補助	70,000,000		10,800,000	80,800,000	
4	北海道補助	70,000,000		10,800,000	80,800,000	
累	計	1,964,507,000	2,197,276,231	845,410,338	528,699	5,007,722,268

(令和5年3月現在)

## 8 研究等事業

年度	事業名	業務概要
平成25年度～	乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験 (J-START)	乳がん検診における超音波検査 (エコー検査) の有効性に関する研究。
平成28年度～	自然尿 (初尿) を用いたHPV検査に関する研究	一般尿でhigh risk HPVが検出されるか否かを確認、実用可能なものか検討する。
平成30年度～	発癌性ヒトパピローマウイルス感染に対する機能性食品AHCC® 摂取によるウイルス消失向上効果の検証	長期間感染することにより、子宮頸がんを引き起こす可能性の高い、高リスク型HPVの消失に対する機能性食品AHCC® 摂取の効果を検証する。
令和元年度～	血液バイオマーカー apoA2アイソフォームによる膵がん検診の臨床研究実施に向けたフィージビリティ研究：単群・介入研究	血漿バイオマーカーを用いた効果的な膵がん検診の実用化に関する研究。
令和元年度～	肺がんの胸部X線画像に対する骨透過・経時差分処理の有効性	骨透過・経時差分処理を肺がん検診に適用することにより、一般的な胸部X線画像のみの評価よりも肺がんを早期に発見できるかを明らかにする。
令和元年度～	北海道広域でのHPV自己採取検査に関する研究	子宮頸がん検診受診率向上のための有力な手段として、適切な運用方針の作成、有効性に関するエビデンスの確立を目的として、自己採取法によるHPV-DNA検査の有効性を検証する。
令和元年度～	HPVに対する抗ウイルス薬の薬効評価 (本試験) の為の測定系 (Real-time法) の検証	HPVに対する抗ウイルス薬の薬効評価の為、株式会社ジェネテック所有のReal-timePCR法を用いたHPVの定量の性能を検証する。
令和2年度～	間質性肺炎を検出するAIソフトウェアによる健診読影試験	検診センターの受診者の胸部X線画像をAIに読影させることで、AIソフトウェアがどの程度で間質性肺異常を検出できるかを評価すると同時に、間質性肺異常を持つ人の全人口に対する割合を推定する。

※令和3年度中に進行中であった事業について記載



## Ⅲ 檢（健）診部門



# 1 令和3年度 検（健）診受診者数

(単位：人)

部位別		センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
胃 が ん	巡回検診		60,963	32,972	18,641	9,350
	施設検診		18,290	9,377	5,875	3,038
	計		79,253	42,349	24,516	12,388
子 宮 が ん	巡回検診		20,591	10,043	7,454	3,094
	施設検診		32,651	18,297	10,644	3,710
	計		53,242	28,340	18,098	6,804
乳 が ん	巡回検診		23,836	11,746	8,627	3,463
	施設検診		37,393	20,949	12,404	4,040
	計		61,229	32,695	21,031	7,503
肺 が ん	巡回検診		80,147	46,682	21,515	11,950
	施設検診		23,641	12,772	7,531	3,338
	計		103,788	59,454	29,046	15,288
大 腸 が ん	巡回検診		74,745	41,543	22,262	10,940
	施設検診		40,075	22,904	11,247	5,924
	計		114,820	64,447	33,509	16,864
前立腺がん	巡回検診		11,276	5,131	3,610	2,535
	施設検診		4,786	2,834	1,212	740
	計		16,062	7,965	4,822	3,275
特定健康診査	巡回検診		43,560	21,130	14,570	7,860
	施設検診		11,297	6,352	3,709	1,236
	計		54,857	27,482	18,279	9,096
定期健康診断	巡回検診		47,154	41,596	2,800	2,758
	施設検診		8,772	6,074	1,224	1,474
	計		55,926	47,670	4,024	4,232
協会けんぽ (生活習慣病 予防健診)	巡回検診		2,049	1,008	706	335
	施設検診		9,428	5,304	2,416	1,708
	計		11,477	6,312	3,122	2,043
人間ドック	巡回検診		157	2	155	-
	施設検診		2,762	1,671	797	294
	計		2,919	1,673	952	294
骨 検 診	巡回検診		2,161	1,261	757	143
	施設検診		6,266	3,990	1,866	410
	計		8,427	5,251	2,623	553
超音波検査	婦人科	巡回検診	17,061	7,272	7,183	2,606
		施設検診	31,026	16,734	10,785	3,507
		計	48,087	24,006	17,968	6,113
	腹部	巡回検診	265	-	265	-
		施設検診	3,496	2,689	431	376
		計	3,761	2,689	696	376
合 計	巡回検診	383,965	220,386	108,545	55,034	
	施設検診	229,883	129,947	70,141	29,795	
	合 計	613,848	350,333	178,686	84,829	

※肺がん検診は肺がんCT検査を含む

※事後管理を受託していない団体の受診数を含める（以降のページの受診数とは一致しない）

## 2 がん検診の成績

### 胃がん検診

#### 《胃部エックス線検査》

令和3年度は、19台の検診車で145市町村<sup>1)</sup>を延1,977日間<sup>2)</sup>巡回したほか、83事業所<sup>3)</sup>に延382日間<sup>4)</sup>巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、80名（令和4年1月12日現在）のがんを発見した。

1) 札幌73・旭川50・釧路22市町村 2) 札幌1,033・旭川547・釧路397日間 3) 札幌33・旭川37・釧路13事業所 4) 札幌213・旭川124・釧路45日間

	合計	総数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 <sup>5)</sup>	58,531	27,527	20,029	10,975	14,016	6,021	5,156	2,839	44,515	21,506	14,873	8,136
事業所 <sup>6)</sup>	11,265	5,401	4,470	1,394	1,567	677	706	184	9,698	4,724	3,764	1,210
個人	459	423	17	19	450	422	13	15	9	1	4	4
合計	70,255	33,351	24,516	12,388	16,033	7,120	5,875	3,038	54,222	26,231	18,641	9,350

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの

#### 【受診者数の状況】

受診総数70,255名で、施設検診16,033名（22.8%）、巡回検診54,222名（77.2%）であった。前年より2,009名増加（前年比2.9%）したが、前々年の受診者数より少ない。施設検診で1,469名の増加（前年比10.1%）、巡回検診で540名の増加（前年比1.0%）であった。実施主体別では、市町村主体で3,062名の増加（前年比5.5%）、事業所検診で1,105名の減少（前年比-8.9%）、個人受診で52名の増加（前年比12.8%）が見られた。

#### 【精密検査の受診状況】

要精検者数は2,830名で、要精検率は4.0%であった。精検受診数は2,382名、精検受診率は84.2%で、前年度より1.0ポイントの下降がみられた（表1）。

男女別の要精検率は男性4.9%、女性3.2%で男性が高い。精検受診率は男性79.8%、女性90.2%であり、前年度（男性80.3%、女性91.6%）と比較して男女とも若干の減少が見られた。（表4）。

#### 【発見がんについて】

令和3年度の胃がん発見数は80名で、がん発見率は0.11%であった。男女別では、男性53名（0.16%）、女性27名（0.07%）であった。（表6）。

受診歴別では、1年前受診が最も多く（31名）、次いで初回受診（30名）、2年前受診（14名）の順に多い（表7）。

追跡調査による発見がんの内訳では、令和2年度の発見がん87名のうち、手術施行者は78名であった。手術結果の内訳は早期がん53名（67.9%）、進行がん24名（30.8%）であり、早期がんが全体の67.9%を占めている（表8）。



## 《胃内視鏡検査》

令和元年度より年々胃内視鏡検査を導入する自治体が増えており、令和3年度は市町村検診、事業所、個人受診者数のすべてで増加した。(30P・表1)

	合計	(内 訳)		
		札幌	旭川	釧路
市町村 <sup>1)</sup>	2,316	2,257	37	22
事業所	3,767	2,028	1,244	495
個人	269	207	39	23
合計	6,352	4,492	1,320	540

1) 札幌9 旭川8 市町村2 (ただし、総合健診や人間ドックとしての契約)

### ○まとめ○

胃部エックス線検査は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、令和2年度の受診者数が大幅に減少した。しかし、令和3年度の受診者数は前年度よりも増加した。新型コロナウイルス感染症の流行も落ち着きを見せ始め、がん検診を控えていた受診者も戻ってきたと考えられる。

厚生労働省が示している「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」では、“胃部エックス線検査については、当分の間、40歳以上、年1回実施しても差し支えない”という但し書きが記載されている。当協会としては、本道の広域性や医師の地域偏在の状況を鑑み、すべての市町村・事業所において早期に内視鏡検査へ切り替えるのは困難と考えることから、エックス線検査の有効性をアピールし、安全面に最大限の配慮しながら、今後も質の高いエックス線検査を提供することで、胃がんの早期発見に寄与していきたい。

要精検者に関して、男女とも精検受診率が若干ながら低下していた。令和3年の統計では、胃がんは、男性のがん死亡数において第3位、女性のがん死亡数でも第5位であり、胃がんの早期発見が重要である。新たな自治体や職場検(健)診の受託などにより、積極的に検診の機会を提供し多くの方が受診することは、胃がんの早期発見につなげていくうえで重要である。さらに、要精検となった場合は確実に精密検査を受けることも、がんを早期発見し生命をつなげるために、不可欠であると考えられる。そのため、精密検査の受診勧奨に力を入れ、精密検査の必要性を理解したうえで、受診行動を起こすための働きかけをしていきたい。

また、当センターではヘリコバクター・ピロリ菌検査にも精力的に取り組んでいる。ヘリコバクター・ピロリ菌感染は胃がんの主な原因となっており、ピロリ菌を除菌することで、胃がんの撲滅を目指している。今後は、胃がん検診の受診勧奨だけでなく、血液や便によるピロリ菌抗体、抗原検査の働きかけにも取り組んでいく。

(保健師 勝藤 瞳)

# 胃部エックス線検査

表1 胃がん検診（X線検査）実施状況及び精検結果（累計）

昭和38年度～令和3年度

年度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検受診者数	精検受診率 (%)	精検結果内訳							
						胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
S38～H28	8,061,090	860,967	10.7	759,188	88.2	12,151	64,678	56,592	97,288	12,820	208,871	31,962	270,697
H29	100,692	5,424	5.4	4,845	89.3	129	504	92	298	30	2,825	548	419
H30	97,347	4,559	4.7	4,054	88.9	159	397	88	279	30	2,147	660	297
R元	82,057	3,760	4.6	3,270	87.0	126	256	73	236	26	1,638	676	225
R2	68,246	2,618	3.8	2,231	85.2	87	180	49	200	15	1,043	489	157
R3	70,255	2,830	4.0	2,382	84.2	80	201	51	190	9	1,162	525	164
合計	8,479,687	880,158	10.4	775,970	88.2	12,732	66,216	56,945	98,491	12,930	217,686	34,860	271,959

国の指標値（許容値） 11.0%以下 70.0%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 胃がん検診（X線検査）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和38年度～令和3年度

年度	受診者数			発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総数	検診センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S38～H28	8,061,090	930,522	7,130,568	12,151	0.15	1,236	0.13	10,915	0.15	1.41
H29	100,692	25,944	74,748	129	0.13	27	0.10	102	0.14	2.38
H30	97,347	24,304	73,043	159	0.16	38	0.16	121	0.17	3.49
R元	82,057	18,464	63,593	126	0.15	15	0.08	111	0.17	3.35
R2	68,246	14,564	53,682	87	0.13	18	0.12	69	0.13	3.32
R3	70,255	16,033	54,222	80	0.11	11	0.07	69	0.13	2.83
合計	8,479,687	1,029,831	7,449,856	12,732	0.15	1,345	0.13	11,387	0.15	1.45

国の指標値（許容値）

0.11%以上

1.0%以上

表3 胃がん検診（X線検査）実施状況及び発見がん数（令和3年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率 (%)	検診センター	要精検率 (%)	検診車	要精検率 (%)	総数	精検受診率 (%)	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
札幌	33,351	7,120	26,231	1,333	4.0	212	3.0	1,121	4.3	1,140	85.5	34	0.10	4	0.06	30	0.11	2.55
旭川	24,516	5,875	18,641	1,141	4.7	259	4.4	882	4.7	943	82.6	34	0.14	6	0.10	28	0.15	2.98
釧路	12,388	3,038	9,350	356	2.9	87	2.9	269	2.9	299	84.0	12	0.10	1	0.03	11	0.12	3.37
合計	70,255	16,033	54,222	2,830	4.0	558	3.5	2,272	4.2	2,382	84.2	80	0.11	11	0.07	69	0.13	2.83

国の指標値（許容値）

11.0%以下

70%以上

0.11%以上

1.0%以上

表4 胃がん検診（X線検査）性・年齢別実施状況及び精検結果（令和3年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳							
					胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
～39	男	1,458	23	16	0	1	2	2	0	4	4	3
	女	1,048	13	10	0	1	0	0	0	4	2	3
	計	2,506	36	26	0	2	2	2	0	8	6	6
40～44	男	2,426	50	35	0	6	3	0	1	9	10	6
	女	2,497	36	31	0	3	0	1	0	14	6	7
	計	4,923	86	66	0	9	3	1	1	23	16	13
45～49	男	3,162	93	61	0	5	5	6	0	26	15	4
	女	2,808	53	40	1	2	1	0	0	24	10	2
	計	5,970	146	101	1	7	6	6	0	50	25	6
50～54	男	3,167	97	63	1	4	3	5	0	31	13	6
	女	3,284	72	61	0	13	4	3	0	22	14	5
	計	6,451	169	124	1	17	7	8	0	53	27	11
55～59	男	2,541	108	76	1	6	3	5	1	39	18	3
	女	3,311	68	60	0	5	2	4	0	28	14	7
	計	5,852	176	136	1	11	5	9	1	67	32	10
60～64	男	3,035	169	120	2	6	1	8	1	60	34	8
	女	4,436	137	119	5	6	2	9	1	59	22	15
	計	7,471	306	239	7	12	3	17	2	119	56	23
65～69	男	4,770	306	242	5	8	9	34	2	127	49	8
	女	5,852	225	210	4	20	1	12	1	107	50	15
	計	10,622	531	452	9	28	10	46	3	234	99	23
70～74	男	6,238	381	333	19	23	2	41	1	150	81	16
	女	7,468	301	281	8	28	2	17	0	157	54	15
	計	13,706	682	614	27	51	4	58	1	307	135	31
75～79	男	3,654	245	216	13	18	1	19	0	110	43	12
	女	4,130	193	180	5	19	5	9	0	84	39	19
	計	7,784	438	396	18	37	6	28	0	194	82	31
80～	男	2,759	165	144	12	9	2	12	1	71	31	6
	女	2,211	95	84	4	18	3	3	0	36	16	4
	計	4,970	260	228	16	27	5	15	1	107	47	10
合計	男	33,210	1,637	1,306	53	86	31	132	7	627	298	72
	女	37,045	1,193	1,076	27	115	20	58	2	535	227	92
	計	70,255	2,830	2,382	80	201	51	190	9	1,162	525	164

表5 胃がん検診（X線検査）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和38年度～令和2年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	61,894	9	0.01
30～39	818,337	224	0.03
40～49	2,076,407	1,054	0.05
50～59	2,156,081	2,238	0.10
60～69	2,128,436	4,687	0.22
70～	1,168,111	4,283	0.37
年齢不詳	166	0	0.00
合計	8,409,432	12,495	0.15

※10歳階級表

表6 胃がん検診（X線検査）性・年齢別受診者数と発見がん数（令和3年度）

年 齢	受診者数			発見がん数			発見率(%)		
	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	91	72	19	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	618	388	230	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	1,797	998	799	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	4,923	2,426	2,497	0	0	0	0.00	0.00	0.00
45～49	5,970	3,162	2,808	1	0	1	0.02	0.00	0.04
50～54	6,451	3,167	3,284	1	1	0	0.02	0.03	0.00
55～59	5,852	2,541	3,311	1	1	0	0.02	0.04	0.00
60～64	7,471	3,035	4,436	7	2	5	0.09	0.07	0.11
65～69	10,622	4,770	5,852	9	5	4	0.08	0.10	0.07
70～74	13,706	6,238	7,468	27	19	8	0.20	0.30	0.11
75～79	7,784	3,654	4,130	18	13	5	0.23	0.36	0.12
80～	4,970	2,759	2,211	16	12	4	0.32	0.43	0.18
合計	70,255	33,210	37,045	80	53	27	0.11	0.16	0.07

※5歳階級表

表7 胃がん検診（X線検査）性・受診歴別受診者数及び発見がん数（令和3年度）

受診歴	受診者数			発見がん数			発見率(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	17,229	7,626	9,603	30	23	7	0.17	0.30	0.07
1 年 前	36,884	19,144	17,740	31	17	14	0.08	0.09	0.08
2 年 前	12,276	4,911	7,365	14	10	4	0.11	0.20	0.05
3 年 前	3,866	1,529	2,337	5	3	2	0.13	0.20	0.09
合計	70,255	33,210	37,045	80	53	27	0.11	0.16	0.07

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 胃がん検診（X線検査）追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和38年度～令和2年度

年度	発見がん数 (A)	手術施行数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲)内視鏡切除数 (D)	D/B (%)	手術未施行数 (E)	E/A (%)
				早期がん	C/B (%)	進行がん	C/B (%)	深達度不明	C/B (%)				
S38～H27	11,851	11,074	93.4	6,717	60.7	4,159	37.6	198	1.8			771	6.5
H28	150	135	90.0	93	68.9	40	29.6	2	1.5	50	37.0	14	9.3
H29	128	119	93.0	86	72.3	32	26.9	0	0.0	46	38.7	8	6.3
H30	155	142	91.6	112	78.9	30	21.1	0	0.0	60	42.3	12	7.7
R元	124	118	95.2	86	72.9	25	21.2	7	5.9	45	38.1	6	4.8
R2	87	78	89.7	53	67.9	24	30.8	1	1.3	34	43.6	9	10.3
合計	12,495	11,666	93.4	7,147	61.3	4,310	36.9	208	1.8			820	6.6

表9 胃がん検診（X線検査）発見がんにおける手術施行者の深達度（令和2年度）

手術施行	早期		進行			深達度不明
	m	s m	m p	s s	s	
78	34	19	7	7	10	1

胃癌取扱い規約に準ずる。

# 胃内視鏡検査

表1 胃がん検診（内視鏡検査）実施状況

平成26年度～令和3年度

年度	受診者数				要精検者数					発見がん数					陽性反応 適中度 (%)
	総数	札幌	旭川	釧路	総数	札幌	旭川	釧路	要精検率 (%)	総数	札幌	旭川	釧路	発見率 (%)	
H26～H28	5,393	3,824	909	660	403	265	124	14	7.47	4	3	1	0	0.07	0.99
H29	2,308	1,483	507	318	240	94	143	3	10.40	1	1	0	0	0.04	0.42
H30	3,346	2,364	613	369	640	544	96	0	19.13	7	7	0	0	0.21	1.09
元	5,863	4,662	802	399	2,154	2,055	97	2	36.74	19	18	1	0	0.32	0.88
R 2	5,116	3,709	941	466	1,777	1,655	119	3	34.73	14	13	1	0	0.27	0.79
R 3	6,352	4,492	1,320	540	328	301	27	0	5.16	17	14	3	0	0.27	5.18
合計	28,378	20,534	5,092	2,752	5,542	4,914	606	22	19.53	62	56	6	0	0.22	1.12

国の指標値（許容値）

11.0%以下

0.11%以上 1.0%以上

表2 胃がん検診（内視鏡検査）実施状況及び精検結果

平成26年度～令和3年度

年度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検 受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳							
						胃がん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指 腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
H26～H28	5,393	403	7.5	342	84.9	4	47	13	38	8	143	86	3
H29	2,308	240	10.4	134	55.8	1	9	7	4	1	64	45	3
H30	3,346	640	19.1	485	75.8	7	22	7	10	2	105	319	13
元	5,863	2,154	36.7	1,307	60.7	19	32	20	18	4	159	1,039	16
R 2	5,116	1,777	34.7	919	51.7	14	21	14	21	6	84	738	21
R 3	6,352	328	5.2	328	100.0	17	33	5	15	2	186	65	5
合計	28,378	5,542	19.5	3,515	63.4	62	164	66	106	23	741	2,292	61

国の指標値（許容値）

11.0%以下

70.0%以上

表3 胃がん検診（内視鏡検査）性・年齢別実施状況及び精検結果（令和3年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳							
					胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
～39	男	253	5	5	0	1	0	1	0	1	2	0
	女	178	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	431	5	5	0	1	0	1	0	1	2	0
40～44	男	316	3	3	0	0	0	0	0	1	2	0
	女	265	5	5	0	0	0	0	0	3	1	1
	計	581	8	8	0	0	0	0	0	4	3	1
45～49	男	440	14	14	0	2	1	0	0	2	9	0
	女	351	7	7	0	1	1	0	0	3	2	0
	計	791	21	21	0	3	2	0	0	5	11	0
50～54	男	443	31	31	0	5	1	1	2	14	8	0
	女	573	14	14	0	1	0	0	0	12	1	0
	計	1,016	45	45	0	6	1	1	2	26	9	0
55～59	男	396	27	27	0	2	1	3	0	16	4	1
	女	372	21	21	0	2	0	1	0	14	4	0
	計	768	48	48	0	4	1	4	0	30	8	1
60～64	男	421	31	31	4	2	0	1	0	20	4	0
	女	404	12	12	0	3	0	1	0	7	0	1
	計	825	43	43	4	5	0	2	0	27	4	1
65～69	男	323	21	21	1	1	0	1	0	14	3	1
	女	316	26	26	1	3	0	2	0	14	6	0
	計	639	47	47	2	4	0	3	0	28	9	1
70～74	男	341	40	40	5	4	0	2	0	20	8	1
	女	431	22	22	0	3	0	0	0	13	6	0
	計	772	62	62	5	7	0	2	0	33	14	1
75～79	男	115	17	17	2	1	1	0	0	13	0	0
	女	182	10	10	1	0	0	0	0	7	2	0
	計	297	27	27	3	1	1	0	0	20	2	0
80～	男	88	11	11	2	2	0	0	0	6	1	0
	女	144	11	11	1	0	0	2	0	6	2	0
	計	232	22	22	3	2	0	2	0	12	3	0
合計	男	3,136	200	200	14	20	4	9	2	107	41	3
	女	3,216	128	128	3	13	1	6	0	79	24	2
	計	6,352	328	328	17	33	5	15	2	186	65	5

# 子宮頸がん検診

令和3年度は、3台の検診車で135市町村<sup>1)</sup>を延278日間<sup>2)</sup>巡回したほか、7事業所<sup>3)</sup>に延11日間<sup>4)</sup>巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、34名（令和4年11月30日現在）のがんを発見した。

1) 札幌73・旭川41・釧路21市町村 2) 札幌145・旭川89・釧路44日間 3) 札幌4・旭川1・釧路2事業所 4) 札幌8・旭川1・釧路2日間

	合計	総 数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 <sup>5)</sup>	43,199	23,177	14,660	5,362	23,910	13,650	7,632	2,628	19,289	9,527	7,028	2,734
事業所 <sup>6)</sup>	8,661	4,523	2,818	1,320	7,400	4,012	2,428	960	1,261	511	390	360
個人	1,382	640	620	122	1,341	635	584	122	41	5	36	0
合 計	53,242	28,340	18,098	6,804	32,651	18,297	10,644	3,710	20,591	10,043	7,454	3,094

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

## 【子宮頸がん検診】

子宮頸がん検診の受診総数は53,242名で、検診車による巡回検診は20,591名（38.7%）、検診センターでの施設検診は32,651名（61.3%）を実施した。前年度の受診数と比較すると4,403名増、増加率は約9%で、巡回検診・施設検診共に増加した（表1）。

検診結果は、細胞診陰性者が52,359名、細胞診陽性者が883名という結果であった（表2）。

精密検査該当者（要経過観察は除く）680名のうち、精密検査受診数は637名であり、精検受診率は93.7%、発見がん数は23名であった（表6）。また、医師から経過観察の指示がでたものは一定期間経過を追っており、経過観察該当者206名のうち経過観察受診数は175名で、経過観察後1名のがんが見つっている。（表7）。

発見がんを受診歴別で比べると初回受診者から見つかるがんは、23名中20名（87.0%）、がん発見率0.12%と圧倒的に高い（表10）。また、年齢階級別のがん発見率では30歳～34歳が0.16%と高かった（表9）。23名のうち8名（34.8%）は、CIN3（上皮内がん）である（表11）。

## ※子宮体がん検診

子宮体がん検診は不正出血等の症状のある者を対象とし、最終的には医師の判断で実施している。受診総数は1,166名で、検診車による巡回検診は206名、検診センターでの施設検診は960名を実施した（表13）。

子宮体がん検診からの精密検査該当者は28名で、そのうち26名が精密検査を受診し、精検受診率は92.9%であった。（表15）

発見がん数は10名で、年齢階級別では60～64歳で最も多く見付き、発見率は2.40%であった（表18）。

## 【まとめ】

子宮頸がん検診は、年々受診者数が減少しているが、特に令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で受診者数が大きく減少した。令和3年度は、前年度に比べ、巡回検診、施設検診ともに増加し、約9%の増加率であったが、コロナ禍以前の受診者数には達していない。また、受診者の年齢層は20歳代・30歳代が少なく、子宮頸がんの好発年齢を考えると若年層へのアプローチが必須である。そのためには、検診の重要性を理解してもらうことや受診環境の整備も含め、継続して市町村と協力しながら実施していくことが重要と考える。

（保健師 櫻井 明帆）



表1 子宮がん検診（頸部・体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和41年度～令和3年度

年 度	受診者数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S41～H28	4,445,999	1,869,389	2,576,610	7,101	0.16	3,441	0.18	3,660	0.14	
H29	64,083	41,816	22,267	70	0.11	45	0.11	25	0.11	10.54
H30	60,909	39,158	21,751	64	0.11	41	0.10	23	0.11	7.73
R元	58,376	36,528	21,848	59	0.10	33	0.09	26	0.12	6.40
R2	48,839	29,493	19,346	50	0.10	32	0.11	18	0.09	6.67
R3	53,242	32,651	20,591	34	0.06	19	0.06	15	0.07	4.67
合計	4,731,448	2,049,035	2,682,413	7,378	0.16	3,611	0.18	3,767	0.14	

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表2 子宮がん検診（頸部）細胞診結果（累計）

昭和41年度～平成21年度

年 度	受診者数	ク ラ ス 分 類							
		I	II		III			IV	V
			II	II r	III a	III	III b		
実 数									
S41～H21	3,960,673	2,365,915	1,558,220	9,561	15,945	960	6,482	2,421	1,169
率 (%)									
S41～H21	100	59.74	39.34	0.24	0.40	0.02	0.16	0.06	0.03

※自己採取を除く

平成22年度～令和3年度

年 度	受診者数	ベセスダシステム											
		NILM	ASCUS	LSIL	ASC-H	HSIL	SCC	AGC-N	AGC-F	AIS	ADC	OTH	USAT
H22～H28	485,326	479,272	2,476	1,352	384	1,343	76	136	63	4	22	1	197
H29	64,083	63,305	323	150	56	136	8	19	7	0	1	1	77
H30	60,909	59,870	519	225	93	140	11	26	5	0	3	0	17
R元	58,376	57,343	578	215	72	125	11	12	6	1	2	0	11
R2	48,839	47,931	469	184	87	117	4	33	4	0	2	0	8
R3	53,242	52,359	475	185	91	95	7	19	3	1	5	0	2
合計	770,775	760,080	4,840	2,311	783	1,956	117	245	88	6	35	2	312

注) 平成22年度よりベセスダシステムによる細胞診分類を実施  
子宮頸部癌取扱い規約に準ずる。

表3 子宮がん（頸部）検診結果（累計）

昭和41年度～令和3年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数				
		要精検者数	要精検率 (%)	経過観察者数	経過観察率 (%)	その他有所見
S41～H28	4,445,999	26,050	0.6	46,837	1.1	576,947
H29	64,083	545	0.9	250	0.4	1,690
H30	60,909	780	1.3	269	0.4	1,551
R元	58,376	834	1.4	209	0.4	1,477
R2	48,839	659	1.3	258	0.5	1,200
R3	53,242	680	1.3	206	0.4	1,511
合計	4,731,448	29,548	0.6	48,029	1.0	584,376

国の指標値（許容値） 1.4%以下

※H25までその他に超音波所見を含む

表4 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和41年度～令和3年度

年 度	受診者数			発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総 数	検診センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S41～H28	4,445,999	1,869,389	2,576,610	6,625	0.15	3,086	0.17	3,539	0.14	
H29	64,083	41,816	22,267	51	0.08	34	0.08	17	0.08	8.62
H30	60,909	39,158	21,751	52	0.09	32	0.08	20	0.09	6.67
R元	58,376	36,528	21,848	46	0.08	25	0.07	21	0.10	5.52
R2	48,839	29,493	19,346	39	0.08	24	0.08	15	0.08	5.61
R3	53,242	32,651	20,591	24	0.05	14	0.04	10	0.05	3.38
合計	4,731,448	2,049,035	2,682,413	6,837	0.14	3,215	0.16	3,622	0.14	6.99

国の指標値（許容値）

0.05%以上

4.0%以上

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表5 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（令和3年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数					精検受診者数		発見がん数						陽性反応適中度 (%)	
	総 数	検診センター	検診車	総数	要精検率 (%)	検診センター	要精検率 (%)	検診車	要精検率 (%)	総数	精検受診率 (%)	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車		発見率 (%)
札幌	28,340	18,297	10,043	483	1.70	327	1.79	156	1.55	451	93.4	14	0.05	11	0.06	3	0.03	2.90
旭川	18,098	10,644	7,454	118	0.65	72	0.68	46	0.62	110	93.2	9	0.05	3	0.03	6	0.08	7.63
釧路	6,804	3,710	3,094	79	1.16	52	1.40	27	0.87	76	96.2	1	0.01	0	0.00	1	0.03	1.27
合計	53,242	32,651	20,591	680	1.28	451	1.38	229	1.11	637	93.7	24	0.05	14	0.04	10	0.05	3.53

国の指標値（許容値）

1.4%以下

70%以上

0.05%以上

4.0%以上

※陽性反応的中度は、経過観察からの発見がんを除いて算出

表6 子宮がん検診（頸部）精密検査結果（累計）

昭和41年度～令和3年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率 (%)	組織診結果内訳						(別掲) がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		異型上皮		良 性		
				数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)	
S41～H28	26,608	26,043	97.9	4,837	18.6	6,257	24.0	14,853	57.0	
H29	545	513	94.1	36	7.0	234	45.6	232	45.2	11
H30	780	729	93.5	39	5.3	304	41.7	380	52.1	6
R元	834	775	92.9	37	4.8	289	37.3	447	57.7	2
R2	659	610	92.6	31	5.1	295	48.4	279	45.7	4
R3	680	637	93.7	20	3.1	290	45.5	234	36.7	3
合計	30,106	29,307	97.3	5,000	17.1	7,669	26.2	16,425	56.0	26

※組織診結果は確定診断ではない。自己採取を除く。

※この発見がん数は“組織診ののちすぐにごんと診断されたもの”の数であるため、表4・5とは一致しない。

表7 子宮がん検診（頸部）経過観察結果（累計）

昭和41年度～平成25年度

年 度	経過観察該当数	経過観察受診者数	率 (%)	経過観察からの 発見がん
S41～H25	54,385	49,926	91.8	2,126

平成26年度～令和3年度

年 度	経過観察該当数	経過観察 受診者数	率 (%)	経過観察からの 発見がん	該当月未到達
H26～H28	702	567	80.8	13	0
H29	250	194	77.6	4	0
H30	269	228	84.8	3	0
R元	209	167	79.9	4	1
R2	258	214	82.9	4	0
R3	206	175	85.0	1	0
合計	1,894	1,545	81.6	29	

※平成26年度よりシステム変更に伴い、経過観察該当数は当該年度に検診を受診し経過観察となった者のみとし、精検受診後に経過観察となった者や、前年度以前に検診を受診し経過観察中の者を含めないこととしたため、該当数が減少した。

表8 子宮がん検診（頸部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和41年度～令和2年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	53,439	124	0.23
30～39	938,739	2,018	0.21
40～49	1,394,531	2,294	0.16
50～59	1,215,282	1,174	0.10
60～69	810,272	639	0.08
70～	264,064	189	0.07
合計	4,676,327	6,438	0.14

※10歳階級表

※この発見がん数は体部で要精検になったもののうち頸部がんの診断を受けたものも含むため表4・5とは一致しない。

表10 子宮がん検診（頸部）受診歴別発見がん数（令和3年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	17,319	20	0.12
1年前	11,784	2	0.02
2年前	20,289	1	0.00
3年前	3,850	0	0.00
合計	53,242	23	0.04

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 子宮がん検診（頸部）年齢別受診者数と発見がん数（令和3年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～19	18	0	0.00
20～24	667	0	0.00
25～29	1,017	0	0.00
30～34	1,855	3	0.16
35～39	3,069	3	0.10
40～44	5,456	7	0.13
45～49	6,111	7	0.11
50～54	6,190	1	0.02
55～59	5,571	0	0.00
60～64	6,044	0	0.00
65～69	6,053	0	0.00
70～74	6,861	2	0.03
75～79	2,923	0	0.00
80～	1,407	1	0.07
合計	53,242	24	0.05

※5歳階級表

※この発見がん数は体部で要精検になったもののうち頸部がんの診断を受けたものも含むため表4・5及び表10とは一致しない。

表11 子宮がん検診（頸部・体部）追跡調査による発見がんの内訳（累計）  
昭和41年度～平成28年度

年 度	発見 がん数	内 訳					
		頸 部 が ん				体部がん	その他の がん
		上皮内 がん	浸潤がん		区分不能		
			I a	I b以上			
S 41～H28	7,101	4,070	1,273	856	72	452	378

平成29年度～令和3年度

年 度	発見 がん数	内 訳							
		頸 部 が ん						体部がん	その他の がん
		CIN3 (上皮内がん)	扁平上皮がん		上皮内 腺がん	腺がん	区分不能		
			I a	I b以上					
H29～H30	130	66	9	13	10	5	0	23	8
R 元	59	29	2	9	2	3	1	9	4
R 2	50	22	8	3	4	2	0	10	1
R 3	33	8	5	4	1	3	2	10	0
合計	272	125	24	29	17	13	3	52	13

※子宮頸癌取扱い規約第4版に基づき、平成29年度より変更した。

表11 【再掲】 子宮がん検診（体部）発見がんの臨床病期

昭和41年度～令和3年度

年 度	発見 がん数	0期	I a期	I b期	I c期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	肉腫	転移性 腺がん	進行期 不明	他	卵巣 がん
S 41～R 3	504	12	203	155	28	31	42	3	1	1	15	17	11

表12 子宮がん（体部）検診結果（累計）

昭和62年度～令和3年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数					細胞診結果			発見 がん数
		要精検者数	要精検率 (%)	経過 観察者数	経過観察率 (%)	その他	陰性	疑陽性	陽性	
S 62～H28	113,396	1,747	1.5	2,966	2.6		108,967	4,087	342	452
H29	2,471	22	0.9	100	4.0	2,349	2,349	100	22	13
H30	2,167	28	1.3	79	3.6	2,060	2,059	101	7	10
R 元	1,822	18	1.0	66	3.6	1,738	1,738	77	7	10
R 2	1,298	23	1.8	43	3.3	1,318	1,231	63	4	11
R 3	1,166	28	2.4	27	2.3	1,111	1,111	54	1	4
合計	122,320	1,866	1.5	3,281	2.7		117,455	4,482	383	500

※H25までその他に超音波所見を含む

表13 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～令和3年度

年 度	受診者数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S62～H28	110,935	86,113	27,283	438	0.39	338	0.39	114	0.42	
H29	2,471	2,063	408	13	0.53	8	0.39	5	1.23	54.55
H30	2,167	1,757	410	10	0.46	7	0.40	3	0.73	35.71
R元	1,822	1,612	210	10	0.55	6	0.37	4	1.90	55.56
R2	1,298	1,125	173	11	0.85	8	0.71	3	1.73	47.83
R3	1,166	960	206	4	0.34	3	0.31	1	0.49	14.29
合計	122,320	93,630	28,690	486	0.40	370	0.40	130	0.45	45.95

表14 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（令和3年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数					精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)	
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車		発見 率 (%)
札幌	574	493	81	21	3.66	16	3.25	5	6.17	20	95.2	2	0.35	2	0.41	0	0.00	9.52
旭川	554	460	94	5	0.90	4	0.87	1	1.06	4	80.0	1	0.18	1	0.22	0	0.00	20.00
釧路	38	7	31	2	5.26	0	0.00	2	6.45	2	100.0	1	2.63	0	0.00	1	3.23	50.00
合計	1,166	960	206	28	2.40	20	2.08	8	3.88	26	92.9	4	0.34	3	0.31	1	0.49	14.29

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんをのぞいて算出。

表15 子宮がん検診（体部）精密検査結果（累計）

平成23年度～令和3年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率(%)	組織診結果内訳						(別掲) がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		子宮内膜増殖症		良 性		
				数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	
H23～H28	172	167	97.1	69	41.3	11	6.6	80	47.9	6
H29	22	22	100.0	12	54.5	1	4.5	9	40.9	0
H30	28	27	96.4	10	37.0	0	0.0	17	63.0	0
R元	18	18	100.0	8	44.4	0	0.0	10	55.6	0
R2	23	23	100.0	11	47.8	0	0.0	12	52.2	2
R3	28	26	92.9	4	15.4	1	3.8	21	80.8	0
合計	291	283	97.3	114	40.3	13	4.6	149	52.7	8

※組織診結果は確定診断ではない。自己採取を除く。

※この発見がん数は“組織診ののちすぐにごんと診断されたもの”の数であるため、表12～14とは一致しない。

表16 子宮がん検診（体部）経過観察結果（累計）

平成23年度～令和3年度

年度	経過観察該当数	経過観察受診者数	経過観察からの発見がん	
			率（％）	発見がん
H23～H28	1,037	965	93.1	17
H29	100	87	87.0	1
H30	79	70	88.6	0
R元	66	60	90.9	2
R2	43	36	83.7	2
R3	27	21	77.8	0
合計	1,352	1,239	91.6	22

表17 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和62年度～令和2年度

年齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	20	0	0.00
30～39	574	4	0.70
40～49	8,562	53	0.62
50～59	24,508	310	1.26
60～69	20,777	175	0.84
70～	8,678	72	0.83
合計	63,119	614	0.97

※10歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表12・13とは一致しない。

表19 子宮がん検診（体部）受診歴別発見がん数（令和2年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率（％）
初回	793	2	0.25
1年前	140	1	0.71
2年前	187	1	0.53
3年前	46	0	0.00
合計	1,166	4	0.34

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表18 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（令和3年度）

年齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	1	0	0.00
30～34	7	0	0.00
35～39	7	0	0.00
40～44	47	0	0.00
45～49	150	0	0.00
50～54	230	0	0.00
55～59	153	1	0.65
60～64	167	4	2.40
65～69	144	3	2.08
70～74	168	2	1.19
75～79	72	0	0.00
80～	20	0	0.00
合計	1,166	10	0.86

※5歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表12～14及び表19とは一致しない。

# 乳がん検診

令和3年度は、3台の検診車で133市町村<sup>1)</sup>を延358日間<sup>2)</sup>巡回したほか、6事業所<sup>3)</sup>に延12日間<sup>4)</sup>巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、222名（令和4年1月13日現在）のがんを発見した。

1) 札幌71・旭川41・釧路21市町村    2) 札幌183・旭川123・釧路52日間    3) 札幌4・釧路2事業所    4) 札幌8・釧路4日間

	合計	総 数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 <sup>5)</sup>	50,166	26,726	17,266	6,174	27,431	15,531	8,931	2,969	22,735	11,195	8,335	3,205
事業所 <sup>6)</sup>	8,504	4,665	2,706	1,133	7,453	4,126	2,452	875	1,051	539	254	258
個人	2,559	1,304	1,059	196	2,509	1,292	1,021	196	50	12	38	0
合 計	61,229	32,695	21,031	7,503	37,393	20,949	12,404	4,040	23,836	11,746	8,627	3,463

5) 実施主体が市町村のもの    6) 実施主体が事業所のもの

## 【検診の受診状況】

受診総数61,229名のうち、検診車による巡回検診は23,836名（38.9%）、検診センターでの施設検診は37,393名（61.1%）であった。国の指針により40歳以上の乳がん検診は2年に1回の実施であるため、令和元年度の受診数と比較すると、5,146名減（検診車965名減、検診センター4,181名減）であった（表2）。

要精検者は1,216名（要精検率2.0%）、経過観察者は88名であった（表1）。

受診歴別にみると、初回受診者数は19,549名（31.9%）、1年前受診者数は13,187名（21.5%）、2年前受診者数は23,883名（39.0%）、3年前受診者数は4,610名（7.5%）であった（表8）。

## 【発見がんの状況】

令和3年度の発見がん数は222名、乳がん発見率0.36%、陽性反応適中度18.26%であった（表2、3）。

発見率を年齢階級別にみると、75～79歳が0.53%と最も高く、次いで70～74歳で0.50%、50～54歳で0.42%となっている（表7）。また、発見率を受診歴別にみると、初回受診者は0.60%と最も多く、次いで3年前受診者は0.30%、2年前受診者が0.27%、1年前受診者で0.20%であった（表8）。

平成28年度から令和2年度では、I期以下の早期がん割合は70.8%、早期がんのうち非浸潤癌の割合は25.0%であった。

## 【まとめ】

受診数は令和2年度と比較すると増加したが、令和元年度までと比較すると減少しており、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大による受診控えや巡回検診の中止などの影響が続いている。施設検診の減少については、札幌近郊には乳腺専門の医療機関が多く、検診センター以外の選択が可能なことも大きい。今後、受診数の減少に歯止めがかかるよう、検診センターでの受診のメリットを広め、どの年代の女性にも乳がんへの関心を持ってもらえるよう、啓発活動など積極的に参加していき、北海道の受診率向上に貢献していきたい。また、広大な北海道では医療機関にかかることが困難な市町村も多いため、巡回検診により、引き続きそのような市町村のニーズに応えていく必要がある。

（保健師 齊藤 葉月）



表1 検診結果（累計）

昭和48年度～令和3年度

年度	受診者数	有所見者数						有所見内訳					精検検査方法内訳		
		要精検者数	要精検率 (%)	経過観察者数	(%)	良性	(%)	乳がん	発見率 (%)	乳腺症	乳腺線維腺腫	その他	XP	超音波	細胞診
S48～H28	2,648,589	147,923	5.6	18,566	0.7	1,422	0.1	8,379	0.32	141,124	8,084	70,920	70,963	68,301	13,065
H29	71,387	1,964	2.8	87	0.1	59	0.1	306	0.43	167	111	1,437	307	638	69
H30	69,082	1,647	2.4	104	0.2	6	0.0	308	0.45	110	97	1,217	349	568	54
R元	66,375	1,488	2.2	125	0.2	6	0.0	253	0.38	79	103	1,119	232	376	38
R2	55,641	1,285	2.3	72	0.1	0	0.0	253	0.45	72	92	892	162	294	60
R3	61,229	1,216	2.0	88	0.1	0	0.0	222	0.36	65	77	712	199	337	57
合計	2,972,303	155,523	5.2	19,042	0.6	1,493	0.1	9,721	0.33	141,617	8,564	76,297	72,212	70,514	13,343

国の指標値（許容値） 11.0%以下 0.23%以上

※有所見内訳と有所見総数は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。  
 ※精検検査方法内訳と要精検者数は1人で2つ以上を実施する場合があります一致しない。

表2 実施状況及び発見がん数（累計）

昭和48年度～令和3年度

年度	受診者数			発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総数	検診センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S48～H28	2,648,589	1,571,610	1,076,979	8,379	0.32	6,057	0.39	2,322	0.22	
H29	71,387	46,238	25,149	306	0.43	215	0.46	91	0.36	15.58
H30	69,082	44,262	24,820	308	0.45	200	0.45	108	0.44	18.70
R元	66,375	41,574	24,801	253	0.38	156	0.38	97	0.39	17.00
R2	55,641	33,550	22,091	253	0.45	157	0.47	96	0.43	19.69
R3	61,229	37,393	23,836	222	0.36	135	0.36	87	0.36	18.26
合計	2,972,303	1,774,627	1,197,676	9,721	0.33	6,920	0.39	2,801	0.23	

国の指標値（許容値） 0.23%以上 2.5%以上

※平成17年度よりマンモグラフィを全員に実施。  
 ※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表3 実施状況及び発見がん数（令和3年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反応適中度 (%)
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率 (%)	検診センター	要精検率 (%)	検診車	要精検率 (%)	総数	精検受診率 (%)	総数	発見率 (%)	検診センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
札幌	32,695	20,949	11,746	518	1.6	305	1.5	213	1.8	504	97.3	116	0.35	78	0.37	38	0.32	22.39
旭川	21,031	12,404	8,627	461	2.2	257	2.1	204	2.4	456	98.9	83	0.39	47	0.38	36	0.42	18.00
釧路	7,503	4,040	3,463	237	3.2	167	4.1	70	2.0	230	97.0	23	0.31	10	0.25	13	0.38	9.70
合計	61,229	37,393	23,836	1,216	2.0	729	1.9	487	2.0	1,190	97.9	222	0.36	135	0.36	87	0.36	18.26

国の指標値（許容値） 11.0%以下 80%以上 0.23%以上 2.5%以上

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表4 精密検査（要組織診）結果（累計）

昭和53年度～平成25年度

年 度	要組織診 該当数	組 織 診 受診数	有 所 見							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳腺線維腺腫	(%)	そ の 他	(%)
S53～H25	43,534	42,573	6,512	15.0	11,886	27.3	2,896	6.7	20,545	47.2

※組織診受診者数と有所見は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察期間を経ずに診断された件数であり、表1の内訳とは一致しない。

表5 精密検査結果（累計）

平成26年度～令和3年度

年 度	要精検者数	精検 受診者数	有 所 見 内 訳							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳腺線維腺腫	(%)	そ の 他	(%)
H26～H28	7,667	7,555	889	11.6	901	11.8	466	6.1	5,553	72.4
H29	1,964	1,928	305	15.5	162	8.2	105	5.3	1,364	69.5
H30	1,647	1,628	302	18.3	110	6.7	99	6.0	1,127	68.4
R元	1,488	1,453	250	16.8	76	5.1	109	7.3	1,028	69.1
R2	1,285	1,250	252	19.6	70	5.4	90	7.0	843	65.6
R3	1,216	1,190	220	18.1	62	5.1	73	6.0	667	54.9
合計	15,267	15,004	2,218	14.5	1,381	9.0	942	6.2	10,582	69.3

※平成26年度よりシステム変更に伴い、要組織診該当数の算出が困難となったため、表4から表5へと変更した。

※精検受診者数と有所見内訳は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察からの発見がんを除く。

表6 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和48年度～令和2年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	19,423	17	0.09
30～39	354,949	402	0.11
40～49	781,280	2,517	0.32
50～59	811,832	2,522	0.31
60～69	676,286	2,678	0.40
70～	267,304	1,363	0.51
合計	2,911,074	9,499	0.33

※10歳階級表

表7 年齢別受診者数と発見がん数

(令和3年度)

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	540	0	0.00
30～34	1,163	2	0.17
35～39	2,220	2	0.09
40～44	7,132	18	0.25
45～49	7,413	21	0.28
50～54	7,618	32	0.42
55～59	6,720	26	0.39
60～64	7,124	29	0.41
65～69	7,253	23	0.32
70～74	8,379	42	0.50
75～79	3,755	20	0.53
80～	1,912	7	0.37
合計	61,229	222	0.36

※5歳階級表

表8 受診歴別発見がん数（令和3年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初回受診	19,549	118	0.60
1年前受診	13,187	26	0.20
2年前受診	23,883	64	0.27
3年前受診	4,610	14	0.30
合計	61,229	222	0.36

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 がん発見時の受診状況（累計）

昭和48年度～令和2年度

年度	発見がん数	発見時の内訳		
		初回受診	経過観察	再受診
S48～H27	8,114	4,001	1,111	3,002
H28	265	122	31	112
H29	306	145	29	132
H30	308	138	25	145
R元	253	112	21	120
R2	253	114	12	127
合計	9,499	4,632	1,229	3,638

※再受診とは・・・前回の検診から3年以内に検診を受診し、  
1ヶ月以上の経過観察指示を受けずに乳癌と診断された方

表10 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和48年度～令和2年度

年度	総数	病期分類								
		早期がん				進行がん				不明
		計	O	I	旧分類O	計	II	III	IV	
S48～H27	8,114	4,814	893	3,866	55	3,223	2,748	398	77	77
H28	265	189	43	146	0	74	70	4	0	2
H29	306	216	55	161	0	87	77	7	3	3
H30	308	228	63	165	0	78	65	12	1	2
R元	253	181	39	142	0	69	62	5	2	3
R2	253	166	45	121	0	81	72	8	1	6
合計	9,499	5,794	1,138	4,601	55	3,612	3,094	434	84	93

乳癌取扱い規約に準ずる。

# 肺がん検診

令和3年度は、19台の検診車で135市町村<sup>1)</sup>を延1,915日間<sup>2)</sup>巡回したほか、36事業所<sup>3)</sup>に延64日間<sup>4)</sup>巡回し、検診を実施した。胸部CT検査に関しては、1台の検診車で25市町村を延54日間巡回したほか、2事業所に延3日間巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、胸部X線検査では81名、胸部CT検査では11名（令和5年1月5日現在）のがんを発見した。

1) 札幌64・旭川48・釧路23市町村 2) 札幌1,000・旭川513・釧路402日間 3) 札幌18・旭川7・釧路11事業所 4) 札幌24・旭川17・釧路23日間

胸部X線検査	合計	総数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 <sup>5)</sup>	81,182	41,127	25,884	14,171	21,824	11,267	7,283	3,274	59,358	29,860	18,601	10,897
事業所 <sup>6)</sup>	4,945	2,839	1,502	604	147	112	5	30	4,798	2,727	1,497	574
個人	101	48	32	21	91	45	32	14	10	3	0	7
合計	86,228	44,014	27,418	14,796	22,062	11,424	7,320	3,318	64,166	32,590	20,098	11,478

胸部CT検査	合計	総数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 <sup>5)</sup>	1,950	432	1,262	256	130	27	103	0	1,820	405	1,159	256
事業所 <sup>6)</sup>	182	175	5	2	95	88	5	2	87	87	0	0
個人	1,352	1,232	103	17	1,352	1,232	103	17	0	0	0	0
合計	3,484	1,839	1,370	275	1,577	1,347	211	19	1,907	492	1,159	256

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

## 【胸部X線検査】

令和3年度の胸部X線検査の総受診数は86,228名（前年比8,908名増、増加率11.5%）であった。実施形態別では検診車が64,166名で、全体の74.4%を占めた。性・年齢別では、男女とも65～74歳代の受診が多く、受診歴別では1年前受診が44,901名と経年受診が全体の半数以上を占めた（表6、7）。

肺がん検診結果では、精検受診率は89.5%と前年度から1.3ポイント上昇した。がん発見率および陽性反応の中度は例年同様、いずれも国の指標を大きく上回っている（表1、2、3）。

追跡調査による発見がんの令和2年度までの累計では、発見がん2,703名のうち、0期29名、I期1,422名で、合わせると53.7%が早期に発見されている（表8）。

肺がんは罹患数が多く、死亡率も高い。とりわけ、北海道の肺がん死亡率は全国でもトップレベルである。検診では早期がんの発見率が高いため、今後も受診拡大や、継続受診に向けたアプローチが必要である。

## 【低線量CT検査】

令和3年度の胸部CT検査の総受診数は3,484名（前年比266名増、増加率8.3%）であった。精検受診率は92.2%で高い割合を維持している（表1）。肺がん発見率は0.32%で、前年度より0.27ポイント低下した。現時点では確定診断がついていない受診者もいることから、今後さらに上昇する可能性がある（表2）。

追跡調査による発見がんの令和2年度までの累計では、発見がん255名のうち、0期12名、I期185名で、合わせると77.3%が早期に発見されている（表4）。胸部X線と比べ早期の割合が高いが、確定診断が不可能な大きさのうちに要精検となったものは、がんを疑いながら経過観察を必要とされるため、検診の性質を理解したうえで受診できるよう、十分な配慮が必要である。

## 【まとめ】

胸部X線も低線量CTによる肺がん検診も、2年ぶりに受診数の増加が見られた。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行前の水準には戻っていない状況である。

検診の機会を逃してしまうと、がんの発見が遅れ、将来的に治療の選択肢が狭まったり、手遅れになることが危惧される。また、北海道は肺がんの罹患率・死亡率が全国的に高いこと、道内の呼吸器専門の医療機関に限られており、地域によっては受診が困難であるといった特性がある。

今後も引き続き、コロナ禍によって減少した受診数の回復に努めること、要精検者に対しては、早期に適切な検査や治療が受けられるよう、実施主体と連携を取りながら確実に精検受診に結びつけられるようアプローチが必要である。

（保健師 張山 朋恵）

表1 検診結果（累計）

昭和51年度～令和3年度

年 度	受 診 者 数		要精検者数	要精検率 (%)	有所見者数	有所見率 (%)	精検受診数	精検受診率 (%)
		(再掲) 喀痰実施数						
S51～H28	3,072,674	224,230	101,944	3.3	365,961	11.9	94,391	92.6
H29	89,757	2,040	2,012	2.2	11,458	12.8	1,865	92.7
H30	90,393	1,922	1,773	2.0	12,061	13.3	1,623	91.5
R元	86,950	1,654	1,700	2.0	11,485	13.2	1,536	90.4
R2	77,320	1,458	1,126	1.5	10,182	13.2	993	88.2
R3	86,228	1,490	1,122	1.3	11,766	13.6	1,004	89.5
合計	3,503,322	232,794	109,677	3.1	422,913	12.1	101,412	92.5

国の指標値（許容値）

3.0%以下

指標なし

70%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 実施状況及び発見がん数（累計）

昭和51年度～令和3年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S51～H28	3,072,674	592,817	2,479,857	2,360	0.08	508	0.09	1,852	0.07	2.31
H29	89,757	23,728	66,029	87	0.10	28	0.12	59	0.09	4.32
H30	90,393	23,111	67,282	94	0.10	24	0.10	70	0.10	5.30
R元	86,950	21,810	65,140	89	0.10	22	0.10	67	0.10	5.24
R2	77,320	19,120	58,200	73	0.09	21	0.11	52	0.09	6.48
R3	86,228	22,062	64,166	81	0.09	22	0.10	59	0.09	7.22
合計	3,503,322	702,648	2,800,674	2,784	0.08	625	0.09	2,159	0.08	2.54

国の指標値（許容値）

0.03%以上

1.3%以上

表3 実施状況及び発見がん数（令和3年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	44,014	11,424	32,590	396	0.9	83	0.7	313	1.0	355	89.6	40	0.09	8	0.07	32	0.10	10.10
旭川	27,418	7,320	20,098	405	1.5	75	1.0	330	1.6	367	90.6	23	0.08	9	0.12	14	0.07	5.68
釧路	14,796	3,318	11,478	321	2.2	76	2.3	245	2.1	282	87.9	18	0.12	5	0.15	13	0.11	5.61
合計	86,228	22,062	64,166	1,122	1.3	234	1.1	888	1.4	1,004	89.5	81	0.09	22	0.10	59	0.09	7.22

国の指標値（許容値）

3.0%以下

70%以上

0.03%以上

1.3%以上

表4 喀痰細胞診実施結果（累計・抜粋）

昭和62年度～令和3年度

年 度	喀痰検査 実施数	要精検者数	要経過 観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他の がん
				A	B	C	D	E		
S62～H28	207,536	416	3,248	670	203,239	3,221	221	185	235	41
H29	2,040	2	7	1	2,031	6	1	1	2	0
H30	1,922	2	13	0	1,907	13	2	0	3	0
R元	1,654	3	18	1	1,632	17	3	0	1	0
R2	1,458	0	6	2	1,451	5	0	0	1	0
R3	1,490	0	8	3	1,481	6	0	0	1	0
合計	216,100	423	3,300	677	211,741	3,268	227	186	243	41

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和51年度～令和2年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	223,813	4	0.002
40～49	527,451	63	0.01
50～59	740,587	242	0.03
60～69	1,098,098	1,111	0.10
70～	827,145	1,283	0.16
合計	3,417,094	2,703	0.08

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（令和3年度）

年 齢	受 診 者 数			発 見 が ん 数			発 見 率 ( % )			
	性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～39		4,980	2,600	2,380	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44		4,266	1,430	2,836	0	0	0	0.00	0.00	0.00
45～49		4,492	1,606	2,886	1	1	0	0.02	0.06	0.00
50～54		5,268	1,846	3,422	1	0	1	0.02	0.00	0.03
55～59		5,592	1,853	3,739	5	1	4	0.09	0.05	0.11
60～64		8,317	2,643	5,674	3	2	1	0.04	0.08	0.02
65～69		14,303	5,712	8,591	12	8	4	0.08	0.14	0.05
70～74		19,577	8,111	11,466	30	17	13	0.15	0.21	0.11
75～79		11,225	4,978	6,247	15	11	4	0.13	0.22	0.06
80～		8,208	4,073	4,135	14	11	3	0.17	0.27	0.07
合計		86,228	34,852	51,376	81	51	30	0.09	0.15	0.06

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数および発見がん数（令和3年度）

受診歴	受診者数			発見がん数			発見率（%）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	41,327	15,532	25,795	43	25	18	0.10	0.16	0.07
1 年 前	44,901	19,320	25,581	38	26	12	0.08	0.13	0.05
合計	86,228	34,852	51,376	81	51	30	0.09	0.15	0.06

※初回受診には、2年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和51年度～令和2年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		OC	O	I	II	III	IV	不 明
S51～H27	2,274	2	21	1,228	166	521	282	54
H28	86	0	0	44	8	21	11	2
H29	87	0	3	38	12	16	17	1
H30	94	0	2	40	17	16	14	5
R元	89	0	3	41	8	18	14	5
R2	73	0	0	31	9	13	16	4
合計	2,703	2	29	1,422	220	605	354	71

肺癌取扱い規約準ずる。

# CT肺がん検診

表1 検診結果（累計）

平成14年度～令和3年度

年 度	受診者数		要精検者数	要精検率 (%)	有所見者数	有所見率 (%)	精検受診数	精検受診率 (%)
	(再掲) 喀痰実施数							
S14～H28	37,233	5,801	1,841	4.9	28,808	77.4	1,753	95.2
H29	4,385	324	206	4.7	3,578	81.6	198	96.1
H30	4,327	291	179	4.1	3,555	82.2	174	97.2
R元	3,978	222	190	4.8	3,264	82.1	185	97.4
R2	3,218	206	131	4.1	2,658	82.6	129	98.5
R3	3,484	218	179	5.1	2,768	79.4	165	92.2
合計	56,625	7,062	2,726	4.8	44,631	78.8	2,604	95.5

注) 平成18年度より政管・ドック分も含む

表2 検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成14年度～令和3年度

年 度	受診者数			要精検者数						発見がん数					
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)
S14～H28	37,233	22,409	14,824	1,841	4.9	1,263	5.6	578	3.9	192	0.52	131	0.58	61	0.41
H29	4,385	2,151	2,234	206	4.7	79	3.7	127	5.7	21	0.48	14	0.65	7	0.31
H30	4,327	2,139	2,188	179	4.1	76	3.6	103	4.7	11	0.25	8	0.37	3	0.14
R元	3,978	1,919	2,059	190	4.8	73	3.8	117	5.7	12	0.30	4	0.21	8	0.39
R2	3,218	1,441	1,777	131	4.1	41	2.8	90	5.1	19	0.59	8	0.56	11	0.62
R3	3,484	1,577	1,907	179	5.1	53	3.4	126	6.6	11	0.32	5	0.32	6	0.31
合計	56,625	31,636	24,989	2,726	4.8	1,585	5.0	1,141	4.6	266	0.47	170	0.54	96	0.38

表3 喀痰細胞診結果（累計・抜粋）

平成14年度～令和3年度

年 度	喀痰検査 実施数	要精検者数	要経過 観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他の がん
				A	B	C	D	E		
H14～H28	5,801	8	99	22	5,682	90	6	1	2	0
H29	324	0	4	0	319	3	2	0	1	0
H30	291	1	0	0	290	0	1	0	0	1
R元	222	1	1	0	220	1	0	1	0	0
R2	206	0	1	0	205	1	0	0	0	0
R3	218	0	2	0	216	2	0	0	0	0
合計	7,062	10	107	22	6,932	97	9	2	3	1



表4 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

平成14年度～令和2年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		OC	O	I	II	III	IV	不明
H14～H27	172	0	6	133	10	15	8	0
H28	20	0	0	15	2	2	1	0
H29	21	0	2	12	1	1	3	2
H30	11	0	2	7	1	1	0	0
R元	12	0	0	10	1	0	0	1
R2	19	0	2	8	1	3	3	2
合計	255	0	12	185	16	22	15	5

注) 平成18年度より政管・ドック分も含む

# 大腸がん検診

令和3年度は、147市町村<sup>1)</sup>、30事業所<sup>2)</sup>で巡回し検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、318名（令和4年2月3日現在）のがんを発見した。

1) 札幌74・旭川50・釧路23市町村 2) 札幌10・旭川12・釧路8事業所

	合計	総数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 <sup>3)</sup>	89,903	47,159	28,667	14,077	26,602	15,138	7,877	3,587	63,301	32,021	20,790	10,490
事業所 <sup>4)</sup>	15,515	8,476	4,525	2,514	12,603	7,153	3,229	2,221	2,912	1,323	1,296	293
個人	894	629	142	123	868	612	141	115	26	17	1	8
合計	106,312	56,264	33,334	16,714	40,073	22,903	11,247	5,923	66,239	33,361	22,087	10,791

3) 実施主体が市町村のもの 4) 実施主体が事業所のもの

## 【最近の動向について（全国）】

令和3年（2021年）は、がん死亡数は381,505名（大腸がん死亡数52,418名）で前年よりも増加していた<sup>\*1</sup>。また部位別死亡数順位は、大腸がんが男性2位、女性1位であった。<sup>\*1</sup>

部位別の罹患数（2019年）は、男性2位、女性2位であった<sup>\*2</sup>。

（資料 ※1 人口動態統計による全国がん死亡データ ※2 全国がん登録による全国がん罹患データ）

## 【検診の受診状況】

受診総数は106,312名（前年比6,293名増、6.29%増）で、検診車による巡回検診が66,239名（前年比1.35%増）、検診センターでの施設検診が40,073名（前年比15.6%増）であった。

## 【精密検査の受診状況】

要精検者は7,399名（検診車4,885名、検診センター2,514名）で、要精検率は7.0%、精検受診率は77.8%であった（表3）。また男女ともに若年であるほど精検受診率は低く、最低58.5%（～39歳）、最高86.1%（75～79歳）と世代間の差が大きかった。また、性別の精検受診率は男性74.2%、女性81.2%と性別間でも差が見られた（表4）。

## 【発見がんについて】

令和3年度の発見がんの総数は318名（男性159名、女性159名）で、がん発見率は0.30%、陽性反応適中度は4.30%であった（表2、6）。

がん発見率は、性別では男性が高く、また男女とも高齢になるほど高くなる（表6）。受診歴別では、初回受診者（過去4年以上、当協会における大腸がん検診の受診歴がない者）が受診者において、25.2%を占め、がん発見率は0.54%で高い（表7）。これらは、例年と同様である。

追跡調査の結果、令和2年度の検診で発見されたがんのうち72.3%が早期がんであった（表8）。

## 【まとめ】

令和3年度の受診者数が、令和2年度よりも増加したのは、新型コロナウイルス感染症の影響で受診を控えていた検診対象者が、ワクチン接種等の感染予防行動により再び受診するようになったためと考えられる。

受診歴別では、継続受診者の割合が、例年同様約6割を占めるが、初回受診者にはがん発見率が高く、年1回の大腸がん検診の重要性を啓発して行く必要がある。

精密検査を未受診のまま、翌年の検診を受診する人もおり、検診および精密検査の目的を正しく伝えることも必要と考える。

（保健師 久保 史華）

表1 大腸がん検診結果及び精検結果（累計）

昭和62年度～令和3年度

年度	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	精検結果内訳					
						大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	その他	異常なし
S62～H28	3,083,453	305,530	9.9	259,702	85.0	9,577	3,440	252	105,581	34,009	106,843
H29	126,084	10,000	7.9	8,384	83.8	404	132	6	3,655	2,032	2,155
H30	125,893	9,267	7.4	7,708	83.2	492	132	5	673	4,537	1,869
R元	117,281	9,246	7.9	7,436	80.4	361	118	5	585	4,623	1,744
R2	100,019	8,050	8.0	6,237	77.5	270	105	8	462	3,855	1,537
R3	106,312	7,399	7.0	5,754	77.8	318	101	5	422	3,639	1,269
合計	3,659,042	349,492	9.6	295,221	84.5	11,422	4,028	281	111,378	52,695	115,417

国の指標値（許容値） 7.0%以下 70.0%以上

表2 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～令和3年度

年度	受診者数			発見がん数						陽性反応適中率(%)
	総数	検診センター	検診車	総数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)	検診車	発見率(%)	
S62～H28	3,083,453	855,161	2,228,292	9,577	0.31	2,454	0.29	7,123	0.32	3.13
H29	126,084	42,630	83,454	404	0.32	119	0.28	285	0.34	4.04
H30	125,893	42,423	83,470	492	0.39	142	0.33	350	0.42	5.31
R元	117,281	40,499	76,782	361	0.31	102	0.25	259	0.34	3.90
R2	100,019	34,663	65,356	270	0.27	80	0.23	190	0.29	3.35
R3	106,312	40,073	66,239	318	0.30	117	0.29	201	0.30	4.30
合計	3,659,042	1,055,449	2,603,593	11,422	0.31	3,014	0.29	8,408	0.32	3.27

国の指標値（許容値） 0.13%以上 1.9%以上

表3 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（令和3年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反応適中率(%)
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率(%)	検診センター	要精検率(%)	検診車	要精検率(%)	総数	要精検率(%)	総数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)	検診車	発見率(%)	
札幌	56,264	22,903	33,361	3,943	7.0	1,434	6.3	2,509	7.5	3,076	78.0	153	0.27	54	0.24	99	0.30	3.88
旭川	33,334	11,247	22,087	2,275	6.8	683	6.1	1,592	7.2	1,771	77.8	111	0.33	46	0.41	65	0.29	4.88
釧路	16,714	5,923	10,791	1,181	7.1	397	6.7	784	7.3	907	76.8	54	0.32	17	0.29	37	0.34	4.57
合計	106,312	40,073	66,239	7,399	7.0	2,514	6.3	4,885	7.4	5,754	77.8	318	0.30	117	0.29	201	0.30	4.30

国の指標値（許容値） 7.0%以下 70%以上 0.13%以上 1.9%以上

※陽性反応適中率は経過観察からの発見がんをのぞいて算出した。

表4 性・年齢別大腸がん検診実施状況及び精密検査結果（令和3年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
					大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	その他	異常なし
～39	男	1,743	76	41	0	1	0	3	22	15
	女	1,633	76	48	1	4	0	3	16	24
	計	3,376	152	89	1	5	0	6	38	39
40～44	男	2,708	142	89	3	4	0	3	45	34
	女	4,364	226	157	0	7	0	10	67	73
	計	7,072	368	246	3	11	0	13	112	107
45～49	男	3,194	156	92	4	4	0	5	55	24
	女	4,854	222	143	8	2	0	6	74	53
	計	8,048	378	235	12	6	0	11	129	77
50～54	男	3,181	197	105	0	3	0	8	59	35
	女	5,623	288	216	10	5	0	16	110	75
	計	8,804	485	321	10	8	0	24	169	110
55～59	男	3,076	212	134	16	2	0	15	83	18
	女	5,664	283	226	17	9	0	19	124	57
	計	8,740	495	360	33	11	0	34	207	75
60～64	男	3,973	332	220	16	5	1	21	142	35
	女	7,248	348	288	10	5	0	22	158	93
	計	11,221	680	508	26	10	1	43	300	128
65～69	男	6,593	548	416	26	6	0	32	303	49
	女	9,873	556	482	23	8	2	41	279	129
	計	16,466	1,104	898	49	14	2	73	582	178
70～74	男	8,950	811	647	32	4	0	54	470	87
	女	12,778	802	698	37	7	1	55	448	150
	計	21,728	1,613	1,345	69	11	1	109	918	237
75～79	男	5,329	596	504	33	5	1	30	361	74
	女	6,876	517	454	24	7	0	34	295	94
	計	12,205	1,113	958	57	12	1	64	656	168
80～	男	4,269	546	435	29	8	0	29	300	69
	女	4,383	465	359	29	5	0	16	228	81
	計	8,652	1,011	794	58	13	0	45	528	150
合計	男	43,016	3,616	2,683	159	42	2	200	1,840	440
	女	63,296	3,783	3,071	159	59	3	222	1,799	829
	計	106,312	7,399	5,754	318	101	5	422	3,639	1,269

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）  
昭和62年度～令和2年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	5,830	1	0.02
30～39	74,660	38	0.05
40～49	493,253	498	0.10
50～59	766,206	1,546	0.20
60～69	1,253,512	4,539	0.36
70～	959,269	4,480	0.47
合計	3,552,730	11,102	0.31

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（令和3年度）

年 齢	受診者数			発見がん数			発見率(%)		
	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	176	107	69	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	580	319	261	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	2,620	1,317	1,303	1	0	1	0.04	0.00	0.08
40～44	7,072	2,708	4,364	3	3	0	0.04	0.11	0.00
45～49	8,048	3,194	4,854	12	4	8	0.15	0.13	0.16
50～54	8,804	3,181	5,623	10	0	10	0.11	0.00	0.18
55～59	8,740	3,076	5,664	33	16	17	0.38	0.52	0.30
60～64	11,221	3,973	7,248	26	16	10	0.23	0.40	0.14
65～69	16,466	6,593	9,873	49	26	23	0.30	0.39	0.23
70～74	21,728	8,950	12,778	69	32	37	0.32	0.36	0.29
75～79	12,205	5,329	6,876	57	33	24	0.47	0.62	0.35
80～	8,652	4,269	4,383	58	29	29	0.67	0.68	0.66
合計	106,312	43,016	63,296	318	159	159	0.30	0.37	0.25

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数及び発見がん数（令和3年度）

受診歴	受診者数			発見がん数			発見率(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	26,841	10,519	16,322	145	67	78	0.54	0.64	0.48
1 年 前	57,695	25,238	32,457	107	61	46	0.19	0.24	0.14
2 年 前	16,770	5,524	11,246	50	23	27	0.30	0.42	0.24
3 年 前	5,006	1,735	3,271	16	8	8	0.32	0.46	0.24
合計	106,312	43,016	63,296	318	159	159	0.30	0.37	0.25

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和62年度～令和2年度

年度	発見がん数 (A)	手術施行数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲)内視鏡切除数 (D)	D/B (%)	手術未施行 (E)	E/A (%)
				早期がん	C/B (%)	進行がん	C/B (%)	深達度不明	C/B (%)				
S 62～H 27	9,162	9,084	99.1	6,109	67.3	2,939	32.4	31	0.3	4,430	48.8	77	0.8
H 28	415	410	98.8	299	72.9	110	26.8	1	0.2	234	57.1	5	1.2
H 29	404	398	98.5	290	72.9	107	26.9	1	0.3	203	51.0	6	1.5
H 30	492	478	97.2	325	68.0	150	31.4	3	0.6	255	53.3	14	2.8
R 元	361	351	97.2	239	68.1	110	31.3	2	0.6	195	55.6	10	2.8
R 2	270	264	97.8	191	72.3	70	26.5	3	1.1	156	59.1	6	2.2
合計	11,104	10,980	98.9	7,453	67.9	3,486	31.7	41	0.4	5,473	49.8	118	1.1

表9 発見がんにおける手術施行者の深達度（令和2年度）

手術施行	早期がん		進行がん				深達度不明
	m	s m	m p	s s	s e (a)	s i (a i)	
264	128	63	24	35	11	0	3

大腸癌取扱い規約に準ずる。

# 前立腺がん検診

令和3年度は、94市町村<sup>1)</sup>、14事業所<sup>2)</sup>を巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、132名（令和5年1月5日現在）のがんを発見した。

1) 札幌42・旭川34・釧路18市町村      2) 札幌6・旭川8事業所

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 <sup>3)</sup>	12,890	6,188	3,583	3,119	1,936	1,214	134	588	10,954	4,974	3,449	2,531
事業所 <sup>4)</sup>	896	471	333	92	715	396	231	88	181	75	102	4
個人	2,276	1,306	906	64	2135	1,224	847	64	141	82	59	0
合 計	16,062	7,965	4,822	3,275	4,786	2,834	1,212	740	11,276	5,131	3,610	2,535

3) 実施主体が市町村のもの      4) 実施主体が事業所のもの

## 【検診の受診状況】

対象者は基本的に50歳以上と定めているが、実施主体によっては50歳以下も対象とし、PSA（前立腺特異抗原検査）を実施している。令和3年度の総受診数は16,062名（前年比1,633名増、増加率11.3%）であった（表1）。

## 【精密検査の受診状況】

要精検者数は948名で、要精検率は5.9%であった。うち精検受診者数は775名で、精検受診率は81.8%と、前年度より2.2ポイント低下した（表1）。

## 【発見がんについて】

発見がん（率）は132名（0.82%）で、検診センター40名、検診車92名であった（表3）。

年齢階級別では、60代以降からの発見が増加し、70代以降の発見率はピークとなっている（表5）。

受診歴別発見がんでは、3年前受診のがん発見率が最も高く、次いで初回受診が高い（表6）。

## 【まとめ】

前立腺がんは高齢化に伴い急増しており、男性の9人に1人\*<sup>1</sup>が罹患するといわれている。加えて、受診間隔が空くほどがん発見率も上昇している。前立腺がんは他のがんと比べて生存率が高いことを啓発しながら、継続受診や早期発見への働きかけが重要であると考えます。

また、前立腺がん検診は血液検査で行い、食事制限もないことから、健康診査等と同時に受診しやすい。特に50歳以上の世代を中心に、他のがん検診や健康診査等とあわせて受診するよう勧奨していきたい。

\* 1 2019年データに基づく（出典：国立がん研究センター「がん情報サービス」）

（保健師 張山 朋恵）

表1 検診結果及び精密検査結果（累計）

平成9年度～令和3年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳			
						前立腺がん	前立腺肥大	そ の 他	異常なし
H9～H28	173,609	10,208	5.9	7,919	77.6	1,789	2,688	2,055	1,387
H29	15,939	824	5.2	691	83.9	140	215	191	145
H30	16,218	860	5.3	733	85.2	148	222	226	137
R元	15,854	847	5.3	707	83.5	126	203	227	151
R2	14,429	914	6.3	768	84.0	131	267	220	150
R3	16,062	948	5.9	775	81.8	132	215	269	159
合計	252,111	14,601	5.8	11,593	79.4	2,466	3,810	3,188	2,129

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。

表2 検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成9年度～令和3年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S9～H28	173,609	54,744	118,865	1,789	1.03	623	1.14	1,166	0.98	17.53
H29	15,939	4,844	11,095	140	0.88	44	0.91	96	0.87	16.99
H30	16,218	4,781	11,437	148	0.91	49	1.02	99	0.87	17.21
R元	15,854	4,884	10,970	126	0.79	47	0.96	79	0.72	14.88
R2	14,429	4,101	10,328	131	0.91	39	0.95	92	0.89	14.33
R3	16,062	4,786	11,276	132	0.82	40	0.84	92	0.82	13.92
合計	252,111	78,140	173,971	2,466	0.98	842	1.08	1,624	0.93	

表3 実施状況及び発見がん数（令和3年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要 精 検 者 数						精 検 受 診 者 数		発 見 が ん 数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	7,965	2,834	5,131	495	6.2	176	6.2	319	6.2	382	77.2	68	0.85	24	0.85	44	0.86	13.74
旭川	4,822	1,212	3,610	249	5.2	54	4.5	195	5.4	215	86.3	28	0.58	6	0.50	22	0.61	11.24
釧路	3,275	740	2,535	204	6.2	35	4.7	169	6.7	178	87.3	36	1.10	10	1.35	26	1.03	17.65
総数	16,062	4,786	11,276	948	5.9	265	5.5	683	6.1	775	81.8	132	0.82	40	0.84	92	0.82	13.92



表4 年齢別受診数と発見がん数（累計）  
平成9年度～令和2年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	1,399	0	0.00
40～49	8,778	2	0.02
50～59	38,662	90	0.23
60～69	95,026	850	0.89
70～	92,154	1,392	1.51
年齢不詳	30	0	0.00
合計	236,049	2,334	0.99

※10歳階級表

表5 年齢別受診数と発見がん数  
(令和3年度)

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	98	0	0.00
40～44	281	0	0.00
45～49	458	1	0.22
50～54	1,211	1	0.08
55～59	1,407	2	0.14
60～64	1,856	15	0.81
65～69	3,194	28	0.88
70～74	4,125	45	1.09
75～79	2,072	26	1.25
80～	1,360	14	1.03
合計	16,062	132	0.82

※5歳階級表

表6 受診歴別発見がん数（令和3年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	4,916	74	1.51
1年前	8,383	33	0.39
2年前	2,086	12	0.58
3年前	677	13	1.92
合計	16,062	132	0.82

初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む。

### 3 健康診査の成績

#### 【特定健診等】総合判定結果

令和3年度

	受診者数	判定										
		異常なし		有所見		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	65	27	41.5	0	0.0	21	32.3	1	1.5	16	24.6
	25～29歳	70	13	18.6	0	0.0	37	52.9	1	1.4	19	27.1
	30～34歳	218	32	14.7	0	0.0	95	43.6	6	2.8	85	39.0
	35～39歳	404	57	14.1	0	0.0	199	49.3	17	4.2	131	32.4
	40～44歳	747	64	8.6	0	0.0	342	45.8	53	7.1	288	38.6
	45～49歳	916	53	5.8	0	0.0	389	42.5	121	13.2	353	38.5
	50～54歳	1,044	38	3.6	0	0.0	400	38.3	198	19.0	408	39.1
	55～59歳	1,075	33	3.1	0	0.0	379	35.3	251	23.3	412	38.3
	60～64歳	1,564	40	2.6	0	0.0	475	30.4	497	31.8	552	35.3
	65～69歳	3,771	51	1.4	0	0.0	933	24.7	1,419	37.6	1,368	36.3
	70～74歳	5,935	58	1.0	0	0.0	1,204	20.3	2,553	43.0	2,120	35.7
	75～79歳	3,604	18	0.5	0	0.0	642	17.8	1,703	47.3	1,241	34.4
	80歳以上	2,904	15	0.5	0	0.0	404	13.9	1,321	45.5	1,164	40.1
小計	22,319	501	2.2	0	0.0	5,520	24.7	8,141	36.5	8,157	36.5	
女性	～19歳	4	2	50.0	0	0.0	2	50.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	91	47	51.6	0	0.0	32	35.2	2	2.2	10	11.0
	25～29歳	121	68	56.2	0	0.0	35	28.9	5	4.1	13	10.7
	30～34歳	396	176	44.4	0	0.0	163	41.2	14	3.5	43	10.9
	35～39歳	782	280	35.8	0	0.0	385	49.2	30	3.8	87	11.1
	40～44歳	1,356	370	27.3	0	0.0	666	49.1	87	6.4	233	17.2
	45～49歳	1,578	307	19.5	0	0.0	811	51.4	127	8.0	333	21.1
	50～54歳	1,736	175	10.1	0	0.0	905	52.1	282	16.2	374	21.5
	55～59歳	2,093	137	6.5	0	0.0	967	46.2	515	24.6	474	22.6
	60～64歳	3,195	105	3.3	0	0.0	1,291	40.4	1,077	33.7	722	22.6
	65～69歳	5,706	107	1.9	0	0.0	2,005	35.1	2,230	39.1	1,364	23.9
	70～74歳	8,129	112	1.4	0	0.0	2,174	26.7	3,748	46.1	2,095	25.8
	75～79歳	4,388	26	0.6	0	0.0	922	21.0	2,274	51.8	1,166	26.6
	80歳以上	2,973	24	0.8	0	0.0	542	18.2	1,424	47.9	983	33.1
小計	32,548	1,936	5.9	0	0.0	10,900	33.5	11,815	36.3	7,897	24.3	
総数	～19歳	6	4	66.7	0	0.0	2	33.3	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	156	74	47.4	0	0.0	53	34.0	3	1.9	26	16.7
	25～29歳	191	81	42.4	0	0.0	72	37.7	6	3.1	32	16.8
	30～34歳	614	208	33.9	0	0.0	258	42.0	20	3.3	128	20.8
	35～39歳	1,186	337	28.4	0	0.0	584	49.2	47	4.0	218	18.4
	40～44歳	2,103	434	20.6	0	0.0	1,008	47.9	140	6.7	521	24.8
	45～49歳	2,494	360	14.4	0	0.0	1,200	48.1	248	9.9	686	27.5
	50～54歳	2,780	213	7.7	0	0.0	1,305	46.9	480	17.3	782	28.1
	55～59歳	3,168	170	5.4	0	0.0	1,346	42.5	766	24.2	886	28.0
	60～64歳	4,759	145	3.0	0	0.0	1,766	37.1	1,574	33.1	1,274	26.8
	65～69歳	9,477	158	1.7	0	0.0	2,938	31.0	3,649	38.5	2,732	28.8
	70～74歳	14,064	170	1.2	0	0.0	3,378	24.0	6,301	44.8	4,215	30.0
	75～79歳	7,992	44	0.6	0	0.0	1,564	19.6	3,977	49.8	2,407	30.1
	80歳以上	5,877	39	0.7	0	0.0	946	16.1	2,745	46.7	2,147	36.5
合計	54,867	2,437	4.4	0	0.0	16,420	29.9	19,956	36.4	16,054	29.3	

#### 実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、54,867人に総合判定を行った。  
男女別では、男性22,319人（40.7%）女性32,548人（59.3%）であった。  
また、年齢階級で見ると、70～74歳が最も高く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

#### 判定結果

異常なし（精検不要）4.4%、要指導29.9%、治療継続36.4%、要医療29.3%であった。

【特定健診等】メタボリック判定結果

令和3年度

	受診者数	判 定								
		非 該 当		予 備 群 該 当		基 準 該 当		判 定 不 能		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	65	56	86.2	6	9.2	3	4.6	0	0.0
	25～29歳	70	59	84.3	7	10.0	3	4.3	1	1.4
	30～34歳	217	145	66.8	46	21.2	15	6.9	11	5.1
	35～39歳	404	273	67.6	62	15.3	45	11.1	24	5.9
	40～44歳	746	476	63.8	152	20.4	117	15.7	1	0.1
	45～49歳	915	541	59.1	192	21.0	182	19.9	0	0.0
	50～54歳	1,044	584	55.9	214	20.5	245	23.5	1	0.1
	55～59歳	1,073	577	53.8	204	19.0	292	27.2	0	0.0
	60～64歳	1,564	839	53.6	274	17.5	451	28.8	0	0.0
	65～69歳	3,767	1,943	51.6	664	17.6	1,136	30.2	24	0.6
	70～74歳	5,933	3,130	52.8	1,033	17.4	1,728	29.1	42	0.7
	75～79歳	3,537	1,087	30.7	357	10.1	549	15.5	1,544	43.7
80歳以上	2,833	860	30.4	261	9.2	390	13.8	1,322	46.7	
小 計	22,170	10,572	47.7	3,472	15.7	5,156	23.3	2,970	13.4	
女 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	91	85	93.4	3	3.3	0	0.0	3	3.3
	25～29歳	121	111	91.7	2	1.7	1	0.8	7	5.8
	30～34歳	396	339	85.6	12	3.0	3	0.8	42	10.6
	35～39歳	782	683	87.3	21	2.7	10	1.3	68	8.7
	40～44歳	1,356	1,237	91.2	74	5.5	43	3.2	2	0.1
	45～49歳	1,578	1,416	89.7	95	6.0	65	4.1	2	0.1
	50～54歳	1,736	1,512	87.1	120	6.9	102	5.9	2	0.1
	55～59歳	2,092	1,814	86.7	125	6.0	153	7.3	0	0.0
	60～64歳	3,195	2,717	85.0	199	6.2	279	8.7	0	0.0
	65～69歳	5,705	4,867	85.3	325	5.7	489	8.6	24	0.4
	70～74歳	8,127	6,791	83.6	461	5.7	843	10.4	32	0.4
	75～79歳	4,295	2,187	50.9	110	2.6	273	6.4	1,725	40.2
80歳以上	2,895	1,263	43.6	93	3.2	161	5.6	1,378	47.6	
小 計	32,373	25,026	77.3	1,640	5.1	2,422	7.5	3,285	10.1	
総 数	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	156	141	90.4	9	5.8	3	1.9	3	1.9
	25～29歳	191	170	89.0	9	4.7	4	2.1	8	4.2
	30～34歳	613	484	79.0	58	9.5	18	2.9	53	8.6
	35～39歳	1,186	956	80.6	83	7.0	55	4.6	92	7.8
	40～44歳	2,102	1,713	81.5	226	10.8	160	7.6	3	0.1
	45～49歳	2,493	1,957	78.5	287	11.5	247	9.9	2	0.1
	50～54歳	2,780	2,096	75.4	334	12.0	347	12.5	3	0.1
	55～59歳	3,165	2,391	75.5	329	10.4	445	14.1	0	0.0
	60～64歳	4,759	3,556	74.7	473	9.9	730	15.3	0	0.0
	65～69歳	9,472	6,810	71.9	989	10.4	1,625	17.2	48	0.5
	70～74歳	14,060	9,921	70.6	1,494	10.6	2,571	18.3	74	0.5
	75～79歳	7,832	3,274	41.8	467	6.0	822	10.5	3,269	41.7
80歳以上	5,728	2,123	37.1	354	6.2	551	9.6	2,700	47.1	
合 計	54,543	35,598	65.3	5,112	9.4	7,578	13.9	6,255	11.5	

メタボリックシンドローム判定結果

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、54,543人にメタボリックシンドローム判定を行った。

男女別では、男性22,170人（40.6%）女性32,373人（59.4%）であった。

また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

腹囲条件該当者で血糖、糖尿、脂質検査項目のいずれか1項目が該当する予備軍該当者が9.4%、いずれか2項目以上が該当する基準該当が13.9%、非該当は65.3%であった。

腹囲未実施など、判定条件をみたまらず判定不能となったものが11.5%あった。

男性では予備軍該当が15.7%、基準該当が23.3%、非該当が47.7%であり、女性では予備軍該当が5.1%、基準該当が7.5%、非該当が77.3%であった。

【特定健診等】腹囲測定結果

令和3年度

	受診者数	判 定				
		男性 85cm未満、女性 90cm未満		男性 85cm以上、女性 90cm以上		
		(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0
	20～24歳	65	51	78.5	14	21.5
	25～29歳	69	48	69.6	21	30.4
	30～34歳	206	117	56.8	89	43.2
	35～39歳	380	214	56.3	166	43.7
	40～44歳	745	372	49.9	373	50.1
	45～49歳	915	410	44.8	505	55.2
	50～54歳	1,043	488	46.8	555	53.2
	55～59歳	1,073	490	45.7	583	54.3
	60～64歳	1,564	752	48.1	812	51.9
	65～69歳	3,743	1,753	46.8	1,990	53.2
	70～74歳	5,891	2,914	49.5	2,977	50.5
	75～79歳	1,993	1,044	52.4	949	47.6
	80歳以上	1,511	830	54.9	681	45.1
小 計	19,200	9,485	49.4	9,715	50.6	
女 性	～19歳	4	3	75.0	1	25.0
	20～24歳	88	81	92.0	7	8.0
	25～29歳	114	102	89.5	12	10.5
	30～34歳	354	312	88.1	42	11.9
	35～39歳	714	646	90.5	68	9.5
	40～44歳	1,354	1,160	85.7	194	14.3
	45～49歳	1,576	1,334	84.6	242	15.4
	50～54歳	1,734	1,434	82.7	300	17.3
	55～59歳	2,092	1,737	83.0	355	17.0
	60～64歳	3,195	2,635	82.5	560	17.5
	65～69歳	5,681	4,765	83.9	916	16.1
	70～74歳	8,095	6,678	82.5	1,417	17.5
	75～79歳	2,570	2,168	84.4	402	15.6
	80歳以上	1,518	1,253	82.5	265	17.5
小 計	29,089	24,308	83.6	4,781	16.4	
総 数	～19歳	6	5	83.3	1	16.7
	20～24歳	153	132	86.3	21	13.7
	25～29歳	183	150	82.0	33	18.0
	30～34歳	560	429	76.6	131	23.4
	35～39歳	1,094	860	78.6	234	21.4
	40～44歳	2,099	1,532	73.0	567	27.0
	45～49歳	2,491	1,744	70.0	747	30.0
	50～54歳	2,777	1,922	69.2	855	30.8
	55～59歳	3,165	2,227	70.4	938	29.6
	60～64歳	4,759	3,387	71.2	1,372	28.8
	65～69歳	9,424	6,518	69.2	2,906	30.8
	70～74歳	13,986	9,592	68.6	4,394	31.4
	75～79歳	4,563	3,212	70.4	1,351	29.6
	80歳以上	3,029	2,083	68.8	946	31.2
合 計	48,289	33,793	70.0	14,496	30.0	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、48,289人に腹囲測定を行った。  
男女別では、男性19,200人（39.8%）女性29,089人（60.2%）であった。  
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、60～64歳の順であった。

判定結果

男性85cm、女性90cm未満の異常なし（精検不要）70.0%、男性85cm、女性90cm以上の要指導は30.0%であった。

【特定健診等】 血圧測定結果

令和3年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		要 指 導		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	65	53	81.5	10	15.4	2	3.1	0	0.0
	25～29歳	70	57	81.4	12	17.1	1	1.4	0	0.0
	30～34歳	217	164	75.6	43	19.8	8	3.7	2	0.9
	35～39歳	404	306	75.7	78	19.3	11	2.7	9	2.2
	40～44歳	746	490	65.7	190	25.5	32	4.3	34	4.6
	45～49歳	915	542	59.2	248	27.1	82	9.0	43	4.7
	50～54歳	1,044	506	48.5	308	29.5	172	16.5	58	5.6
	55～59歳	1,073	462	43.1	319	29.7	234	21.8	58	5.4
	60～64歳	1,564	530	33.9	422	27.0	520	33.2	92	5.9
	65～69歳	3,768	1,007	26.7	1,008	26.8	1,554	41.2	199	5.3
	70～74歳	5,935	1,374	23.2	1,424	24.0	2,796	47.1	341	5.7
	75～79歳	3,604	639	17.7	829	23.0	1,927	53.5	209	5.8
80歳以上	2,904	440	15.2	621	21.4	1,667	57.4	176	6.1	
小 計	22,311	6,572	29.5	5,512	24.7	9,006	40.4	1,221	5.5	
女 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	91	85	93.4	6	6.6	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	121	117	96.7	3	2.5	1	0.8	0	0.0
	30～34歳	396	368	92.9	22	5.6	4	1.0	2	0.5
	35～39歳	782	710	90.8	54	6.9	13	1.7	5	0.6
	40～44歳	1,356	1,125	83.0	164	12.1	41	3.0	26	1.9
	45～49歳	1,578	1,209	76.6	246	15.6	74	4.7	49	3.1
	50～54歳	1,736	1,161	66.9	354	20.4	167	9.6	54	3.1
	55～59歳	2,092	1,248	59.7	452	21.6	332	15.9	60	2.9
	60～64歳	3,195	1,617	50.6	797	24.9	679	21.3	102	3.2
	65～69歳	5,705	2,338	41.0	1,524	26.7	1,590	27.9	253	4.4
	70～74歳	8,129	2,590	31.9	2,146	26.4	3,002	36.9	391	4.8
	75～79歳	4,388	988	22.5	1,088	24.8	2,109	48.1	203	4.6
80歳以上	2,973	472	15.9	708	23.8	1,630	54.8	163	5.5	
小 計	32,546	14,032	43.1	7,564	23.2	9,642	29.6	1,308	4.0	
総 数	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	156	138	88.5	16	10.3	2	1.3	0	0.0
	25～29歳	191	174	91.1	15	7.9	2	1.0	0	0.0
	30～34歳	613	532	86.8	65	10.6	12	2.0	4	0.7
	35～39歳	1,186	1,016	85.7	132	11.1	24	2.0	14	1.2
	40～44歳	2,102	1,615	76.8	354	16.8	73	3.5	60	2.9
	45～49歳	2,493	1,751	70.2	494	19.8	156	6.3	92	3.7
	50～54歳	2,780	1,667	60.0	662	23.8	339	12.2	112	4.0
	55～59歳	3,165	1,710	54.0	771	24.4	566	17.9	118	3.7
	60～64歳	4,759	2,147	45.1	1,219	25.6	1,199	25.2	194	4.1
	65～69歳	9,473	3,345	35.3	2,532	26.7	3,144	33.2	452	4.8
	70～74歳	14,064	3,964	28.2	3,570	25.4	5,798	41.2	732	5.2
	75～79歳	7,992	1,627	20.4	1,917	24.0	4,036	50.5	412	5.2
80歳以上	5,877	912	15.5	1,329	22.6	3,297	56.1	339	5.8	
合 計	54,857	20,604	37.6	13,076	23.8	18,648	34.0	2,529	4.6	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、54,857人に血圧測定を行った。  
男女別では、男性22,311人（40.7%）女性32,546人（59.3%）であった。  
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）37.6%、要指導23.8%、治療継続34.0%、要医療4.6%であった。

【特定健診等】 血中脂質検査結果

令和3年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		要 指 導		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	65	50	76.9	15	23.1	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	70	38	54.3	29	41.4	1	1.4	2	2.9
	30～34歳	218	91	41.7	98	45.0	6	2.8	23	10.6
	35～39歳	404	173	42.8	181	44.8	11	2.7	39	9.7
	40～44歳	747	236	31.6	400	53.5	28	3.7	83	11.1
	45～49歳	916	253	27.6	472	51.5	90	9.8	101	11.0
	50～54歳	1,044	284	27.2	539	51.6	131	12.5	90	8.6
	55～59歳	1,075	288	26.8	507	47.2	176	16.4	104	9.7
	60～64歳	1,564	403	25.8	707	45.2	348	22.3	106	6.8
	65～69歳	3,771	1,016	26.9	1,572	41.7	955	25.3	228	6.0
	70～74歳	5,935	1,749	29.5	2,292	38.6	1,647	27.8	247	4.2
	75～79歳	3,604	1,129	31.3	1,301	36.1	1,044	29.0	130	3.6
	80歳以上	2,904	1,140	39.3	886	30.5	793	27.3	85	2.9
小 計	22,319	6,852	30.7	8,999	40.3	5,230	23.4	1,238	5.5	
女 性	～19歳	4	3	75.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	91	71	78.0	20	22.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	121	95	78.5	21	17.4	2	1.7	3	2.5
	30～34歳	396	297	75.0	92	23.2	0	0.0	7	1.8
	35～39歳	782	528	67.5	226	28.9	9	1.2	19	2.4
	40～44歳	1,356	792	58.4	508	37.5	24	1.8	32	2.4
	45～49歳	1,578	809	51.3	668	42.3	49	3.1	52	3.3
	50～54歳	1,736	577	33.2	896	51.6	156	9.0	107	6.2
	55～59歳	2,093	509	24.3	1,060	50.6	351	16.8	173	8.3
	60～64歳	3,195	629	19.7	1,574	49.3	794	24.9	198	6.2
	65～69歳	5,706	1,051	18.4	2,623	46.0	1,715	30.1	317	5.6
	70～74歳	8,129	1,520	18.7	3,324	40.9	2,970	36.5	315	3.9
	75～79歳	4,388	876	20.0	1,602	36.5	1,783	40.6	127	2.9
	80歳以上	2,972	736	24.8	1,017	34.2	1,146	38.6	73	2.5
小 計	32,547	8,493	26.1	13,632	41.9	8,999	27.6	1,423	4.4	
総 数	～19歳	6	5	83.3	1	16.7	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	156	121	77.6	35	22.4	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	191	133	69.6	50	26.2	3	1.6	5	2.6
	30～34歳	614	388	63.2	190	30.9	6	1.0	30	4.9
	35～39歳	1,186	701	59.1	407	34.3	20	1.7	58	4.9
	40～44歳	2,103	1,028	48.9	908	43.2	52	2.5	115	5.5
	45～49歳	2,494	1,062	42.6	1,140	45.7	139	5.6	153	6.1
	50～54歳	2,780	861	31.0	1,435	51.6	287	10.3	197	7.1
	55～59歳	3,168	797	25.2	1,567	49.5	527	16.6	277	8.7
	60～64歳	4,759	1,032	21.7	2,281	47.9	1,142	24.0	304	6.4
	65～69歳	9,477	2,067	21.8	4,195	44.3	2,670	28.2	545	5.8
	70～74歳	14,064	3,269	23.2	5,616	39.9	4,617	32.8	562	4.0
	75～79歳	7,992	2,005	25.1	2,903	36.3	2,827	35.4	257	3.2
	80歳以上	5,876	1,876	31.9	1,903	32.4	1,939	33.0	158	2.7
合 計	54,866	15,345	28.0	22,631	41.2	14,229	25.9	2,661	4.8	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、54,866人に血中脂質検査を行った。  
男女別では、男性22,319人（40.7%）女性32,547人（59.3%）であった。  
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）28.0%、要指導41.2%、治療継続25.9%、要医療4.8%であった。

【特定健診等】糖代謝検査結果

令和3年度

	受診者数	判定								
		異常なし		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	65	60	92.3	5	7.7	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	70	58	82.9	12	17.1	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	218	161	73.9	53	24.3	2	0.9	2	0.9
	35～39歳	404	276	68.3	117	29.0	6	1.5	5	1.2
	40～44歳	747	473	63.3	243	32.5	11	1.5	20	2.7
	45～49歳	916	483	52.7	357	39.0	45	4.9	31	3.4
	50～54歳	1,044	477	45.7	459	44.0	68	6.5	40	3.8
	55～59歳	1,075	416	38.7	506	47.1	93	8.7	60	5.6
	60～64歳	1,564	584	37.3	717	45.8	166	10.6	97	6.2
	65～69歳	3,771	1,184	31.4	1,871	49.6	492	13.0	224	5.9
	70～74歳	5,935	1,817	30.6	2,864	48.3	914	15.4	340	5.7
	75～79歳	3,604	1,060	29.4	1,795	49.8	533	14.8	216	6.0
	80歳以上	2,904	808	27.8	1,506	51.9	416	14.3	174	6.0
小計	22,319	7,859	35.2	10,505	47.1	2,746	12.3	1,209	5.4	
女性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	91	84	92.3	7	7.7	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	121	109	90.1	11	9.1	1	0.8	0	0.0
	30～34歳	396	347	87.6	47	11.9	1	0.3	1	0.3
	35～39歳	782	630	80.6	145	18.5	5	0.6	2	0.3
	40～44歳	1,356	1,017	75.0	310	22.9	14	1.0	15	1.1
	45～49歳	1,578	1,120	71.0	418	26.5	15	1.0	25	1.6
	50～54歳	1,736	1,041	60.0	618	35.6	50	2.9	27	1.6
	55～59歳	2,093	1,130	54.0	856	40.9	71	3.4	36	1.7
	60～64歳	3,195	1,478	46.3	1,503	47.0	152	4.8	62	1.9
	65～69歳	5,706	2,363	41.4	2,911	51.0	274	4.8	158	2.8
	70～74歳	8,129	2,864	35.2	4,391	54.0	588	7.2	286	3.5
	75～79歳	4,388	1,447	33.0	2,388	54.4	366	8.3	187	4.3
	80歳以上	2,972	927	31.2	1,652	55.6	264	8.9	129	4.3
小計	32,547	14,561	44.7	15,257	46.9	1,801	5.5	928	2.9	
総数	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	156	144	92.3	12	7.7	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	191	167	87.4	23	12.0	1	0.5	0	0.0
	30～34歳	614	508	82.7	100	16.3	3	0.5	3	0.5
	35～39歳	1,186	906	76.4	262	22.1	11	0.9	7	0.6
	40～44歳	2,103	1,490	70.9	553	26.3	25	1.2	35	1.7
	45～49歳	2,494	1,603	64.3	775	31.1	60	2.4	56	2.2
	50～54歳	2,780	1,518	54.6	1,077	38.7	118	4.2	67	2.4
	55～59歳	3,168	1,546	48.8	1,362	43.0	164	5.2	96	3.0
	60～64歳	4,759	2,062	43.3	2,220	46.6	318	6.7	159	3.3
	65～69歳	9,477	3,547	37.4	4,782	50.5	766	8.1	382	4.0
	70～74歳	14,064	4,681	33.3	7,255	51.6	1,502	10.7	626	4.5
	75～79歳	7,992	2,507	31.4	4,183	52.3	899	11.2	403	5.0
	80歳以上	5,876	1,735	29.5	3,158	53.7	680	11.6	303	5.2
合計	54,866	22,420	40.9	25,762	47.0	4,547	8.3	2,137	3.9	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、54,866人に糖代謝検査を行った。男女別では、男性22,319人（40.7%）女性32,547人（59.3%）であった。また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）40.9%、要指導47.0%、治療継続8.3%、要医療3.9%であった。

【特定健診等】尿検査（蛋白）結果

令和3年度

	受診者数	判 定						
		異常なし		要 指 導		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	65	63	96.9	2	3.1	0	0.0
	25～29歳	70	67	95.7	2	2.9	1	1.4
	30～34歳	217	212	97.7	4	1.8	1	0.5
	35～39歳	404	398	98.5	5	1.2	1	0.2
	40～44歳	746	737	98.8	7	0.9	2	0.3
	45～49歳	915	898	98.1	12	1.3	5	0.5
	50～54歳	1,044	1,028	98.5	9	0.9	7	0.7
	55～59歳	1,073	1,045	97.4	14	1.3	14	1.3
	60～64歳	1,564	1,529	97.8	21	1.3	14	0.9
	65～69歳	3,767	3,658	97.1	72	1.9	37	1.0
	70～74歳	5,935	5,755	97.0	129	2.2	51	0.9
	75～79歳	3,602	3,504	97.3	74	2.1	24	0.7
	80歳以上	2,904	2,769	95.4	88	3.0	47	1.6
小 計	22,308	21,665	97.1	439	2.0	204	0.9	
女 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	91	90	98.9	1	1.1	0	0.0
	25～29歳	121	118	97.5	2	1.7	1	0.8
	30～34歳	395	392	99.2	0	0.0	3	0.8
	35～39歳	781	775	99.2	4	0.5	2	0.3
	40～44歳	1,350	1,331	98.6	11	0.8	8	0.6
	45～49歳	1,576	1,559	98.9	12	0.8	5	0.3
	50～54歳	1,734	1,723	99.4	8	0.5	3	0.2
	55～59歳	2,091	2,082	99.6	7	0.3	2	0.1
	60～64歳	3,194	3,178	99.5	9	0.3	7	0.2
	65～69歳	5,705	5,675	99.5	21	0.4	9	0.2
	70～74歳	8,129	8,079	99.4	30	0.4	20	0.2
	75～79歳	4,387	4,358	99.3	20	0.5	9	0.2
	80歳以上	2,969	2,925	98.5	30	1.0	14	0.5
小 計	32,527	32,289	99.1	155	0.5	83	0.3	
総 数	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	156	153	98.1	3	1.9	0	0.0
	25～29歳	191	185	96.9	4	2.1	2	1.0
	30～34歳	612	604	98.7	4	0.7	4	0.7
	35～39歳	1,185	1,173	99.0	9	0.8	3	0.3
	40～44歳	2,096	2,068	98.7	18	0.9	10	0.5
	45～49歳	2,491	2,457	98.6	24	1.0	10	0.4
	50～54歳	2,778	2,751	99.0	17	0.6	10	0.4
	55～59歳	3,164	3,127	98.8	21	0.7	16	0.5
	60～64歳	4,758	4,707	98.9	30	0.6	21	0.4
	65～69歳	9,472	9,333	98.5	93	1.0	46	0.5
	70～74歳	14,064	13,834	98.4	159	1.1	71	0.5
	75～79歳	7,989	7,862	98.4	94	1.2	33	0.4
	80歳以上	5,873	5,694	97.0	118	2.0	61	1.0
合 計	54,835	53,954	98.5	594	1.1	287	0.5	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、54,835人に尿蛋白検査を行った。  
男女別では、男性22,308人（40.7%）女性32,527人（59.3%）であった。  
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）98.5%、要指導1.1%、要医療0.5%であった。



【特定健診等】尿検査（糖）結果

令和3年度

	受診者数	判 定						
		異常なし		要 指 導		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	65	65	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	70	70	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	217	215	99.1	0	0.0	2	0.9
	35～39歳	404	398	98.5	0	0.0	6	1.5
	40～44歳	746	730	97.9	0	0.0	16	2.1
	45～49歳	915	877	95.8	0	0.0	38	4.2
	50～54歳	1,044	977	93.6	0	0.0	67	6.4
	55～59歳	1,073	1,006	93.8	0	0.0	67	6.2
	60～64歳	1,564	1,443	92.3	0	0.0	121	7.7
	65～69歳	3,767	3,469	92.1	0	0.0	298	7.9
	70～74歳	5,935	5,444	91.7	0	0.0	491	8.3
	75～79歳	3,602	3,319	92.1	0	0.0	283	7.9
	80歳以上	2,904	2,727	93.9	0	0.0	177	6.1
小 計	22,308	20,742	93.0	0	0.0	1,566	7.0	
女 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	91	91	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	121	121	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	395	395	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	781	780	99.9	0	0.0	1	0.1
	40～44歳	1,350	1,335	98.9	0	0.0	15	1.1
	45～49歳	1,576	1,558	98.9	0	0.0	18	1.1
	50～54歳	1,734	1,700	98.0	0	0.0	34	2.0
	55～59歳	2,091	2,053	98.2	0	0.0	38	1.8
	60～64歳	3,194	3,133	98.1	0	0.0	61	1.9
	65～69歳	5,705	5,598	98.1	0	0.0	107	1.9
	70～74歳	8,129	7,931	97.6	0	0.0	198	2.4
	75～79歳	4,387	4,288	97.7	0	0.0	99	2.3
	80歳以上	2,969	2,893	97.4	0	0.0	76	2.6
小 計	32,527	31,880	98.0	0	0.0	647	2.0	
総 数	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	156	156	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	191	191	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	612	610	99.7	0	0.0	2	0.3
	35～39歳	1,185	1,178	99.4	0	0.0	7	0.6
	40～44歳	2,096	2,065	98.5	0	0.0	31	1.5
	45～49歳	2,491	2,435	97.8	0	0.0	56	2.2
	50～54歳	2,778	2,677	96.4	0	0.0	101	3.6
	55～59歳	3,164	3,059	96.7	0	0.0	105	3.3
	60～64歳	4,758	4,576	96.2	0	0.0	182	3.8
	65～69歳	9,472	9,067	95.7	0	0.0	405	4.3
	70～74歳	14,064	13,375	95.1	0	0.0	689	4.9
	75～79歳	7,989	7,607	95.2	0	0.0	382	4.8
	80歳以上	5,873	5,620	95.7	0	0.0	253	4.3
合 計	54,835	52,622	96.0	0	0.0	2,213	4.0	

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、54,835人に尿糖検査を行った。  
 男女別では、男性22,308人（40.7%）女性32,527人（59.3%）であった。  
 また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）96.0%、要医療4.0%であった。

【事業所健診】総合判定結果

令和3年度

	受診者数	判定										
		異常なし		有所見		要指導		要精検		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	887	335	37.8	18	2.0	366	41.3	2	0.2	166	18.7
	20～24歳	2,105	649	30.8	46	2.2	1,012	48.1	3	0.1	395	18.8
	25～29歳	1,938	426	22.0	45	2.3	1,025	52.9	6	0.3	436	22.5
	30～34歳	1,842	337	18.3	47	2.6	965	52.4	7	0.4	486	26.4
	35～39歳	2,054	251	12.2	72	3.5	1,018	49.6	45	2.2	668	32.5
	40～44歳	2,603	169	6.5	70	2.7	1,365	52.4	102	3.9	897	34.5
	45～49歳	3,723	181	4.9	90	2.4	1,947	52.3	159	4.3	1,346	36.2
	50～54歳	3,559	120	3.4	83	2.3	1,840	51.7	196	5.5	1,320	37.1
	55～59歳	3,287	99	3.0	74	2.3	1,741	53.0	198	6.0	1,175	35.7
	60～64歳	2,589	61	2.4	83	3.2	1,371	53.0	198	7.6	876	33.8
	65～69歳	1,210	24	2.0	36	3.0	587	48.5	84	6.9	479	39.6
	70～74歳	739	18	2.4	22	3.0	342	46.3	62	8.4	295	39.9
	75～79歳	171	2	1.2	7	4.1	80	46.8	9	5.3	73	42.7
80歳以上	98	2	2.0	2	2.0	25	25.5	2	2.0	67	68.4	
小計	26,805	2,674	10.0	695	2.6	13,684	51.1	1,073	4.0	8,679	32.4	
女性	～19歳	811	432	53.3	28	3.5	230	28.4	0	0.0	121	14.9
	20～24歳	1,697	893	52.6	30	1.8	615	36.2	2	0.1	157	9.3
	25～29歳	1,470	622	42.3	36	2.4	636	43.3	8	0.5	168	11.4
	30～34歳	1,140	398	34.9	30	2.6	535	46.9	3	0.3	174	15.3
	35～39歳	1,459	359	24.6	48	3.3	692	47.4	43	2.9	317	21.7
	40～44歳	2,451	455	18.6	116	4.7	1,247	50.9	80	3.3	553	22.6
	45～49歳	3,231	433	13.4	123	3.8	1,694	52.4	139	4.3	842	26.1
	50～54歳	2,909	260	8.9	100	3.4	1,633	56.1	129	4.4	787	27.1
	55～59歳	2,295	166	7.2	67	2.9	1,396	60.8	85	3.7	581	25.3
	60～64歳	1,728	106	6.1	47	2.7	1,064	61.6	75	4.3	436	25.2
	65～69歳	908	52	5.7	20	2.2	554	61.0	29	3.2	253	27.9
	70～74歳	420	20	4.8	10	2.4	239	56.9	24	5.7	127	30.2
	75～79歳	89	1	1.1	4	4.5	40	44.9	6	6.7	38	42.7
80歳以上	163	0	0.0	4	2.5	35	21.5	1	0.6	123	75.5	
小計	20,771	4,197	20.2	663	3.2	10,610	51.1	624	3.0	4,677	22.5	
総数	～19歳	1,698	767	45.2	46	2.7	596	35.1	2	0.1	287	16.9
	20～24歳	3,802	1,542	40.6	76	2.0	1,627	42.8	5	0.1	552	14.5
	25～29歳	3,408	1,048	30.8	81	2.4	1,661	48.7	14	0.4	604	17.7
	30～34歳	2,982	735	24.6	77	2.6	1,500	50.3	10	0.3	660	22.1
	35～39歳	3,513	610	17.4	120	3.4	1,710	48.7	88	2.5	985	28.0
	40～44歳	5,054	624	12.3	186	3.7	2,612	51.7	182	3.6	1,450	28.7
	45～49歳	6,954	614	8.8	213	3.1	3,641	52.4	298	4.3	2,188	31.5
	50～54歳	6,468	380	5.9	183	2.8	3,473	53.7	325	5.0	2,107	32.6
	55～59歳	5,582	265	4.7	141	2.5	3,137	56.2	283	5.1	1,756	31.5
	60～64歳	4,317	167	3.9	130	3.0	2,435	56.4	273	6.3	1,312	30.4
	65～69歳	2,118	76	3.6	56	2.6	1,141	53.9	113	5.3	732	34.6
	70～74歳	1,159	38	3.3	32	2.8	581	50.1	86	7.4	422	36.4
	75～79歳	260	3	1.2	11	4.2	120	46.2	15	5.8	111	42.7
80歳以上	261	2	0.8	6	2.3	60	23.0	3	1.1	190	72.8	
合計	47,576	6,871	14.4	1,358	2.9	24,294	51.1	1,697	3.6	13,356	28.1	

実施状況

事業所の健康診査のなかで、47,576人に総合判定を行った。

男女別では、男性26,805人（56.3%）女性20,771人（43.7%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）14.4%、有所見2.9%、要指導51.1%、要精検3.6%、要医療28.1%であった。

【事業所健診】 診察結果

令和3年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		有所見		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	260	259	99.6	1	0.4	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	1,169	1,154	98.7	11	0.9	1	0.1	3	0.3
	25～29歳	1,001	986	98.5	13	1.3	2	0.2	0	0.0
	30～34歳	1,213	1,198	98.8	4	0.3	7	0.6	4	0.3
	35～39歳	1,537	1,529	99.5	2	0.1	2	0.1	4	0.3
	40～44歳	1,794	1,777	99.1	9	0.5	2	0.1	6	0.3
	45～49歳	2,278	2,236	98.2	22	1.0	7	0.3	13	0.6
	50～54歳	2,077	2,045	98.5	15	0.7	6	0.3	11	0.5
	55～59歳	1,897	1,860	98.0	15	0.8	10	0.5	12	0.6
	60～64歳	1,650	1,592	96.5	28	1.7	18	1.1	12	0.7
	65～69歳	1,144	1,083	94.7	17	1.5	32	2.8	12	1.0
	70～74歳	729	684	93.8	16	2.2	21	2.9	8	1.1
	75～79歳	165	143	86.7	4	2.4	11	6.7	7	4.2
	80歳以上	88	68	77.3	3	3.4	9	10.2	8	9.1
小 計	17,002	16,614	97.7	160	0.9	128	0.8	100	0.6	
女 性	～19歳	220	219	99.5	1	0.5	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	1,147	1,132	98.7	7	0.6	4	0.3	4	0.3
	25～29歳	917	905	98.7	6	0.7	4	0.4	2	0.2
	30～34歳	790	778	98.5	4	0.5	3	0.4	5	0.6
	35～39歳	1,135	1,117	98.4	10	0.9	4	0.4	4	0.4
	40～44歳	2,041	2,003	98.1	25	1.2	4	0.2	9	0.4
	45～49歳	2,565	2,522	98.3	23	0.9	13	0.5	7	0.3
	50～54歳	2,422	2,369	97.8	27	1.1	11	0.5	15	0.6
	55～59歳	1,885	1,845	97.9	21	1.1	9	0.5	10	0.5
	60～64歳	1,529	1,491	97.5	21	1.4	3	0.2	14	0.9
	65～69歳	884	857	96.9	16	1.8	7	0.8	4	0.5
	70～74歳	413	385	93.2	15	3.6	8	1.9	5	1.2
	75～79歳	83	78	94.0	2	2.4	2	2.4	1	1.2
	80歳以上	149	116	77.9	13	8.7	11	7.4	9	6.0
小 計	16,180	15,817	97.8	191	1.2	83	0.5	89	0.6	
総 数	～19歳	480	478	99.6	2	0.4	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2,316	2,286	98.7	18	0.8	5	0.2	7	0.3
	25～29歳	1,918	1,891	98.6	19	1.0	6	0.3	2	0.1
	30～34歳	2,003	1,976	98.7	8	0.4	10	0.5	9	0.4
	35～39歳	2,672	2,646	99.0	12	0.4	6	0.2	8	0.3
	40～44歳	3,835	3,780	98.6	34	0.9	6	0.2	15	0.4
	45～49歳	4,843	4,758	98.2	45	0.9	20	0.4	20	0.4
	50～54歳	4,499	4,414	98.1	42	0.9	17	0.4	26	0.6
	55～59歳	3,782	3,705	98.0	36	1.0	19	0.5	22	0.6
	60～64歳	3,179	3,083	97.0	49	1.5	21	0.7	26	0.8
	65～69歳	2,028	1,940	95.7	33	1.6	39	1.9	16	0.8
	70～74歳	1,142	1,069	93.6	31	2.7	29	2.5	13	1.1
	75～79歳	248	221	89.1	6	2.4	13	5.2	8	3.2
	80歳以上	237	184	77.6	16	6.8	20	8.4	17	7.2
合 計	33,182	32,431	97.7	351	1.1	211	0.6	189	0.6	

実施状況

事業所健診のなかで、33,182人に診察を行った。

男女別では、男性17,002人（51.2%）女性16,180人（48.8%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

他覚所見が認められない異常なし（精検不要が）97.7%、他覚所見が認められたもののうち、変化がなければ次回健診まで様子を見ていいもの（有所見）1.1%、要医療0.6%であった。

【事業所健診】 血圧測定結果

令和3年度

	受診者数	判定								
		異常なし		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	817	544	66.6	268	32.8	0	0.0	5	0.6
	20～24歳	2,560	1,798	70.2	728	28.4	5	0.2	29	1.1
	25～29歳	1,943	1,538	79.2	375	19.3	20	1.0	10	0.5
	30～34歳	1,819	1,358	74.7	415	22.8	30	1.6	16	0.9
	35～39歳	2,027	1,475	72.8	452	22.3	59	2.9	41	2.0
	40～44歳	2,589	1,719	66.4	621	24.0	164	6.3	85	3.3
	45～49歳	3,689	2,156	58.4	923	25.0	475	12.9	135	3.7
	50～54歳	3,522	1,685	47.8	945	26.8	710	20.2	182	5.2
	55～59歳	3,278	1,328	40.5	838	25.6	950	29.0	162	4.9
	60～64歳	2,580	828	32.1	661	25.6	964	37.4	127	4.9
	65～69歳	1,204	308	25.6	298	24.8	517	42.9	81	6.7
	70～74歳	734	169	23.0	152	20.7	366	49.9	47	6.4
	75～79歳	165	28	17.0	34	20.6	96	58.2	7	4.2
80歳以上	88	20	22.7	13	14.8	54	61.4	1	1.1	
小計	27,015	14,954	55.4	6,723	24.9	4,410	16.3	928	3.4	
女性	～19歳	759	679	89.5	80	10.5	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2,208	2,023	91.6	177	8.0	2	0.1	6	0.3
	25～29歳	1,468	1,390	94.7	74	5.0	0	0.0	4	0.3
	30～34歳	1,117	998	89.3	107	9.6	6	0.5	6	0.5
	35～39歳	1,453	1,293	89.0	117	8.1	25	1.7	18	1.2
	40～44歳	2,448	2,058	84.1	286	11.7	66	2.7	38	1.6
	45～49歳	3,225	2,463	76.4	491	15.2	185	5.7	86	2.7
	50～54歳	2,902	1,956	67.4	529	18.2	329	11.3	88	3.0
	55～59歳	2,295	1,431	62.4	420	18.3	386	16.8	58	2.5
	60～64歳	1,726	928	53.8	376	21.8	352	20.4	70	4.1
	65～69歳	904	402	44.5	202	22.3	261	28.9	39	4.3
	70～74歳	416	131	31.5	107	25.7	162	38.9	16	3.8
	75～79歳	84	24	28.6	10	11.9	44	52.4	6	7.1
80歳以上	149	24	16.1	11	7.4	110	73.8	4	2.7	
小計	21,154	15,800	74.7	2,987	14.1	1,928	9.1	439	2.1	
総数	～19歳	1,576	1,223	77.6	348	22.1	0	0.0	5	0.3
	20～24歳	4,768	3,821	80.1	905	19.0	7	0.1	35	0.7
	25～29歳	3,411	2,928	85.8	449	13.2	20	0.6	14	0.4
	30～34歳	2,936	2,356	80.2	522	17.8	36	1.2	22	0.7
	35～39歳	3,480	2,768	79.5	569	16.4	84	2.4	59	1.7
	40～44歳	5,037	3,777	75.0	907	18.0	230	4.6	123	2.4
	45～49歳	6,914	4,619	66.8	1,414	20.5	660	9.5	221	3.2
	50～54歳	6,424	3,641	56.7	1,474	22.9	1,039	16.2	270	4.2
	55～59歳	5,573	2,759	49.5	1,258	22.6	1,336	24.0	220	3.9
	60～64歳	4,306	1,756	40.8	1,037	24.1	1,316	30.6	197	4.6
	65～69歳	2,108	710	33.7	500	23.7	778	36.9	120	5.7
	70～74歳	1,150	300	26.1	259	22.5	528	45.9	63	5.5
	75～79歳	249	52	20.9	44	17.7	140	56.2	13	5.2
80歳以上	237	44	18.6	24	10.1	164	69.2	5	2.1	
合計	48,169	30,754	63.8	9,710	20.2	6,338	13.2	1,367	2.8	

実施状況

事業所健診のなかで、48,169人に血圧測定を行った。

男女別では、男性27,015人（56.1%）女性21,154人（43.9%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）63.8%、要指導20.2%、治療継続13.2%、要医療2.8%であった。

【事業所健診】尿検査（蛋白）結果

令和3年度

	受診者数	判定						
		異常なし		要指導		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	789	769	97.5	19	2.4	1	0.1
	20～24歳	3,267	3,203	98.0	59	1.8	5	0.2
	25～29歳	1,886	1,859	98.6	20	1.1	7	0.4
	30～34歳	1,782	1,760	98.8	18	1.0	4	0.2
	35～39歳	1,997	1,964	98.3	27	1.4	6	0.3
	40～44歳	2,551	2,517	98.7	27	1.1	7	0.3
	45～49歳	3,653	3,585	98.1	46	1.3	22	0.6
	50～54歳	3,512	3,449	98.2	40	1.1	23	0.7
	55～59歳	3,269	3,201	97.9	43	1.3	25	0.8
	60～64歳	2,576	2,503	97.2	55	2.1	18	0.7
	65～69歳	1,206	1,169	96.9	21	1.7	16	1.3
	70～74歳	737	706	95.8	23	3.1	8	1.1
	75～79歳	169	158	93.5	3	1.8	8	4.7
	80歳以上	88	83	94.3	5	5.7	0	0.0
小計	27,482	26,926	98.0	406	1.5	150	0.5	
女性	～19歳	741	721	97.3	18	2.4	2	0.3
	20～24歳	2,958	2,897	97.9	48	1.6	13	0.4
	25～29歳	1,440	1,417	98.4	18	1.3	5	0.3
	30～34歳	1,099	1,085	98.7	9	0.8	5	0.5
	35～39歳	1,438	1,417	98.5	15	1.0	6	0.4
	40～44歳	2,422	2,402	99.2	11	0.5	9	0.4
	45～49歳	3,204	3,168	98.9	25	0.8	11	0.3
	50～54歳	2,894	2,867	99.1	19	0.7	8	0.3
	55～59歳	2,293	2,271	99.0	16	0.7	6	0.3
	60～64歳	1,725	1,716	99.5	4	0.2	5	0.3
	65～69歳	906	900	99.3	6	0.7	0	0.0
	70～74歳	420	413	98.3	7	1.7	0	0.0
	75～79歳	85	83	97.6	2	2.4	0	0.0
	80歳以上	124	113	91.1	3	2.4	8	6.5
小計	21,749	21,470	98.7	201	0.9	78	0.4	
総数	～19歳	1,530	1,490	97.4	37	2.4	3	0.2
	20～24歳	6,225	6,100	98.0	107	1.7	18	0.3
	25～29歳	3,326	3,276	98.5	38	1.1	12	0.4
	30～34歳	2,881	2,845	98.8	27	0.9	9	0.3
	35～39歳	3,435	3,381	98.4	42	1.2	12	0.3
	40～44歳	4,973	4,919	98.9	38	0.8	16	0.3
	45～49歳	6,857	6,753	98.5	71	1.0	33	0.5
	50～54歳	6,406	6,316	98.6	59	0.9	31	0.5
	55～59歳	5,562	5,472	98.4	59	1.1	31	0.6
	60～64歳	4,301	4,219	98.1	59	1.4	23	0.5
	65～69歳	2,112	2,069	98.0	27	1.3	16	0.8
	70～74歳	1,157	1,119	96.7	30	2.6	8	0.7
	75～79歳	254	241	94.9	5	2.0	8	3.1
	80歳以上	212	196	92.5	8	3.8	8	3.8
合計	49,231	48,396	98.3	607	1.2	228	0.5	

実施状況

事業所健診のなかで、49,231人に尿蛋白検査を行った。

男女別では、男性27,482人（55.8%）女性21,749人（44.2%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、20～24歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）98.3%、要指導1.2%、要医療0.5%であった。

【事業所健診】尿検査（糖）結果

令和3年度

	受診者数	判定						
		異常なし		要指導		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	789	788	99.9	0	0.0	1	0.1
	20～24歳	3,267	3,247	99.4	2	0.1	18	0.6
	25～29歳	1,886	1,863	98.8	8	0.4	15	0.8
	30～34歳	1,782	1,749	98.1	4	0.2	29	1.6
	35～39歳	1,997	1,947	97.5	10	0.5	40	2.0
	40～44歳	2,551	2,456	96.3	16	0.6	79	3.1
	45～49歳	3,653	3,457	94.6	76	2.1	120	3.3
	50～54歳	3,512	3,249	92.5	103	2.9	160	4.6
	55～59歳	3,269	2,989	91.4	108	3.3	172	5.3
	60～64歳	2,576	2,356	91.5	64	2.5	156	6.1
	65～69歳	1,206	1,077	89.3	7	0.6	122	10.1
	70～74歳	737	647	87.8	0	0.0	90	12.2
	75～79歳	169	145	85.8	0	0.0	24	14.2
	80歳以上	88	83	94.3	0	0.0	5	5.7
小計	27,482	26,053	94.8	398	1.4	1,031	3.8	
女性	～19歳	741	739	99.7	0	0.0	2	0.3
	20～24歳	2,958	2,949	99.7	0	0.0	9	0.3
	25～29歳	1,440	1,436	99.7	0	0.0	4	0.3
	30～34歳	1,099	1,097	99.8	0	0.0	2	0.2
	35～39歳	1,438	1,427	99.2	2	0.1	9	0.6
	40～44歳	2,422	2,398	99.0	3	0.1	21	0.9
	45～49歳	3,204	3,164	98.8	7	0.2	33	1.0
	50～54歳	2,894	2,849	98.4	9	0.3	36	1.2
	55～59歳	2,293	2,234	97.4	14	0.6	45	2.0
	60～64歳	1,725	1,689	97.9	12	0.7	24	1.4
	65～69歳	906	871	96.1	0	0.0	35	3.9
	70～74歳	420	407	96.9	1	0.2	12	2.9
	75～79歳	85	82	96.5	0	0.0	3	3.5
	80歳以上	124	120	96.8	0	0.0	4	3.2
小計	21,749	21,462	98.7	48	0.2	239	1.1	
総数	～19歳	1,530	1,527	99.8	0	0.0	3	0.2
	20～24歳	6,225	6,196	99.5	2	0.0	27	0.4
	25～29歳	3,326	3,299	99.2	8	0.2	19	0.6
	30～34歳	2,881	2,846	98.8	4	0.1	31	1.1
	35～39歳	3,435	3,374	98.2	12	0.3	49	1.4
	40～44歳	4,973	4,854	97.6	19	0.4	100	2.0
	45～49歳	6,857	6,621	96.6	83	1.2	153	2.2
	50～54歳	6,406	6,098	95.2	112	1.7	196	3.1
	55～59歳	5,562	5,223	93.9	122	2.2	217	3.9
	60～64歳	4,301	4,045	94.0	76	1.8	180	4.2
	65～69歳	2,112	1,948	92.2	7	0.3	157	7.4
	70～74歳	1,157	1,054	91.1	1	0.1	102	8.8
	75～79歳	254	227	89.4	0	0.0	27	10.6
	80歳以上	212	203	95.8	0	0.0	9	4.2
合計	49,231	47,515	96.5	446	0.9	1,270	2.6	

実施状況

事業所健診のなかで、49,231人に尿糖検査を行った。

男女別では、男性27,482人（55.8%）女性21,749人（44.2%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、20～24歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）96.5%、要指導0.9%、要医療2.6%であった。

【事業所健診】肝機能結果

令和3年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		要 指 導		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	719	550	76.5	106	14.7	0	0.0	63	8.8
	20～24歳	1,745	1,174	67.3	303	17.4	11	0.6	257	14.7
	25～29歳	1,801	1,115	61.9	371	20.6	13	0.7	302	16.8
	30～34歳	1,659	937	56.5	378	22.8	8	0.5	336	20.3
	35～39歳	1,948	1,064	54.6	497	25.5	15	0.8	372	19.1
	40～44歳	2,535	1,252	49.4	744	29.3	36	1.4	503	19.8
	45～49歳	3,643	1,716	47.1	1,121	30.8	78	2.1	728	20.0
	50～54歳	3,470	1,618	46.6	1,108	31.9	85	2.4	659	19.0
	55～59歳	3,183	1,539	48.4	1,040	32.7	103	3.2	501	15.7
	60～64歳	2,496	1,328	53.2	757	30.3	80	3.2	331	13.3
	65～69歳	1,145	612	53.4	372	32.5	21	1.8	140	12.2
	70～74歳	690	413	59.9	194	28.1	21	3.0	62	9.0
	75～79歳	162	100	61.7	43	26.5	4	2.5	15	9.3
80歳以上	95	62	65.3	18	18.9	1	1.1	14	14.7	
小 計	25,291	13,480	53.3	7,052	27.9	476	1.9	4,283	16.9	
女 性	～19歳	739	709	95.9	22	3.0	0	0.0	8	1.1
	20～24歳	1,269	1,170	92.2	72	5.7	4	0.3	23	1.8
	25～29歳	1,332	1,236	92.8	68	5.1	2	0.2	26	2.0
	30～34歳	1,047	949	90.6	63	6.0	2	0.2	33	3.2
	35～39歳	1,396	1,197	85.7	142	10.2	2	0.1	55	3.9
	40～44歳	2,418	2,070	85.6	255	10.5	21	0.9	72	3.0
	45～49歳	3,176	2,623	82.6	396	12.5	27	0.9	130	4.1
	50～54歳	2,863	2,154	75.2	495	17.3	50	1.7	164	5.7
	55～59歳	2,251	1,649	73.3	452	20.1	36	1.6	114	5.1
	60～64歳	1,694	1,255	74.1	329	19.4	38	2.2	72	4.3
	65～69歳	874	656	75.1	162	18.5	17	1.9	39	4.5
	70～74歳	407	292	71.7	86	21.1	10	2.5	19	4.7
	75～79歳	88	64	72.7	16	18.2	1	1.1	7	8.0
80歳以上	163	113	69.3	19	11.7	5	3.1	26	16.0	
小 計	19,717	16,137	81.8	2,577	13.1	215	1.1	788	4.0	
総 数	～19歳	1,458	1,259	86.4	128	8.8	0	0.0	71	4.9
	20～24歳	3,014	2,344	77.8	375	12.4	15	0.5	280	9.3
	25～29歳	3,133	2,351	75.0	439	14.0	15	0.5	328	10.5
	30～34歳	2,706	1,886	69.7	441	16.3	10	0.4	369	13.6
	35～39歳	3,344	2,261	67.6	639	19.1	17	0.5	427	12.8
	40～44歳	4,953	3,322	67.1	999	20.2	57	1.2	575	11.6
	45～49歳	6,819	4,339	63.6	1,517	22.2	105	1.5	858	12.6
	50～54歳	6,333	3,772	59.6	1,603	25.3	135	2.1	823	13.0
	55～59歳	5,434	3,188	58.7	1,492	27.5	139	2.6	615	11.3
	60～64歳	4,190	2,583	61.6	1,086	25.9	118	2.8	403	9.6
	65～69歳	2,019	1,268	62.8	534	26.4	38	1.9	179	8.9
	70～74歳	1,097	705	64.3	280	25.5	31	2.8	81	7.4
	75～79歳	250	164	65.6	59	23.6	5	2.0	22	8.8
80歳以上	258	175	67.8	37	14.3	6	2.3	40	15.5	
合 計	45,008	29,617	65.8	9,629	21.4	691	1.5	5,071	11.3	

実施状況

事業所健診のなかで、45,008人に肝機能検査を行った。

男女別では、男性25,291人（56.2%）女性19,717人（43.8%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）65.8%、要指導21.4%、治療継続1.5%、要医療11.3%であった。

【事業所健診】 血中脂質検査結果

令和3年度

	受診者数	判定										
		異常なし		有所見		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	640	510	79.7	0	0.0	123	19.2	1	0.2	6	0.9
	20～24歳	1,699	1,092	64.3	0	0.0	550	32.4	10	0.6	47	2.8
	25～29歳	1,787	920	51.5	0	0.0	745	41.7	33	1.8	89	5.0
	30～34歳	1,649	747	45.3	0	0.0	766	46.5	30	1.8	106	6.4
	35～39歳	1,945	754	38.8	0	0.0	968	49.8	54	2.8	169	8.7
	40～44歳	2,531	865	34.2	0	0.0	1,320	52.2	153	6.0	193	7.6
	45～49歳	3,640	1,032	28.4	0	0.0	1,941	53.3	387	10.6	280	7.7
	50～54歳	3,466	928	26.8	0	0.0	1,745	50.3	515	14.9	278	8.0
	55～59歳	3,177	856	26.9	0	0.0	1,493	47.0	606	19.1	222	7.0
	60～64歳	2,490	707	28.4	0	0.0	1,107	44.5	543	21.8	133	5.3
	65～69歳	1,135	321	28.3	0	0.0	493	43.4	266	23.4	55	4.8
	70～74歳	684	200	29.2	0	0.0	276	40.4	179	26.2	29	4.2
	75～79歳	161	51	31.7	0	0.0	56	34.8	50	31.1	4	2.5
80歳以上	93	39	41.9	0	0.0	30	32.3	15	16.1	9	9.7	
小計	25,097	9,022	35.9	0	0.0	11,613	46.3	2,842	11.3	1,620	6.5	
女性	～19歳	605	462	76.4	0	0.0	132	21.8	0	0.0	11	1.8
	20～24歳	1,197	914	76.4	0	0.0	266	22.2	6	0.5	11	0.9
	25～29歳	1,317	988	75.0	0	0.0	310	23.5	4	0.3	15	1.1
	30～34歳	1,035	698	67.4	0	0.0	307	29.7	10	1.0	20	1.9
	35～39歳	1,395	883	63.3	0	0.0	458	32.8	20	1.4	34	2.4
	40～44歳	2,416	1,476	61.1	0	0.0	834	34.5	46	1.9	60	2.5
	45～49歳	3,174	1,640	51.7	0	0.0	1,310	41.3	125	3.9	99	3.1
	50～54歳	2,858	1,042	36.5	0	0.0	1,423	49.8	243	8.5	150	5.2
	55～59歳	2,246	594	26.4	0	0.0	1,141	50.8	367	16.3	144	6.4
	60～64歳	1,694	369	21.8	0	0.0	830	49.0	383	22.6	112	6.6
	65～69歳	870	187	21.5	0	0.0	370	42.5	254	29.2	59	6.8
	70～74歳	405	81	20.0	0	0.0	162	40.0	135	33.3	27	6.7
	75～79歳	88	23	26.1	0	0.0	34	38.6	25	28.4	6	6.8
80歳以上	163	72	44.2	0	0.0	63	38.7	18	11.0	10	6.1	
小計	19,463	9,429	48.4	0	0.0	7,640	39.3	1,636	8.4	758	3.9	
総数	～19歳	1,245	972	78.1	0	0.0	255	20.5	1	0.1	17	1.4
	20～24歳	2,896	2,006	69.3	0	0.0	816	28.2	16	0.6	58	2.0
	25～29歳	3,104	1,908	61.5	0	0.0	1,055	34.0	37	1.2	104	3.4
	30～34歳	2,684	1,445	53.8	0	0.0	1,073	40.0	40	1.5	126	4.7
	35～39歳	3,340	1,637	49.0	0	0.0	1,426	42.7	74	2.2	203	6.1
	40～44歳	4,947	2,341	47.3	0	0.0	2,154	43.5	199	4.0	253	5.1
	45～49歳	6,814	2,672	39.2	0	0.0	3,251	47.7	512	7.5	379	5.6
	50～54歳	6,324	1,970	31.2	0	0.0	3,168	50.1	758	12.0	428	6.8
	55～59歳	5,423	1,450	26.7	0	0.0	2,634	48.6	973	17.9	366	6.7
	60～64歳	4,184	1,076	25.7	0	0.0	1,937	46.3	926	22.1	245	5.9
	65～69歳	2,005	508	25.3	0	0.0	863	43.0	520	25.9	114	5.7
	70～74歳	1,089	281	25.8	0	0.0	438	40.2	314	28.8	56	5.1
	75～79歳	249	74	29.7	0	0.0	90	36.1	75	30.1	10	4.0
80歳以上	256	111	43.4	0	0.0	93	36.3	33	12.9	19	7.4	
合計	44,560	18,451	41.4	0	0.0	19,253	43.2	4,478	10.0	2,378	5.3	

実施状況

事業所健診のなかで、44,560人に血中脂質検査を行った。

男女別では、男性25,097人（56.3%）女性19,463人（43.7%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）41.4%、要指導43.2%、治療継続10.0%、要医療5.3%であった。



【事業所健診】糖代謝検査結果

令和3年度

	受診者数	判定								
		異常なし		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	474	453	95.6	20	4.2	1	0.2	0	0.0
	20～24歳	2,030	1,920	94.6	94	4.6	8	0.4	8	0.4
	25～29歳	1,923	1,737	90.3	154	8.0	18	0.9	14	0.7
	30～34歳	1,818	1,558	85.7	218	12.0	18	1.0	24	1.3
	35～39歳	2,025	1,693	83.6	272	13.4	30	1.5	30	1.5
	40～44歳	2,588	1,975	76.3	479	18.5	73	2.8	61	2.4
	45～49歳	3,687	2,525	68.5	854	23.2	213	5.8	95	2.6
	50～54歳	3,520	2,162	61.4	923	26.2	299	8.5	136	3.9
	55～59歳	3,277	1,719	52.5	1,056	32.2	361	11.0	141	4.3
	60～64歳	2,579	1,291	50.1	850	33.0	320	12.4	118	4.6
	65～69歳	1,207	600	49.7	372	30.8	174	14.4	61	5.1
	70～74歳	739	316	42.8	252	34.1	128	17.3	43	5.8
	75～79歳	171	54	31.6	64	37.4	37	21.6	16	9.4
80歳以上	98	40	40.8	40	40.8	15	15.3	3	3.1	
小計	26,136	18,043	69.0	5,648	21.6	1,695	6.5	750	2.9	
女性	～19歳	332	325	97.9	5	1.5	1	0.3	1	0.3
	20～24歳	1,622	1,536	94.7	81	5.0	2	0.1	3	0.2
	25～29歳	1,452	1,375	94.7	67	4.6	2	0.1	8	0.6
	30～34歳	1,114	1,006	90.3	97	8.7	6	0.5	5	0.4
	35～39歳	1,450	1,281	88.3	149	10.3	10	0.7	10	0.7
	40～44歳	2,445	2,072	84.7	320	13.1	29	1.2	24	1.0
	45～49歳	3,221	2,585	80.3	551	17.1	53	1.6	32	1.0
	50～54歳	2,900	2,152	74.2	639	22.0	75	2.6	34	1.2
	55～59歳	2,294	1,479	64.5	672	29.3	94	4.1	49	2.1
	60～64歳	1,726	1,056	61.2	549	31.8	90	5.2	31	1.8
	65～69歳	906	481	53.1	342	37.7	62	6.8	21	2.3
	70～74歳	420	207	49.3	154	36.7	43	10.2	16	3.8
	75～79歳	89	33	37.1	40	44.9	13	14.6	3	3.4
80歳以上	163	78	47.9	54	33.1	18	11.0	13	8.0	
小計	20,134	15,666	77.8	3,720	18.5	498	2.5	250	1.2	
総数	～19歳	806	778	96.5	25	3.1	2	0.2	1	0.1
	20～24歳	3,652	3,456	94.6	175	4.8	10	0.3	11	0.3
	25～29歳	3,375	3,112	92.2	221	6.5	20	0.6	22	0.7
	30～34歳	2,932	2,564	87.4	315	10.7	24	0.8	29	1.0
	35～39歳	3,475	2,974	85.6	421	12.1	40	1.2	40	1.2
	40～44歳	5,033	4,047	80.4	799	15.9	102	2.0	85	1.7
	45～49歳	6,908	5,110	74.0	1,405	20.3	266	3.9	127	1.8
	50～54歳	6,420	4,314	67.2	1,562	24.3	374	5.8	170	2.6
	55～59歳	5,571	3,198	57.4	1,728	31.0	455	8.2	190	3.4
	60～64歳	4,305	2,347	54.5	1,399	32.5	410	9.5	149	3.5
	65～69歳	2,113	1,081	51.2	714	33.8	236	11.2	82	3.9
	70～74歳	1,159	523	45.1	406	35.0	171	14.8	59	5.1
	75～79歳	260	87	33.5	104	40.0	50	19.2	19	7.3
80歳以上	261	118	45.2	94	36.0	33	12.6	16	6.1	
合計	46,270	33,709	72.9	9,368	20.2	2,193	4.7	1,000	2.2	

実施状況

事業所健診のなかで、46,270人に糖代謝検査を行った。

男女別では、男性26,136人（56.5%）女性20,134人（43.5%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）72.9%、要指導20.2%、治療継続4.7%、要医療2.2%であった。

【事業所健診】腎機能検査結果

令和3年度

	受診者数	判定								
		異常なし		要指導		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	865	819	94.7	17	2.0	3	0.3	26	3.0
	20～24歳	3,435	3,247	94.5	120	3.5	2	0.1	66	1.9
	25～29歳	1,945	1,751	90.0	157	8.1	7	0.4	30	1.5
	30～34歳	1,834	1,697	92.5	111	6.1	5	0.3	21	1.1
	35～39歳	2,052	1,868	91.0	128	6.2	15	0.7	41	2.0
	40～44歳	2,602	2,258	86.8	283	10.9	18	0.7	43	1.7
	45～49歳	3,714	3,098	83.4	502	13.5	27	0.7	87	2.3
	50～54歳	3,546	2,838	80.0	598	16.9	36	1.0	74	2.1
	55～59歳	3,283	2,525	76.9	628	19.1	41	1.2	89	2.7
	60～64歳	2,580	1,894	73.4	541	21.0	41	1.6	104	4.0
	65～69歳	1,208	872	72.2	253	20.9	15	1.2	68	5.6
	70～74歳	739	513	69.4	161	21.8	9	1.2	56	7.6
	75～79歳	169	121	71.6	25	14.8	5	3.0	18	10.7
	80歳以上	98	56	57.1	22	22.4	2	2.0	18	18.4
小計	28,070	23,557	83.9	3,546	12.6	226	0.8	741	2.6	
女性	～19歳	769	725	94.3	20	2.6	1	0.1	23	3.0
	20～24歳	3,073	2,840	92.4	129	4.2	4	0.1	100	3.3
	25～29歳	1,465	1,273	86.9	168	11.5	1	0.1	23	1.6
	30～34歳	1,112	979	88.0	108	9.7	6	0.5	19	1.7
	35～39歳	1,454	1,270	87.3	144	9.9	7	0.5	33	2.3
	40～44歳	2,443	2,071	84.8	290	11.9	12	0.5	70	2.9
	45～49歳	3,221	2,640	82.0	474	14.7	14	0.4	93	2.9
	50～54歳	2,901	2,210	76.2	562	19.4	27	0.9	102	3.5
	55～59歳	2,294	1,725	75.2	465	20.3	19	0.8	85	3.7
	60～64歳	1,726	1,298	75.2	347	20.1	21	1.2	60	3.5
	65～69歳	906	667	73.6	180	19.9	13	1.4	46	5.1
	70～74歳	420	295	70.2	91	21.7	9	2.1	25	6.0
	75～79歳	89	55	61.8	23	25.8	0	0.0	11	12.4
	80歳以上	163	69	42.3	41	25.2	2	1.2	51	31.3
小計	22,036	18,117	82.2	3,042	13.8	136	0.6	741	3.4	
総数	～19歳	1,634	1,544	94.5	37	2.3	4	0.2	49	3.0
	20～24歳	6,508	6,087	93.5	249	3.8	6	0.1	166	2.6
	25～29歳	3,410	3,024	88.7	325	9.5	8	0.2	53	1.6
	30～34歳	2,946	2,676	90.8	219	7.4	11	0.4	40	1.4
	35～39歳	3,506	3,138	89.5	272	7.8	22	0.6	74	2.1
	40～44歳	5,045	4,329	85.8	573	11.4	30	0.6	113	2.2
	45～49歳	6,935	5,738	82.7	976	14.1	41	0.6	180	2.6
	50～54歳	6,447	5,048	78.3	1,160	18.0	63	1.0	176	2.7
	55～59歳	5,577	4,250	76.2	1,093	19.6	60	1.1	174	3.1
	60～64歳	4,306	3,192	74.1	888	20.6	62	1.4	164	3.8
	65～69歳	2,114	1,539	72.8	433	20.5	28	1.3	114	5.4
	70～74歳	1,159	808	69.7	252	21.7	18	1.6	81	7.0
	75～79歳	258	176	68.2	48	18.6	5	1.9	29	11.2
	80歳以上	261	125	47.9	63	24.1	4	1.5	69	26.4
合計	50,106	41,674	83.2	6,588	13.1	362	0.7	1,482	3.0	

実施状況

事業所健診のなかで、50,106人に腎機能検査を行った。

男女別では、男性28,070人（56.0%）女性22,036人（44.0%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、20～24歳、50～54歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）83.2%、要指導13.1%、治療継続0.7%、要医療3.0%であった。

【事業所健診】血液一般検査結果

令和3年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		要 指 導		治 療 継 続		要 医 療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	719	608	84.6	62	8.6	0	0.0	49	6.8
	20～24歳	1,751	1,442	82.4	264	15.1	0	0.0	45	2.6
	25～29歳	1,801	1,480	82.2	275	15.3	0	0.0	46	2.6
	30～34歳	1,661	1,469	88.4	152	9.2	2	0.1	38	2.3
	35～39歳	1,949	1,768	90.7	119	6.1	3	0.2	59	3.0
	40～44歳	2,535	2,248	88.7	201	7.9	6	0.2	80	3.2
	45～49歳	3,645	3,124	85.7	380	10.4	13	0.4	128	3.5
	50～54歳	3,479	2,926	84.1	385	11.1	8	0.2	160	4.6
	55～59歳	3,185	2,702	84.8	331	10.4	8	0.3	144	4.5
	60～64歳	2,504	2,125	84.9	263	10.5	14	0.6	102	4.1
	65～69歳	1,146	1,017	88.7	76	6.6	6	0.5	47	4.1
	70～74歳	688	591	85.9	49	7.1	13	1.9	35	5.1
	75～79歳	162	124	76.5	18	11.1	4	2.5	16	9.9
	80歳以上	95	48	50.5	15	15.8	2	2.1	30	31.6
小 計	25,320	21,672	85.6	2,590	10.2	79	0.3	979	3.9	
女 性	～19歳	739	597	80.8	55	7.4	2	0.3	85	11.5
	20～24歳	1,273	995	78.2	193	15.2	13	1.0	72	5.7
	25～29歳	1,339	1,023	76.4	209	15.6	12	0.9	95	7.1
	30～34歳	1,050	787	75.0	158	15.0	15	1.4	90	8.6
	35～39歳	1,399	1,016	72.6	212	15.2	33	2.4	138	9.9
	40～44歳	2,392	1,725	72.1	345	14.4	64	2.7	258	10.8
	45～49歳	3,160	2,181	69.0	487	15.4	132	4.2	360	11.4
	50～54歳	2,854	2,255	79.0	291	10.2	85	3.0	223	7.8
	55～59歳	2,233	1,933	86.6	188	8.4	26	1.2	86	3.9
	60～64歳	1,677	1,469	87.6	149	8.9	8	0.5	51	3.0
	65～69歳	871	759	87.1	66	7.6	18	2.1	28	3.2
	70～74歳	402	340	84.6	44	10.9	4	1.0	14	3.5
	75～79歳	88	69	78.4	8	9.1	1	1.1	10	11.4
	80歳以上	163	62	38.0	40	24.5	6	3.7	55	33.7
小 計	19,640	15,211	77.4	2,445	12.4	419	2.1	1,565	8.0	
総 数	～19歳	1,458	1,205	82.6	117	8.0	2	0.1	134	9.2
	20～24歳	3,024	2,437	80.6	457	15.1	13	0.4	117	3.9
	25～29歳	3,140	2,503	79.7	484	15.4	12	0.4	141	4.5
	30～34歳	2,711	2,256	83.2	310	11.4	17	0.6	128	4.7
	35～39歳	3,348	2,784	83.2	331	9.9	36	1.1	197	5.9
	40～44歳	4,927	3,973	80.6	546	11.1	70	1.4	338	6.9
	45～49歳	6,805	5,305	78.0	867	12.7	145	2.1	488	7.2
	50～54歳	6,333	5,181	81.8	676	10.7	93	1.5	383	6.0
	55～59歳	5,418	4,635	85.5	519	9.6	34	0.6	230	4.2
	60～64歳	4,181	3,594	86.0	412	9.9	22	0.5	153	3.7
	65～69歳	2,017	1,776	88.1	142	7.0	24	1.2	75	3.7
	70～74歳	1,090	931	85.4	93	8.5	17	1.6	49	4.5
	75～79歳	250	193	77.2	26	10.4	5	2.0	26	10.4
	80歳以上	258	110	42.6	55	21.3	8	3.1	85	32.9
合 計	44,960	36,883	82.0	5,035	11.2	498	1.1	2,544	5.7	

実施状況

事業所健診のなかで、44,960人に血液一般検査を行った。

男女別では、男性25,320人（56.3%）女性19,640人（43.7%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）82.0%、要指導11.2%、治療継続1.1%、要医療5.7%であった。

【事業所健診】心電図検査結果

令和3年度

	受診者数	判 定								
		異常なし		有所見		治療継続		要医療		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	537	504	93.9	26	4.8	1	0.2	6	1.1
	20～24歳	759	673	88.7	70	9.2	4	0.5	12	1.6
	25～29歳	729	668	91.6	50	6.9	4	0.5	7	1.0
	30～34歳	900	812	90.2	69	7.7	6	0.7	13	1.4
	35～39歳	1,428	1,275	89.3	128	9.0	5	0.4	20	1.4
	40～44歳	2,484	2,132	85.8	272	11.0	25	1.0	55	2.2
	45～49歳	3,581	2,999	83.7	445	12.4	78	2.2	59	1.6
	50～54歳	3,433	2,753	80.2	492	14.3	115	3.3	73	2.1
	55～59歳	3,172	2,431	76.6	500	15.8	163	5.1	78	2.5
	60～64歳	2,490	1,779	71.4	453	18.2	183	7.3	75	3.0
	65～69歳	1,131	730	64.5	215	19.0	112	9.9	74	6.5
	70～74歳	682	400	58.7	145	21.3	80	11.7	57	8.4
	75～79歳	162	72	44.4	40	24.7	40	24.7	10	6.2
80歳以上	93	25	26.9	37	39.8	20	21.5	11	11.8	
小 計	21,581	17,253	79.9	2,942	13.6	836	3.9	550	2.5	
女 性	～19歳	558	512	91.8	41	7.3	2	0.4	3	0.5
	20～24歳	631	588	93.2	32	5.1	5	0.8	6	1.0
	25～29歳	615	565	91.9	37	6.0	6	1.0	7	1.1
	30～34歳	615	569	92.5	30	4.9	6	1.0	10	1.6
	35～39歳	1,023	948	92.7	53	5.2	3	0.3	19	1.9
	40～44歳	2,352	2,151	91.5	159	6.8	13	0.6	29	1.2
	45～49歳	3,138	2,810	89.5	230	7.3	41	1.3	57	1.8
	50～54歳	2,840	2,497	87.9	254	8.9	36	1.3	53	1.9
	55～59歳	2,235	1,887	84.4	262	11.7	37	1.7	49	2.2
	60～64歳	1,671	1,399	83.7	183	11.0	36	2.2	53	3.2
	65～69歳	866	679	78.4	113	13.0	27	3.1	47	5.4
	70～74歳	400	282	70.5	67	16.8	28	7.0	23	5.8
	75～79歳	87	52	59.8	19	21.8	8	9.2	8	9.2
80歳以上	163	44	27.0	48	29.4	36	22.1	35	21.5	
小 計	17,194	14,983	87.1	1,528	8.9	284	1.7	399	2.3	
総 数	～19歳	1,095	1,016	92.8	67	6.1	3	0.3	9	0.8
	20～24歳	1,390	1,261	90.7	102	7.3	9	0.6	18	1.3
	25～29歳	1,344	1,233	91.7	87	6.5	10	0.7	14	1.0
	30～34歳	1,515	1,381	91.2	99	6.5	12	0.8	23	1.5
	35～39歳	2,451	2,223	90.7	181	7.4	8	0.3	39	1.6
	40～44歳	4,836	4,283	88.6	431	8.9	38	0.8	84	1.7
	45～49歳	6,719	5,809	86.5	675	10.0	119	1.8	116	1.7
	50～54歳	6,273	5,250	83.7	746	11.9	151	2.4	126	2.0
	55～59歳	5,407	4,318	79.9	762	14.1	200	3.7	127	2.3
	60～64歳	4,161	3,178	76.4	636	15.3	219	5.3	128	3.1
	65～69歳	1,997	1,409	70.6	328	16.4	139	7.0	121	6.1
	70～74歳	1,082	682	63.0	212	19.6	108	10.0	80	7.4
	75～79歳	249	124	49.8	59	23.7	48	19.3	18	7.2
80歳以上	256	69	27.0	85	33.2	56	21.9	46	18.0	
合 計	38,775	32,236	83.1	4,470	11.5	1,120	2.9	949	2.4	

実施状況

事業所健診のなかで、38,775人に心電図検査を行った。

男女別では、男性21,581人（55.7%）女性17,194人（44.3%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）83.1%、有所見11.5%、治療継続2.9%、要医療2.4%であった。

【事業所健診】眼底検査結果

令和3年度

	受診者数	判定										
		異常なし		有所見・軽度異常		治療継続		要医療		読影不能、判定不能		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	3	2	66.7	0	0.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0
	20～24歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	11	11	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	56	47	83.9	0	0.0	1	1.8	8	14.3	0	0.0
	35～39歳	212	169	79.7	3	1.4	4	1.9	36	17.0	0	0.0
	40～44歳	401	274	68.3	21	5.2	11	2.7	95	23.7	0	0.0
	45～49歳	514	354	68.9	32	6.2	13	2.5	115	22.4	0	0.0
	50～54歳	549	349	63.6	54	9.8	22	4.0	124	22.6	0	0.0
	55～59歳	399	242	60.7	43	10.8	17	4.3	97	24.3	0	0.0
	60～64歳	409	218	53.3	67	16.4	28	6.8	96	23.5	0	0.0
	65～69歳	255	128	50.2	55	21.6	13	5.1	59	23.1	0	0.0
	70～74歳	144	50	34.7	36	25.0	15	10.4	43	29.9	0	0.0
	75～79歳	26	7	26.9	4	15.4	5	19.2	10	38.5	0	0.0
80歳以上	15	2	13.3	2	13.3	2	13.3	9	60.0	0	0.0	
小計	3,000	1,859	62.0	317	10.6	131	4.4	693	23.1	0	0.0	
女性	～19歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	5	4	80.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0
	25～29歳	8	8	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	39	37	94.9	1	2.6	0	0.0	1	2.6	0	0.0
	35～39歳	210	171	81.4	4	1.9	3	1.4	32	15.2	0	0.0
	40～44歳	422	330	78.2	9	2.1	9	2.1	74	17.5	0	0.0
	45～49歳	476	323	67.9	30	6.3	15	3.2	108	22.7	0	0.0
	50～54歳	620	415	66.9	50	8.1	37	6.0	118	19.0	0	0.0
	55～59歳	407	256	62.9	40	9.8	23	5.7	88	21.6	0	0.0
	60～64歳	283	183	64.7	23	8.1	21	7.4	56	19.8	0	0.0
	65～69歳	164	95	57.9	33	20.1	10	6.1	26	15.9	0	0.0
	70～74歳	82	41	50.0	19	23.2	7	8.5	15	18.3	0	0.0
	75～79歳	17	5	29.4	5	29.4	2	11.8	5	29.4	0	0.0
80歳以上	2	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	
小計	2,736	1,869	68.3	215	7.9	128	4.7	524	19.2	0	0.0	
総数	～19歳	4	3	75.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0
	20～24歳	11	10	90.9	0	0.0	0	0.0	1	9.1	0	0.0
	25～29歳	19	19	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	95	84	88.4	1	1.1	1	1.1	9	9.5	0	0.0
	35～39歳	422	340	80.6	7	1.7	7	1.7	68	16.1	0	0.0
	40～44歳	823	604	73.4	30	3.6	20	2.4	169	20.5	0	0.0
	45～49歳	990	677	68.4	62	6.3	28	2.8	223	22.5	0	0.0
	50～54歳	1,169	764	65.4	104	8.9	59	5.0	242	20.7	0	0.0
	55～59歳	806	498	61.8	83	10.3	40	5.0	185	23.0	0	0.0
	60～64歳	692	401	57.9	90	13.0	49	7.1	152	22.0	0	0.0
	65～69歳	419	223	53.2	88	21.0	23	5.5	85	20.3	0	0.0
	70～74歳	226	91	40.3	55	24.3	22	9.7	58	25.7	0	0.0
	75～79歳	43	12	27.9	9	20.9	7	16.3	15	34.9	0	0.0
80歳以上	17	2	11.8	3	17.6	3	17.6	9	52.9	0	0.0	
合計	5,736	3,728	65.0	532	9.3	259	4.5	1,217	21.2	0	0.0	

実施状況

事業所健診のなかで、5,736人に眼底検査を行った。

男女別では、男性3,000人（52.3%）女性2,736人（47.7%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）65.0%、有所見9.3%、治療継続4.5%、要医療21.2%であった。

## 4 各種検査の成績

### 腹部超音波検査結果

令和3年度

	受診者数	判 定												
		異常なし		有所見		要 指 導		治 療 継 続		要 精 検		読影不能・判定不能		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2	1	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	13	3	23.1	0	0.0	9	69.2	0	0.0	1	7.7	0	0.0
	30～34歳	56	22	39.3	2	3.6	30	53.6	0	0.0	2	3.6	0	0.0
	35～39歳	174	53	30.5	2	1.1	112	64.4	0	0.0	7	4.0	0	0.0
	40～44歳	362	77	21.3	6	1.7	270	74.6	0	0.0	9	2.5	0	0.0
	45～49歳	481	60	12.5	18	3.7	388	80.7	1	0.2	14	2.9	0	0.0
	50～54歳	502	39	7.8	10	2.0	419	83.5	2	0.4	32	6.4	0	0.0
	55～59歳	383	29	7.6	7	1.8	317	82.8	4	1.0	26	6.8	0	0.0
	60～64歳	402	29	7.2	8	2.0	325	80.8	2	0.5	38	9.5	0	0.0
	65～69歳	372	13	3.5	6	1.6	315	84.7	1	0.3	37	9.9	0	0.0
	70～74歳	421	10	2.4	3	0.7	361	85.7	0	0.0	47	11.2	0	0.0
	75～79歳	171	3	1.8	2	1.2	152	88.9	0	0.0	14	8.2	0	0.0
	80歳以上	70	4	5.7	0	0.0	57	81.4	0	0.0	9	12.9	0	0.0
小 計	3,409	343	10.1	64	1.9	2,756	80.8	10	0.3	236	6.9	0	0.0	
女 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	4	2	50.0	0	0.0	2	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	33	18	54.5	0	0.0	14	42.4	0	0.0	1	3.0	0	0.0
	35～39歳	194	71	36.6	1	0.5	109	56.2	0	0.0	13	6.7	0	0.0
	40～44歳	444	133	30.0	2	0.5	285	64.2	1	0.2	23	5.2	0	0.0
	45～49歳	499	121	24.2	3	0.6	342	68.5	2	0.4	31	6.2	0	0.0
	50～54歳	688	111	16.1	3	0.4	517	75.1	4	0.6	53	7.7	0	0.0
	55～59歳	546	55	10.1	5	0.9	459	84.1	3	0.5	24	4.4	0	0.0
	60～64歳	475	58	12.2	2	0.4	376	79.2	0	0.0	39	8.2	0	0.0
	65～69歳	474	37	7.8	0	0.0	386	81.4	0	0.0	51	10.8	0	0.0
	70～74歳	498	37	7.4	1	0.2	410	82.3	0	0.0	50	10.0	0	0.0
	75～79歳	189	8	4.2	0	0.0	154	81.5	0	0.0	27	14.3	0	0.0
	80歳以上	76	4	5.3	0	0.0	63	82.9	0	0.0	9	11.8	0	0.0
小 計	4,122	657	15.9	17	0.4	3,117	75.6	10	0.2	321	7.8	0	0.0	
総 数	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	4	3	75.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	17	5	29.4	0	0.0	11	64.7	0	0.0	1	5.9	0	0.0
	30～34歳	89	40	44.9	2	2.2	44	49.4	0	0.0	3	3.4	0	0.0
	35～39歳	368	124	33.7	3	0.8	221	60.1	0	0.0	20	5.4	0	0.0
	40～44歳	806	210	26.1	8	1.0	555	68.9	1	0.1	32	4.0	0	0.0
	45～49歳	980	181	18.5	21	2.1	730	74.5	3	0.3	45	4.6	0	0.0
	50～54歳	1,190	150	12.6	13	1.1	936	78.7	6	0.5	85	7.1	0	0.0
	55～59歳	929	84	9.0	12	1.3	776	83.5	7	0.8	50	5.4	0	0.0
	60～64歳	877	87	9.9	10	1.1	701	79.9	2	0.2	77	8.8	0	0.0
	65～69歳	846	50	5.9	6	0.7	701	82.9	1	0.1	88	10.4	0	0.0
	70～74歳	919	47	5.1	4	0.4	771	83.9	0	0.0	97	10.6	0	0.0
	75～79歳	360	11	3.1	2	0.6	306	85.0	0	0.0	41	11.4	0	0.0
	80歳以上	146	8	5.5	0	0.0	120	82.2	0	0.0	18	12.3	0	0.0
合 計	7,531	1,000	13.3	81	1.1	5,873	78.0	20	0.3	557	7.4	0	0.0	

### 実施状況

腹部超音波検査は、7,531人に実施している

男女別では、男性3,409人（45.3%）女性4,122人（54.7%）であった。

また、年齢階級で見ると、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

### 判定結果

異常なし（精検不要）13.3%、有所見1.1%、要指導78.0%、治療継続0.3%、要精検7.4%であった。

肝炎検査（B型肝炎）結果

令和3年度

	受診者数	判 定								
		陰 性		抗原陰性抗体陽性		治療継続		陽 性		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	7	7	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	4	3	75.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	40	34	85.0	6	15.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	104	89	85.6	15	14.4	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	529	513	97.0	14	2.6	1	0.2	1	0.2
	45～49歳	438	405	92.5	30	6.8	2	0.5	1	0.2
	50～54歳	376	355	94.4	14	3.7	1	0.3	6	1.6
	55～59歳	355	340	95.8	7	2.0	1	0.3	7	2.0
	60～64歳	437	412	94.3	15	3.4	1	0.2	9	2.1
	65～69歳	487	471	96.7	7	1.4	0	0.0	9	1.8
	70～74歳	346	339	98.0	0	0.0	0	0.0	7	2.0
	75～79歳	85	80	94.1	0	0.0	0	0.0	5	5.9
	80歳以上	57	56	98.2	0	0.0	0	0.0	1	1.8
小 計	3,265	3,104	95.1	109	3.3	6	0.2	46	1.4	
女 性	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	38	34	89.5	4	10.5	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	46	41	89.1	5	10.9	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	55	53	96.4	2	3.6	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	165	154	93.3	11	6.7	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	1,097	1,086	99.0	10	0.9	0	0.0	1	0.1
	45～49歳	562	547	97.3	10	1.8	3	0.5	2	0.4
	50～54歳	499	481	96.4	12	2.4	2	0.4	4	0.8
	55～59歳	471	458	97.2	10	2.1	1	0.2	2	0.4
	60～64歳	416	407	97.8	7	1.7	0	0.0	2	0.5
	65～69歳	404	397	98.3	0	0.0	0	0.0	7	1.7
	70～74歳	265	263	99.2	0	0.0	0	0.0	2	0.8
	75～79歳	92	90	97.8	0	0.0	0	0.0	2	2.2
	80歳以上	62	61	98.4	0	0.0	0	0.0	1	1.6
小 計	4,178	4,078	97.6	71	1.7	6	0.1	23	0.6	
総 数	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	45	41	91.1	4	8.9	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	50	44	88.0	6	12.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	95	87	91.6	8	8.4	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	269	243	90.3	26	9.7	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	1,626	1,599	98.3	24	1.5	1	0.1	2	0.1
	45～49歳	1,000	952	95.2	40	4.0	5	0.5	3	0.3
	50～54歳	875	836	95.5	26	3.0	3	0.3	10	1.1
	55～59歳	826	798	96.6	17	2.1	2	0.2	9	1.1
	60～64歳	853	819	96.0	22	2.6	1	0.1	11	1.3
	65～69歳	891	868	97.4	7	0.8	0	0.0	16	1.8
	70～74歳	611	602	98.5	0	0.0	0	0.0	9	1.5
	75～79歳	177	170	96.0	0	0.0	0	0.0	7	4.0
	80歳以上	119	117	98.3	0	0.0	0	0.0	2	1.7
合 計	7,443	7,182	96.5	180	2.4	12	0.2	69	0.9	

実施状況

B型肝炎検査は、7,443人に実施している

男女別では、男性3,265人（43.9%）女性4,178人（56.1%）であった。

また、年齢階級でみると、40～44歳が最も高く、次いで、45～49歳、65～69歳の順であった。

判定結果

抗原陰性96.5%、抗原陰性抗体陽性2.4%、抗原陽性0.9%であった。

肝炎検査（C型肝炎）結果

令和3年度

	受診者数	判定						
		陰性		治療継続		陽性		
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
男性	～19歳	0	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	20～24歳	7	7	100.00	0	0.00	0	0.00
	25～29歳	3	3	100.00	0	0.00	0	0.00
	30～34歳	29	29	100.00	0	0.00	0	0.00
	35～39歳	86	86	100.00	0	0.00	0	0.00
	40～44歳	489	488	99.80	0	0.00	1	0.20
	45～49歳	386	386	100.00	0	0.00	0	0.00
	50～54歳	342	342	100.00	0	0.00	0	0.00
	55～59歳	331	331	100.00	0	0.00	0	0.00
	60～64歳	416	416	100.00	0	0.00	0	0.00
	65～69歳	470	470	100.00	0	0.00	0	0.00
	70～74歳	343	343	100.00	0	0.00	0	0.00
	75～79歳	85	85	100.00	0	0.00	0	0.00
	80歳以上	57	57	100.00	0	0.00	0	0.00
小計	3,044	3,043	99.97	0	0.00	1	0.03	
女性	～19歳	6	6	100.00	0	0.00	0	0.00
	20～24歳	54	54	100.00	0	0.00	0	0.00
	25～29歳	66	65	98.48	0	0.00	1	1.52
	30～34歳	64	64	100.00	0	0.00	0	0.00
	35～39歳	153	153	100.00	0	0.00	0	0.00
	40～44歳	1,065	1,065	100.00	0	0.00	0	0.00
	45～49歳	530	529	99.81	0	0.00	1	0.19
	50～54歳	478	478	100.00	0	0.00	0	0.00
	55～59歳	462	462	100.00	0	0.00	0	0.00
	60～64歳	404	404	100.00	0	0.00	0	0.00
	65～69歳	397	397	100.00	0	0.00	0	0.00
	70～74歳	265	265	100.00	0	0.00	0	0.00
	75～79歳	91	91	100.00	0	0.00	0	0.00
	80歳以上	63	63	100.00	0	0.00	0	0.00
小計	4,098	4,096	99.95	0	0.00	2	0.05	
総数	～19歳	6	6	100.00	0	0.00	0	0.00
	20～24歳	61	61	100.00	0	0.00	0	0.00
	25～29歳	69	68	98.55	0	0.00	1	1.45
	30～34歳	93	93	100.00	0	0.00	0	0.00
	35～39歳	239	239	100.00	0	0.00	0	0.00
	40～44歳	1,554	1,553	99.94	0	0.00	1	0.06
	45～49歳	916	915	99.89	0	0.00	1	0.11
	50～54歳	820	820	100.00	0	0.00	0	0.00
	55～59歳	793	793	100.00	0	0.00	0	0.00
	60～64歳	820	820	100.00	0	0.00	0	0.00
	65～69歳	867	867	100.00	0	0.00	0	0.00
	70～74歳	608	608	100.00	0	0.00	0	0.00
	75～79歳	176	176	100.00	0	0.00	0	0.00
	80歳以上	120	120	100.00	0	0.00	0	0.00
合計	7,142	7,139	99.96	0	0.00	3	0.04	

実施状況

C型肝炎検査は、7,142人に実施している。

男女別では、男性3,044人（42.6%）女性4,098人（57.3%）であった。

また、年齢階級でみると、40～44歳が最も高く、次いで、45～49歳、65～69歳の順であった。

判定結果

陰性99.96%、陽性0.04%であった。



## 5 検診センターの精密検査成績

### 1 精密検査実施状況

センター別 部位別	小計	令和3年度			小計	令和2年度		
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
胃	6,130	4,114	1,593	423	5,822	3,884	1,546	392
子宮	1,208	688	349	171	1,152	609	395	148
乳	1,021	450	571	0	1,180	623	557	0
肺	503	182	308	13	571	237	319	15
大腸	1,203	563	532	108	1,237	730	385	122
合計	10,065	5,997	3,353	715	9,962	6,083	3,202	677

### 2 部位別内訳

#### (1) 胃がん

センター別 部位別	計	令和3年度			計	令和2年度			
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路	
検査日数	715	263	259	193	693	254	258	181	
精検受診者数	6,130	4,114	1,593	423	5,822	3,884	1,546	392	
延べ内訳	X線直接撮影	17	0	0	17	24	8	0	16
	内視鏡	6,130	4,114	1,610	406	5,826	3,904	1,546	376
	組織診	801	669	121	11	841	737	88	16
発見がん数	67	43	22	2	67	40	20	7	
(別掲)その他のがん	(11)	(8)	(3)	(0)	(13)	(11)	(2)	(0)	

#### (2) 子宮がん（卵巣も含む）

センター別 部位別	計	令和3年度			計	令和2年度			
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路	
検査日数	546	231	270	45	499	225	234	40	
精検受診者数	1,208	688	349	171	1,152	609	395	148	
延べ内訳	再検査(細胞診)	1,246	587	450	209	1,242	624	432	186
	頸部組織診	218	147	40	31	311	196	86	29
	体部組織診	13	11	2	0	13	8	5	0
超音波	925	491	311	123	1,066	594	360	112	
HPVウイルス	507	271	217	19	537	230	290	17	
発見がん数	15	12	3	0	27	17	10	0	

## (3) 乳がん

センター別 部位別		計	令和3年度			計	令和2年度		
			札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数		384	135	249	-	382	140	242	-
精検受診者数		1,021	450	571	-	1,180	623	557	-
延べ 内訳	X線撮影	991	456	535	-	1,089	583	506	-
	超音波	1,056	420	636	-	1,236	637	599	-
	細胞診	128	0	128	-	137	0	137	-
	触診再検査	900	354	546	-	1,079	554	525	-
発見がん数		134	46	88	-	144	46	98	-

## (4) 肺がん

センター別 部位別		計	令和3年度			計	令和2年度		
			札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数		153	46	94	13	151	45	91	15
精検受診者数		503	182	308	13	571	237	319	15
延べ 内訳	X線直接撮影	381	19	357	5	404	18	381	5
	C T	578	209	357	12	633	237	381	15
	喀痰細胞診	1	0	1	0	0	0	0	0
発見がん数		19	12	7	0	30	21	9	0
(別掲)その他のがん		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

## (5) 大腸がん

センター別 部位別		計	令和3年度			計	令和2年度		
			札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数		459	136	228	95	412	118	194	100
精検受診者数		1,203	563	532	108	1,237	730	385	122
延べ 内訳	X線注腸撮影	0	0	0	0	0	0	0	0
	内視鏡	1,205	564	533	108	1,237	730	385	122
	組織診	223	7	216	0	99	14	85	0
発見がん数		38	19	19	0	47	30	12	5
(別掲)その他のがん		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

### 3 精密検査結果

#### (1) 胃がん

札幌がん検診センター

昭和45年度～令和3年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
S45～H28	204,915	3,480(319)	25,402	10,168	50,266	2,435	28,660	15,835	68,669
H29	2,935	40( 2)	266	20	157	2	1,463	591	396
H30	3,557	56( 17)	288	65	113	15	2,154	588	278
R元	3,971	39( 12)	238	56	86	14	2,900	491	147
R 2	3,884	40( 23)	209	50	76	15	2,751	596	147
R 3	4,114	43( 25)	194	35	73	21	3,035	571	142
合計	223,376	3,698(398)	26,597	10,394	50,771	2,502	40,963	18,672	69,779

旭川がん検診センター

昭和56年度～令和3年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
S56～H28	85,830	1,521(243)	13,894	3,119	13,315	1,185	22,123	4,537	26,136
H29	1,599	11( 2)	271	16	65	2	802	393	39
H30	1,797	19( 6)	306	11	129	3	846	444	39
R元	1,951	31( 13)	285	8	130	1	966	488	42
R 2	1,546	20( 9)	202	7	76	2	835	373	31
R 3	1,593	22( 7)	273	10	101	5	798	35	349
合計	94,316	1,624(280)	15,231	3,171	13,816	1,198	26,370	6,270	26,636

釧路がん検診センター

昭和60年度～令和3年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
S60～H28	37,466	617(83)	4,682	1,364	5,196	542	13,312	3,919	7,834
H29	540	7( 1)	70	5	33	3	323	52	47
H30	517	9( 2)	69	8	28	2	304	60	37
R元	476	6( 1)	60	10	32	1	261	62	44
R 2	392	7( 2)	55	1	32	1	219	42	35
R 3	423	2( 0)	72	6	31	1	226	39	46
合計	39,814	648( 3)	5,008	1,394	5,352	550	14,645	4,174	8,043

※ ( ) 内数字は経過観察者より発見した「がん」の再掲、発見がん数には悪性リンパ腫を含む。

精検受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(令和3年度は 札幌 3,492人、旭川 1,124人、釧路 339人)

(2) (再掲) 精密検査より発見した胃がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

令和3年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		43(25)	29(13)	14(12)	33(16)	23(7)	10(9)	10(9)	6(6)	4(3)	
手術 施行	計	43(25)	29(13)	14(12)	33(16)	23(7)	10(9)	10(9)	6(6)	4(3)	
	早期	内視鏡切除術	37(23)	24(12)	13(11)	28(15)	19(7)	9(8)	9(8)	5(5)	4(3)
		開腹手術	3(2)	2(1)	1(1)	2(1)	1(0)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)
	進 行	3(0)	3(0)	0(0)	3(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
	調 査 中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	

旭川がん検診センター

令和3年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		22(1)	18(1)	4(0)	15(1)	13(1)	2(0)	7(0)	5(0)	2(0)	
手術 施行	計	22(1)	18(1)	4(0)	15(1)	13(1)	2(0)	7(0)	5(0)	2(0)	
	早期	内視鏡切除術	14(1)	12(1)	2(0)	11(1)	10(1)	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)
		開腹手術	4(0)	3(0)	1(0)	2(0)	2(0)	0(0)	2(0)	1(0)	1(0)
	進 行	4(0)	3(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	2(0)	2(0)	0(0)	
	調 査 中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	

釧路がん検診センター

令和3年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		2(0)	2(0)	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術 施行	計	2(0)	2(0)	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
	早期	内視鏡切除術	1(0)	1(0)	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		開腹手術	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
	調 査 中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	

※発見胃がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

( ) 内数字は経過観察者より発見した胃がん再掲。

※その他は一次検診を受けずに直接精検を希望した方や、医療機関からの紹介患者及び他機関の一次検診を受け、要精検となった方など。

### (3) 大腸がん精密検査

札幌がん検診センター

昭和56年度～令和3年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
S56～H28	62,706	2,045(43)	647	65	28,962	3,021	27,966
H29	1,328	57( 1)	16	0	816	165	274
H30	1,281	67( 5)	0	0	792	117	305
R元	1,193	35( 0)	7	1	687	203	260
R 2	730	30( 4)	7	0	382	120	191
R 3	564	19( 7)	8	0	331	116	90
合計	67,802	2,253(60)	685	66	31,970	3,742	29,086

旭川がん検診センター

昭和56年度～令和3年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
S56～H28	20,192	774(39)	269	5	12,061	1,663	5,420
H29	274	13( 0)	0	0	164	74	23
H30	505	32( 1)	3	0	332	109	29
R元	565	17( 1)	6	0	392	112	38
R 2	385	12( 0)	5	0	245	99	24
R 3	532	19( 1)	8	0	343	134	28
合計	22,453	867(42)	291	5	13,537	2,191	5,562

釧路がん検診センター

昭和60年度～令和3年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
S56～H28	13,209	418(19)	56	13	7,705	207	4,810
H29	166	9( 0)	1	0	91	0	65
H30	137	13( 0)	1	0	75	1	47
R元	138	5( 0)	0	0	77	0	56
R 2	122	5( 0)	0	0	68	1	48
R 3	108	0( 0)	0	0	57	1	50
合計	13,880	450(19)	58	13	8,073	210	5,076

※精密検査受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(令和3年度は、札幌 245人、旭川 107人、釧路 57人)

※がんの( )内数字は経過観察者より発見した大腸がん再掲。

(4) (再掲) 精密検査より発見した大腸がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

令和3年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		19(8)	12(4)	7(4)	18(7)	12(4)	6(3)	1(1)	0(0)	1(1)	
手術 施行	計	19(8)	12(4)	7(4)	18(7)	12(4)	6(3)	1(1)	0(0)	1(1)	
	早 期	内視鏡切除術	11(6)	6(3)	5(3)	11(6)	6(3)	5(3)	0(0)	0(0)	0(0)
		開腹手術	2(2)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)
	進 行	5(0)	4(0)	1(0)	5(0)	4(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
	調 査 中	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	

旭川がん検診センター

令和3年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		19(2)	9(2)	10(0)	18(2)	9(2)	9(0)	1(0)	0(0)	1(0)	
手術 施行	計	19(2)	9(2)	10(0)	18(2)	9(2)	9(0)	1(0)	0(0)	1(0)	
	早 期	内視鏡切除術	10(2)	5(2)	5(0)	9(2)	5(2)	4(0)	1(0)	0(0)	1(0)
		開腹手術	4(0)	3(0)	1(0)	4(0)	3(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行	5(0)	1(0)	4(0)	5(0)	1(0)	4(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
	調 査 中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	

釧路がん検診センター

令和3年度

		総 数			一次検診受診者			※その他			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	
総 数		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術 施行	計	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
	早 期	内視鏡切除術	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		開腹手術	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
	調 査 中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	

※発見大腸がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

※その他の内訳は一次検診を受けずに直接精密検査を受けた方や、他機関の一次検診受診の後、精密検査を受けた方及び医療機関からの紹介患者など。

(5) 子宮がん精密検査（経過観察者を含む）

令和3年度

年齢	受診者数	細胞診結果										細胞診後指示				精検の結果								精検後経過観察									
		扁平上皮系						腺細胞系				異常なし	経過観察	頸部精検	体部精検	良性	異型上皮	CIN3(上皮内がん)	扁平上皮がん	上皮内腺がん	腺がん	体部がん	他のがん		擬陽性								
		NILM	ASC-US	L-SIL	ASC-H	H-SIL	SCC	AGC	AIS	ADC	other malig																						
総数		1,244	811	200	109	52	55	0	16	0	1	0	150	936	274	10	63	213	21	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	238
総数		585	365	103	47	25	28	0	16	0	1	0	89	396	220	8	53	166	4	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	180	
総数		450	291	72	54	17	16	0	0	0	0	0	55	355	40	2	3	28	12	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	
総数		209	155	25	8	10	11	0	0	0	0	0	6	185	14	0	7	19	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	
～19	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
20～24	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
25～29	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
30～34	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
35～39	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
40～44	20	10	1	2	3	4	0	0	0	0	0	1	14	5	0	3	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
45～49	31	23	3	2	0	3	0	0	0	0	0	0	28	5	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
50～54	45	32	7	2	2	2	0	0	0	0	0	0	43	2	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
55～59	27	22	4	0	0	1	0	0	0	0	0	1	24	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
60～64	25	20	3	2	0	0	0	0	0	0	0	2	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
65～69	9	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
70～74	18	16	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
75～79	10	4	2	0	3	1	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
80～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※精検指示と結果は他施設で実施した方がいるため一致しない。

※平成26年度より、精検者の集検時におけるベセスダ分類は計上されていない。なお、健康診査受診者の精検結果は含まれる。

#### 4 医療機関からの受託検査

昭和45年度～令和3年度

年 度	受託総数	婦人科	呼吸器	胸水	腹水	尿	乳房	胃	その他	組 織
総 数										
S45～H28	869,730 (17,635)	705,868 (3,660)	79,922 (4,548)	5,314 (1,381)	5,836 (1,575)	31,010 (1,808)	7,619 (1,317)	137 (8)	10,135 (2,152)	23,889 (1,186)
H29	5,847 (76)	5,232 (14)	83 (0)	18 (0)	19 (4)	205 (6)	217 (50)	0 (0)	21 (1)	52 (1)
H30	4,481 (58)	3,870 (5)	117 (1)	32 (3)	23 (5)	162 (6)	183 (37)	0 (0)	47 (1)	47 (0)
R元	4,049 (51)	3,544 (9)	95 (1)	38 (4)	14 (3)	142 (3)	138 (27)	0 (0)	33 (4)	45 (0)
R 2	4,127 31	3,608 (8)	96 (0)	34 (0)	24 (2)	177 (3)	110 (18)	0 (0)	44 (0)	34 (0)
R 3	3,337 (46)	2,797 (12)	111 (1)	29 (3)	6 (2)	167 (2)	152 (22)	0 (0)	45 (3)	30 (1)
計	891,571 (17,897)	724,919 (3,708)	80,424 (4,551)	5,465 (1,391)	5,922 (1,591)	31,863 (1,828)	8,419 (1,471)	137 (8)	10,325 (2,161)	24,097 (1,188)
札 幌										
S45～H28	445,572 (12,380)	363,351 (2,468)	36,528 (2,944)	2,408 (1,010)	3,168 (1,098)	11,550 (1,271)	3,132 (813)	108 (6)	5,927 (1,851)	19,400 (919)
H29	1,001 (21)	777 (6)	8 (0)	5 (0)	15 (4)	171 (6)	7 (4)	0 (0)	18 (1)	0 (0)
H30	943 (16)	746 (1)	16 (1)	11 (2)	15 (5)	118 (6)	1 (0)	0 (0)	36 (1)	0 (0)
R元	742 (18)	580 (5)	4 (1)	20 (3)	8 (2)	103 (3)	2 (0)	0 (0)	25 (4)	0 (0)
R 2	862 (11)	643 (6)	5 (0)	17 (0)	22 (2)	127 (3)	4 (0)	0 (0)	44 (0)	0 (0)
R 3	930 (14)	733 (3)	15 (1)	12 (3)	6 (2)	123 (2)	1 (0)	0 (0)	40 (3)	0 (0)
計	450,050 (12,460)	366,830 (2,489)	36,576 (2,947)	2,473 (1,018)	3,234 (1,113)	12,192 (1,291)	3,147 (817)	108 (6)	6,090 (1,860)	19,400 (919)

注) ( ) 内数字は陽性の再掲



昭和45年度～令和3年度

年 度	受 託 総 数	婦 人 科	呼 吸 器	胸 水	腹 水	尿	乳 房	胃	その他	組 織	
		旭					川				
S45～H28	352,648 (4,573)	278,152 (884)	40,377 (1,493)	2,771 (342)	2,427 (431)	18,330 (484)	4,344 (494)	21 (2)	3,866 (278)	2,360 (165)	
H29	4,053 (53)	3,698 (7)	75 (0)	13 (0)	4 (0)	34 (0)	210 (46)	0 (0)	3 (0)	16 (0)	
H30	2,813 (40)	2,438 (2)	101 (0)	21 (1)	8 (0)	44 (0)	182 (37)	0 (0)	11 (0)	8 (0)	
R元	2,604 (33)	2,301 (4)	91 (0)	18 (1)	6 (1)	39 (0)	136 (27)	0 (0)	8 (0)	5 (0)	
R 2	2,515 (20)	2,244 (2)	91 (0)	17 (0)	2 (0)	50 (0)	106 (18)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	
R 3	1,748 (24)	1,432 (2)	96 (0)	17 (0)	0 (0)	44 (0)	151 (22)	0 (0)	5 (0)	3 (0)	
計	366,381 (4,743)	290,265 (901)	40,831 (1,493)	2,857 (344)	2,447 (432)	18,541 (484)	5,129 (644)	21 (2)	3,893 (278)	2,397 (165)	
		鉏					路				
S45～H28	71,510 (682)	64,365 (308)	3,017 (111)	135 (29)	241 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	2,129 (102)	
H29	793 (2)	757 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (1)	
H30	725 (2)	686 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	39 (0)	
R元	703 (0)	663 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (0)	
R 2	750 (0)	721 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (0)	
R 3	659 (8)	632 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	27 (1)	
計	75,140 (694)	67,824 (318)	3,017 (111)	135 (29)	241 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	2,300 (104)	

注) ( ) 内数字は陽性の再掲



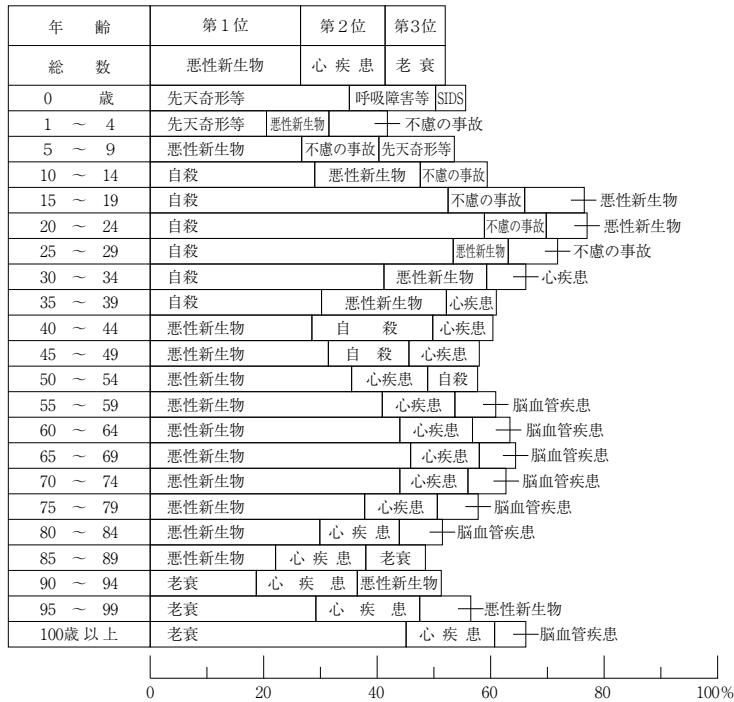
## 【参考資料】



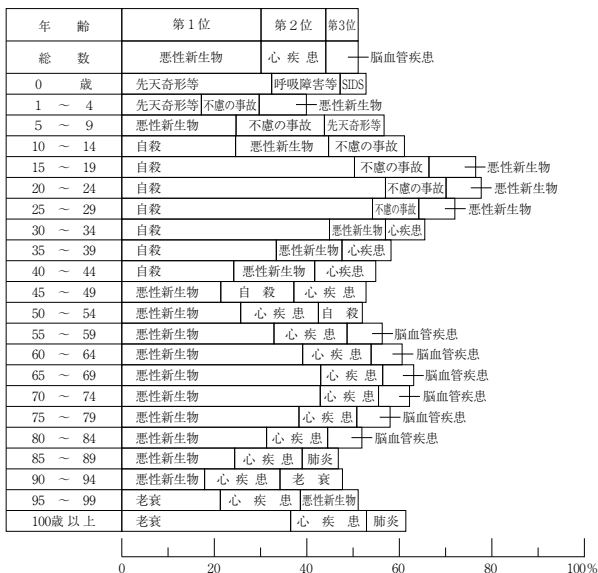
# 1 がん対策の背景

図1 性・年齢別にみた死因順位  
令和3年 全国

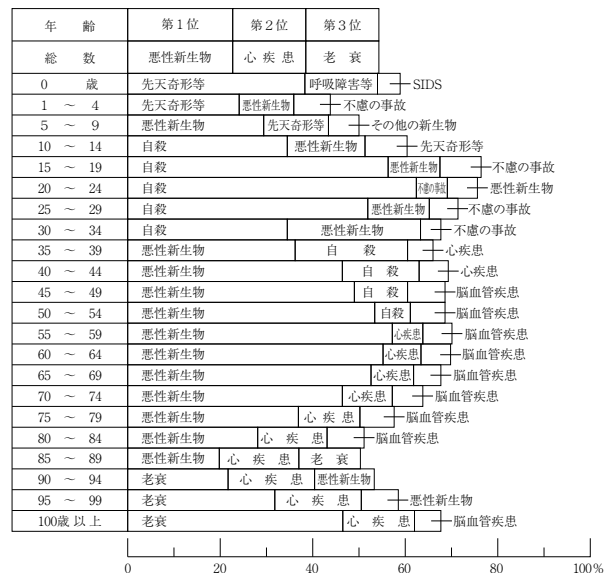
男女計



男



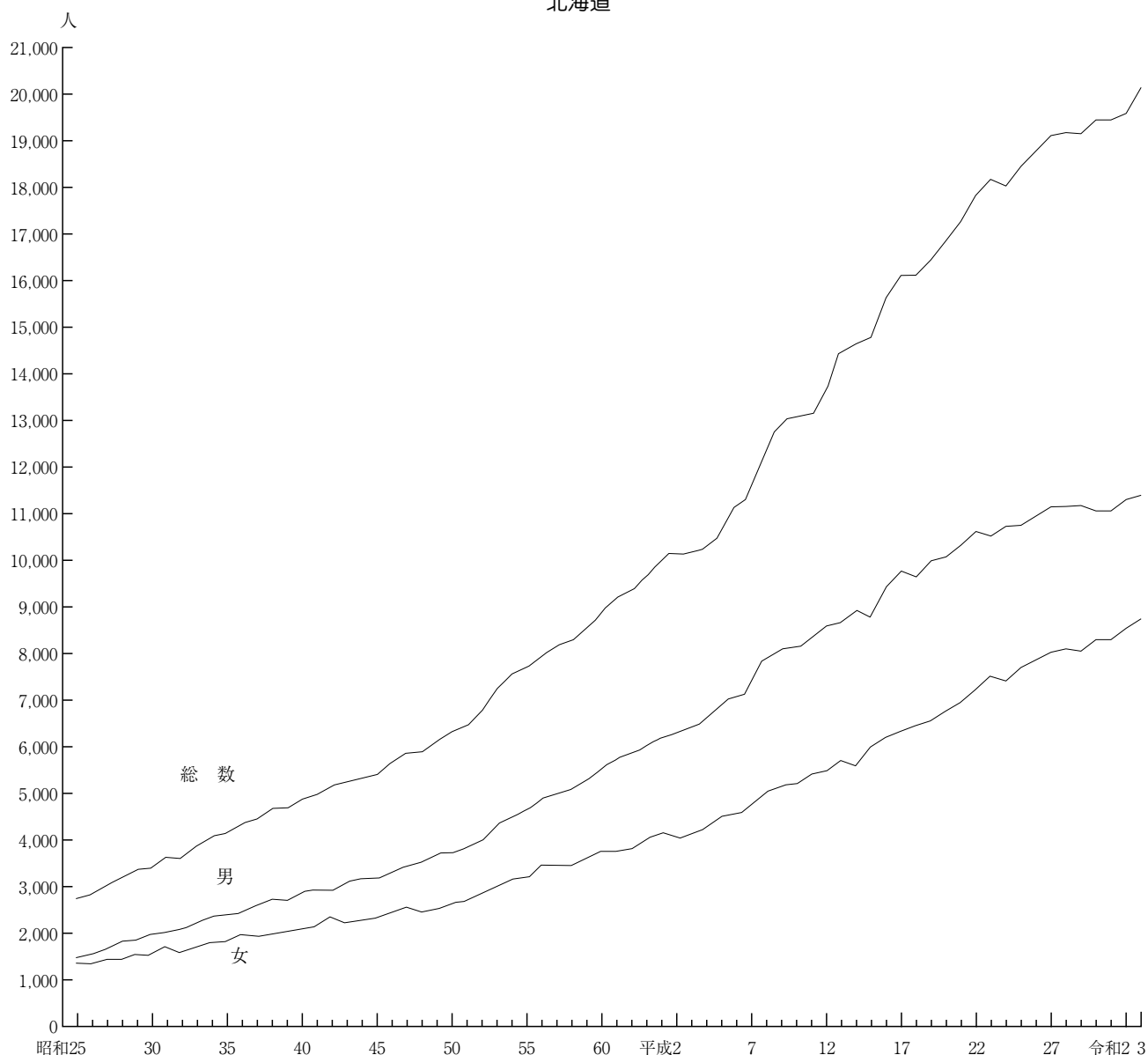
女



資料：令和3年人口動態統計（確定数）上巻 死亡 第5.17表

がんによる死亡は、全ての死因の中で、昭和56年以降（本道においては昭和52年以降）不動の一位であり、その数・割合ともに増え続けている。40代から死因の一位となるが、女性においては子宮頸がんや乳がんなど比較的若年で発症するがんの影響を受け、30代から一位となっている。

図2 がん死亡者数の年次推移  
北海道



北海道におけるがん死亡者数  
令和3年

男 性	11,386
女 性	8,750
総 数	20,136

資料：「令和3年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道においても、全国と同様にがんによる死亡者数が増え続けている。主な原因は、高齢者の増加によるがん罹患患者数の増加があげられる。がん検診の受診率がどの部位も全国平均に届いておらず、がんがある程度進行してから見つかる方がいまだに多いことも一因と考える。

表1 部位別がん死亡者数・死亡率の年次推移

北海道

部 位	死亡者数					死亡率(人口10万対、乳房、子宮は女子人口10万対)				
	昭40	昭60	平17	令3	全国令3	昭40	昭60	平17	令3	全国令3
総 数	4,863	9,096	16,133	20,136	381,505	94.0	159.9	287.8	388.5	304.0
食 道	181	357	597	555	10,958	3.5	6.3	10.7	10.7	8.7
胃	1,982	2,147	2,240	1,912	41,624	38.3	37.8	40.0	36.9	33.2
大 腸	268	928	2,186	2,760	52,418	5.2	16.3	39.0	53.3	41.8
肝 臓	357	832	1,328	1,172	24,102	6.9	14.6	23.7	22.6	19.2
膵 臓	181	624	1,357	2,182	38,579	3.5	11.0	24.2	42.1	30.7
気管・気管支・肺	443	1,455	3,205	4,417	76,212	8.6	25.6	57.2	85.2	60.7
乳 房	98	247	530	810	14,803	3.8	8.5	18.0	29.6	19.3
子 宮	311	231	229	346	6,818	12.0	7.9	7.8	12.6	9.3
白 血 病	187	256	314	418	9,124	3.6	4.5	5.6	8.1	7.3
そ の 他	855	2,019	4,147	5,562	106,762	16.5	35.5	74.0	107.3	85.1

資料：死亡数は「令和3年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」、人口は令和3年総務省統計局データ

図3 がん死亡者の部位別割合  
令和3年 北海道

【男性】			【女性】		
順位	部位	死亡数	順位	部位	死亡数
がん総数		11,386	がん総数		8,750
1位	気管、気管支及び肺	2,952	1位	気管、気管支及び肺	1,465
2位	大腸	1,427	2位	大腸	1,333
3位	胃	1,179	3位	膵臓	1,128
4位	膵臓	1,054	4位	乳房	810
5位	肝及び肝内胆管	779	5位	胃	733
6位	前立腺	722	6位	胆のう及び他の胆道	481
7位	胆のう及び他の胆道	553	7位	肝及び肝内胆管	393
8位	食道	428	8位	子宮	346
9位	悪性リンパ腫	373	9位	悪性リンパ腫	317
10位	膀胱	317	10位	卵巣	226
11位	白血病	254	11位	膀胱	171
12位	口唇、口腔及び咽頭	247	12位	白血病	164
その他		1,101	その他		1,183

資料：「令和3年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

全国の部位別順位は下記の通りである。

順位	1	2	3	4	5
男 性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女 性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

資料：「令和3年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道の特徴としては、

- ・男女ともに肺がんが1位であること
- ・肺・膵臓などの難治性がんの割合が高いことがあげられる。

詳しい原因は不明だが、男女ともに喫煙率が高いことなども影響していると考えられる。

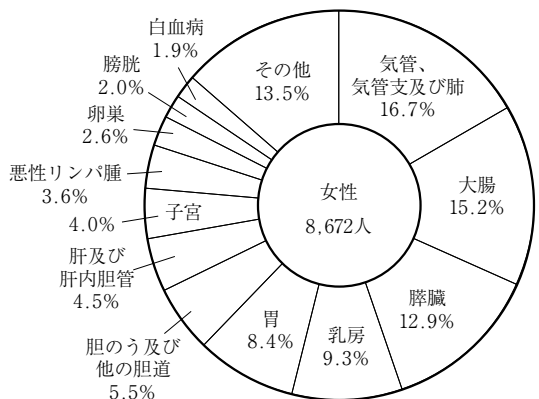
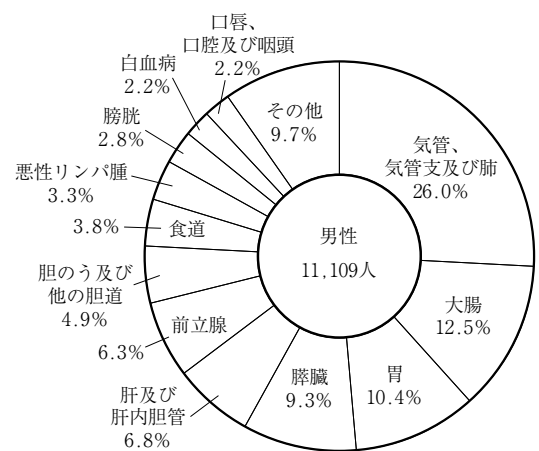
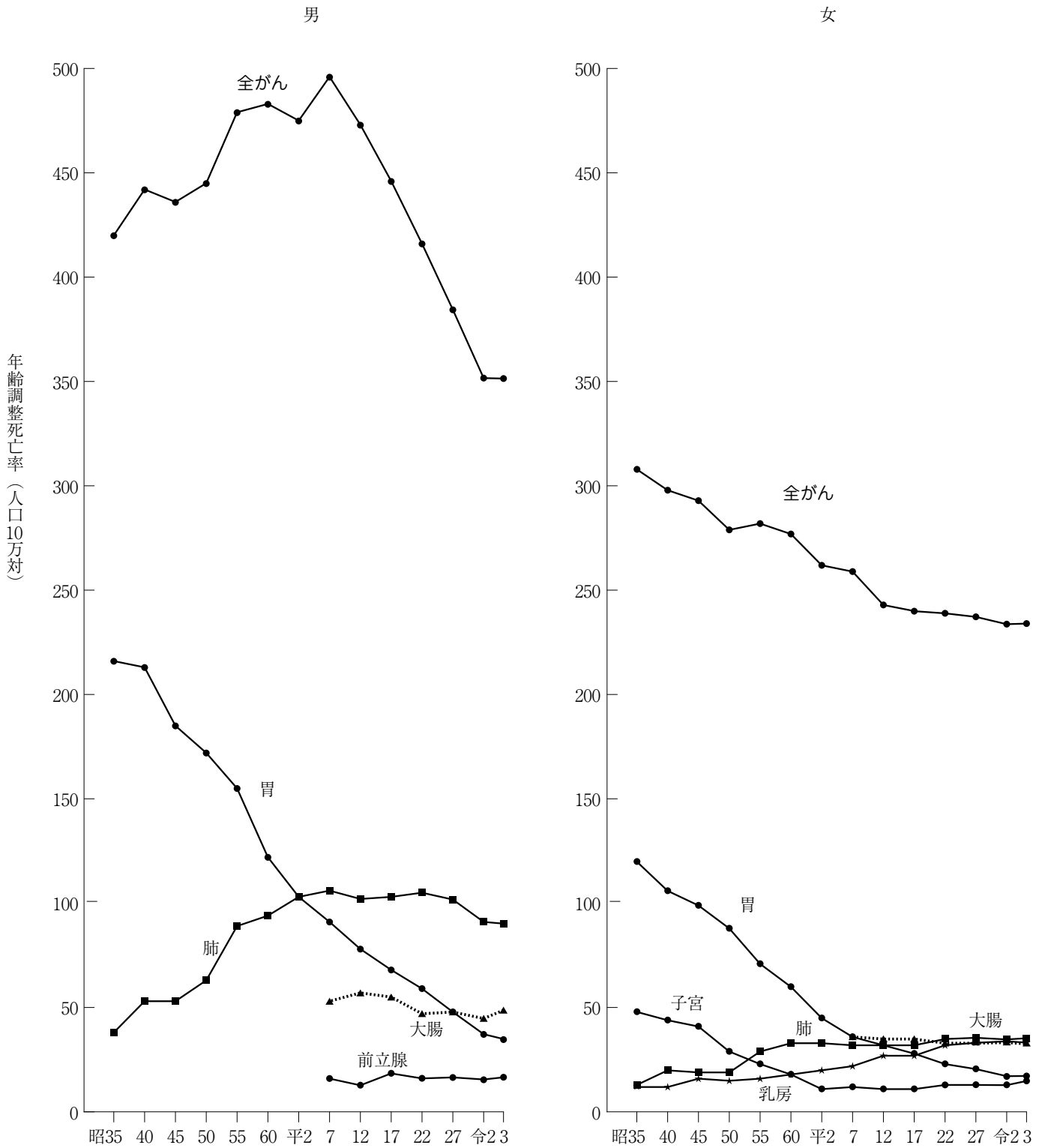


図4 がん年齢調整死亡率の年次推移  
40歳以上合計 北海道

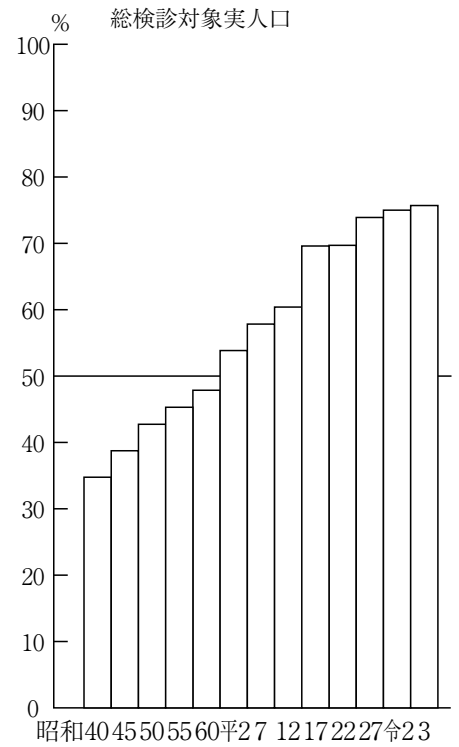
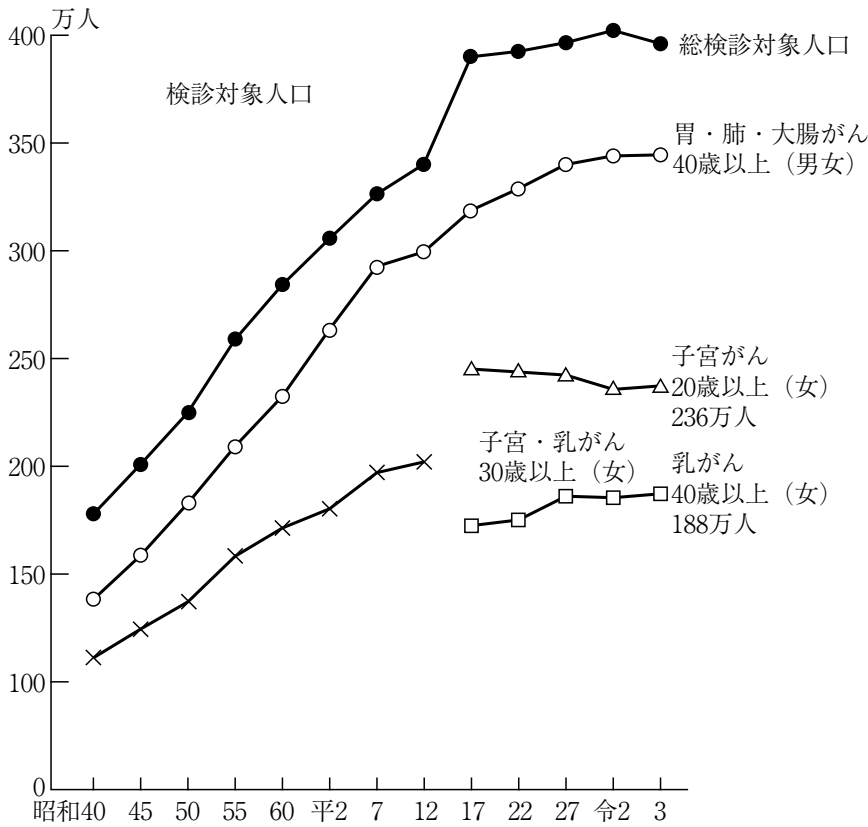


注：死亡率は、人口構成の変動による影響を取り除いて厳密な比較を行うため、昭和60年北海道・性・年齢（5歳階級）別人口を基準人口として、直接法により算出した。（人口10万対）

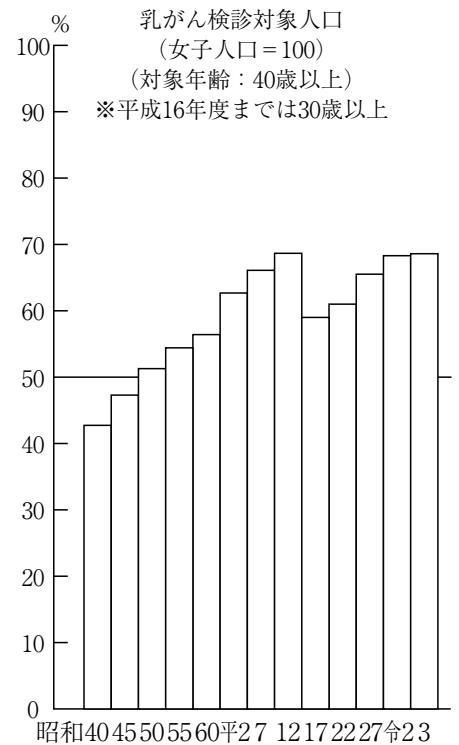
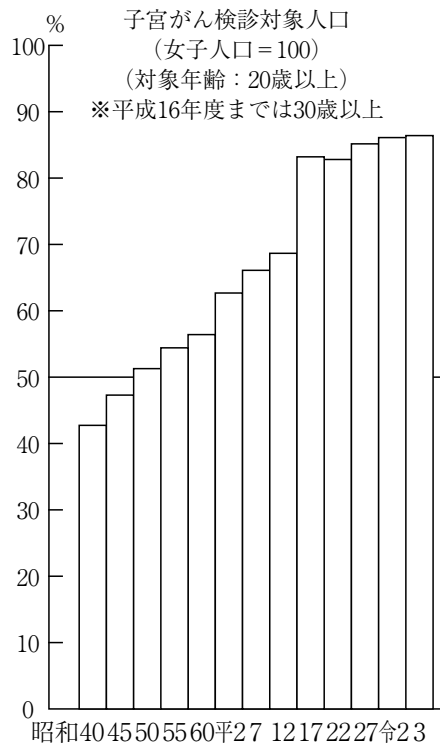
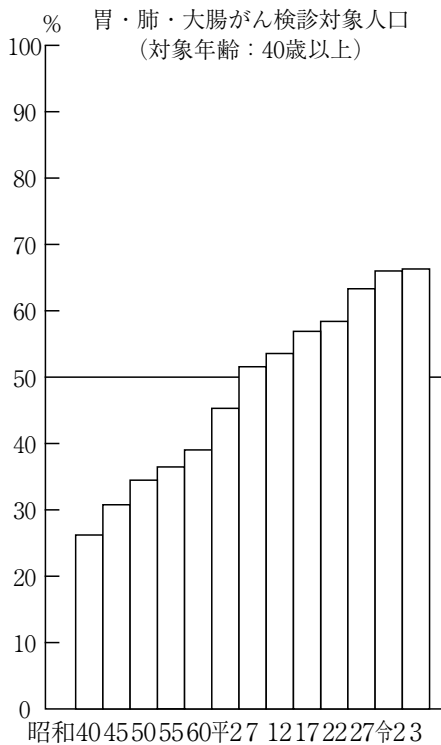
資料：死亡数は「人口動態統計（確定数）保管統計表 都道府県編 死亡・死因 第2表-01（北海道）」、人口は国勢調査



図5 がん検診対象年齢人口の年次推移  
北海道



総人口に占める割合



資料：総務省統計局データ

## 2 市町村が実施するがん検診の受託状況について

資料：令和3年度地域保健・健康増進事業報告

### 胃がん検診（胃部エックス線検査）

令和3年度の対象者（北海道）は3,428,227人<sup>注</sup>で、受診数は92,056人、受診率は2.7%<sup>注</sup>であった。

このうち、当協会では145市町村において、検診車と各検診センターで58,531人に検診を実施した（受託実施率63.6%）。これに事業所分など11,724人を加え、総数70,255人に実施し、80名のがんを発見した（令和5年1月現在）。

令和2年度の追跡調査では、発見がん数87名のうち78名が手術を受けており、そのうち、67.9%にあたる53名が早期がんであった。

### 子宮がん検診

令和3年度の対象者（北海道）は2,359,981人<sup>注</sup>である。受診者数は令和3年度160,687人、令和2年度152,396人で、2年合計で313,083人となっている。ここから2年連続受診者数18,062人を除いた295,021人が直近2年間の受診者数であり、受診率は12.5%<sup>注</sup>であった。

このうち、当協会では令和2年度129市町村、令和3年度135市町村で、検診車と各検診センター82,428人に検診を実施した（受託実施率27.9%）。これに事業所分など19,653人を加え、総数102,081人に実施し、83名のがん（令和4年11月現在）を発見した（うちCIN3が30名）。

### 乳がん検診

令和3年度の対象者（北海道）は1,871,764人<sup>注</sup>である。受診者数は令和3年度104,946人、令和2年度96,194人で、2年合計で201,140人となっている。ここから2年連続受診者数9,592人を除いた191,548人が直近2年間の受診者数であり、受診率は10.2%<sup>注</sup>であった。

このうち、当協会では令和2年度、令和3年度はそれぞれ133市町村において、検診車と各検診センターで95,355人に検診を実施した。（受託実施率49.8%）これに事業所分など21,515人を加え、総数116,870人に実施し、475名のがん（令和5年1月現在）を発見した。

令和2年度の追跡調査では、発見がん数253人のうち65.6%にあたる166件が早期がんであった。

### 肺がん検診

令和3年度の対象者（北海道）は3,428,230人<sup>注</sup>で、受診数は176,212人、受診率は5.1%<sup>注</sup>であった。

このうち、当協会では135市町村において、検診車と各検診センターで81,182人に検診を実施した。（受託実施率46.1%）これに事業所分など5,046人を加え、総数86,228人に実施し、81名のがん（令和5年1月現在）を発見した。

また、胸部CT検査については、25市町村において、検診車と各検診センターで1,950人に検診を実施した。

これに個人受診（市町村の補助なしで全額自己負担で受診）分など1,534人を加え、総数3,484人に

実施し、11名のがん（令和5年1月現在）を発見した。

## 大腸がん検診

令和3年度の対象者（北海道）は3,428,217人<sup>注)</sup>で、受診数は201,231人、受診率は5.9%<sup>注)</sup>であった。このうち、当協会では147市町村において、検診車と各検診センターで89,903人に検診を実施した。（受託実施率44.7%）これに事業所分など16,409人を加え、総数106,312人に実施し、318名のがん（令和5年2月現在）を発見した。

令和2年度の追跡調査では、発見がん数270名のうち、264名が手術を受けており、そのうち72.3%にあたる191名が早期がんであった。

注) 地域保健・健康増進事業報告におけるがん検診の受診率の算定にあたっては、「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「指針」に基づき、40歳から69歳（胃がん検診は平成28年度以降50歳から69歳、子宮頸がん検診は20歳から69歳）を対象として算出している。これは他自治体と比較する場合に使用するものであり、本道のがん検診の受診状況を把握するには不十分であるため、算定対象年齢に上限を設けず計算した。

## 3 北海道対がん協会

### 3-1 概要

令和5年4月1日現在

法人名	公益財団法人北海道対がん協会
代表者名	会長 加藤元嗣
所在地	北海道札幌市東区北26条東14丁目1-15
電話番号	011-748-5511
設立時期	昭和4年9月13日
従業員数	369名（臨時職員を含む）

#### 職種別職員内訳

職種	札幌	旭川	釧路	計
医師	7	3	1	11
診療放射線技師	26	12	5	43
臨床検査技師	21	12	4	37
管理栄養士	7	0	2	9
保健師	27	10	2	39
看護師	38	23	11	72
事務員	81	30	22	133
運転技術員	15	8	2	25
計	222	98	49	369

### 3-2 目的及び事業

公益財団法人北海道対がん協会は、がんの予防、治療及び研究に関し必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の健全な発展を実現し、道民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。

このほか、生活習慣病の予防、治療及び研究に関し必要な事業を行なうことができます。

上記の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する知識の普及啓発
- (2) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する相談及び指導
- (3) がん検診及び生活習慣病検診の実施及び推進
- (4) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する調査・研究
- (5) がん及び生活習慣病の予防、治療及び研究を行なう機関の設置
- (6) がん及び生活習慣病の予防を推進する団体との連携及び支援
- (7) 本協会の目的を達成するため必要な事業

### 3-3 検診センター及び細胞診センターの機能

## がん検診センター

#### 1 がん征圧運動の実施

- (1) 日本対がん協会の北海道支部として、毎年9月のがん征圧月間にごがん征圧運動を実施
- (2) がん患者支援チャリティウォーク「リレー・フォー・ライフ」への参加・協力
- (3) 国際対がん連合（UICC）運動に参加

#### 2 がんに関する知識の普及

- (1) 地域住民を対象とした講演・研修会、及びがん予防学級の企画・実施
- (2) 普及啓発資料の作成・配布、及び教育教材の貸し出し
- (3) 北海道・市町村と連携した普及啓発事業の実施
- (4) 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体等と連携した普及啓発事業の実施
- (5) がん征圧運動推進のための賛助会員の募集と賛助会員への情報提供

#### 3 検診車による巡回検診の企画実施

検診車派遣の計画・実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、その他の検査）

#### 4 検診センターにおける施設検診の企画実施

- (1) 施設検診の計画実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、人間ドック、その他の検査）

- (2) 精密検査の実施

#### 5 検診の事後管理（読影・判定・結果通知）

- (1) 胃がん検診画像の読影（専門読影委員18名により実施）
- (2) 肺がん検診画像の読影（専門読影委員29名により実施）
- (3) 乳がん検診画像（SMG）の読影（専門読影委員26名により実施）
- (4) 検診結果の通知と要精密検査者への受診勧奨
- (5) 一次検診及び精密検査結果の集計・分析
- (6) 発見がん患者の管理

#### 6 精度管理に向けた専門職の研鑽（細胞診センター分は次項）

- (1) 読影医師、精検医師の技術研修
- (2) 診療放射線技師の技術研修
- (3) 保健師・看護師のがんに関する専門的技術研修

## 細胞診センター

### 1 子宮がん細胞診の実施

- (1) 巡回検診における子宮がん検診細胞診
- (2) 検診センターにおける子宮がん検診細胞診
- (3) 日本母性保護医協会、その他受託子宮がん検診の細胞診
- (4) 細胞診標本の保管、管理

### 2 組織診の実施

- (1) 胃がん組織診
- (2) 子宮がん組織診
- (3) 乳がん組織診
- (4) 大腸がん組織診
- (5) 受託組織診

### 3 喀痰細胞診の実施

- (1) 巡回検診における喀痰細胞診
- (2) 検診センターにおける喀痰細胞診
- (3) 受託喀痰細胞診

### 4 その他諸検査の実施

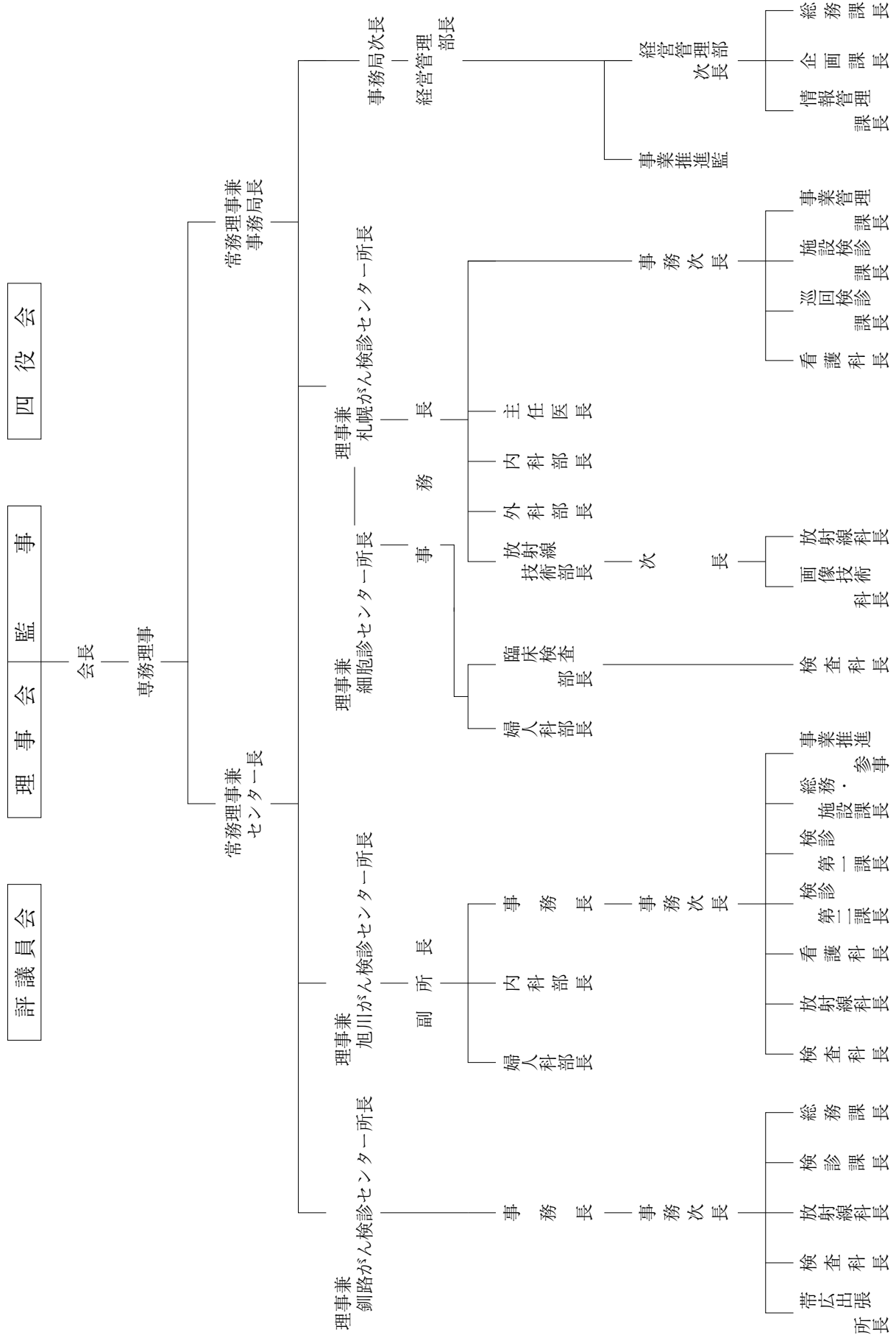
- (1) その他の受託細胞診
- (2) 超音波検査
- (3) 免疫学的便潜血反応検査
- (4) 尿検査
- (5) 心電図検査
- (6) 眼底検査
- (7) 聴力検査
- (8) 視力検査
- (9) その他の諸検査

### 5 細胞検査士の養成研修の実施

### 6 がん集団検診従事技術者の研修の実施

3-4 公益財団法人 北海道対がん協会 機構図

令和5年4月1日現在





### 3-5 役員等名簿

令和5年4月1日現在

名誉会長	菊 地 浩 吉	北海道対がん協会前会長・札幌医科大学名誉教授
会 長 (代表理事)	加 藤 元 嗣	北海道対がん協会会長
副 会 長	佐 古 和 廣	北海道医師会副会長
〃	佐 藤 昇 志	札幌医科大学名誉教授
〃	平 田 哲	旭川医科大学名誉教授
〃	山 本 邦 彦	北海道国民健康保険団体連合会理事長
専務理事 (業務執行理事)	白 川 賢 一	北海道対がん協会専務理事
常務理事	松 浦 邦 彦	北海道対がん協会センター長・釧路がん検診センター所長
〃	佐 藤 裕 人	北海道対がん協会事務局長
理 事 (名誉会長)	長 瀬 清	前北海道対がん協会会長・北海道医師会名誉会長
理 事	秋 田 弘 俊	北海道大学病院がん免疫療法研究部門特任教授
〃	磯 部 宏	K K R 札幌医療センター病院長
〃	加 藤 秀 則	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター院長
〃	川 村 英 喜	北海道労働保健管理協会会長
〃	坂 本 直 哉	北海道大学大学院医学研究院消化器内科学分野教授
〃	平 田 公 一	J R 札幌病院顧問・札幌医科大学名誉教授
〃	渡 利 英 道	北海道大学大学院医学研究院産婦人科学教室教授
〃	江 原 亮 子	北海道対がん協会札幌がん検診センター所長
〃	岡 元 一 平	北海道対がん協会細胞診センター所長
〃	菅 野 普 子	北海道対がん協会旭川がん検診センター所長
監 事	秋 山 孝 二	公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団理事長
〃	西 田 孝 雄	西田孝雄税理士事務所税理士

評 議 員	大 場 久 夫	全国健康保険協会 北海道支部支部長
〃	岸 不 盡 彌	東日本学園 北海道医療大学理事
〃	齋 藤 ヨ シ 子	北海道健康をまもる地域団体連合会会長
〃	有 澤 賢 二	北海道薬剤師会会長
〃	柴 田 達 夫	北海道町村会常務理事
〃	三 宅 浩 次	札幌医科大学名誉教授
〃	森 満	北海道千歳リハビリテーション大学健康科学部特任教授
参 与	佐 藤 行 広	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策等担当課長
〃	秋 野 憲 一	札幌市保健福祉局保健所成人保健・歯科保健担当部長
〃	鈴 木 直 己	旭川市保健所長
〃	高 玉 雄 司	釧路市こども保健部長

### 3-6 公益財団法人北海道対がん協会の沿革概要

昭和	4	年	癌の原因、早期診断及び治療の研究を行うと同時に最善の治療を実施し、且つ公衆に癌の知識を普及するため、昭和4年9月13日財団法人北海道対癌協会を創立する。事務所は北海道帝国大学比較病理学教室に置く。
昭和	21	年	がん以外の循環器系疾患の予防事業を加え名称を改め財団法人北海道保生協会とする。
昭和	34	年	日本対ガン協会の設立（昭和33年）との関連およびがん死亡数の急激な増加に対処し「がん」対策の飛躍的推進を図るため、設立当初の本旨にもどり財団法人北海道対がん協会に名称を復元するとともに事務所を北海道衛生部に移す。
昭和	37	年	日本対ガン協会北海道支部を兼ねる。
昭和	38	年	日本対ガン協会より胃検診車の配置を受け胃集団検診を開始する。同時に専任職員を置き事務所を独立する。
昭和	41	年	子宮がん検診車による婦人科検診を開始する。
昭和	44	年	北海道全域におよぶ対がん活動の拠点として検診センターを建設する。同時に施設及び人員を充実し検診事業を拡大強化する。
昭和	46	年	日本対ガン協会と本協会の主催でがん征圧全国大会を札幌市民会館で開催する。
昭和	48	年	集団検診数の増加にともない検診センターを増改築し機能の強化をはかる。 乳房検診用X線装置を整備し乳房検診事業を開始する。
昭和	51	年	肺がん検診用X線撮影装置を整備し主としてハイリスクグループを対象に肺がん検診を開始する。
昭和	52	年	消化管検診用X線撮影装置を新設し腸管検診を開始する。
昭和	53	年	「広域積雪寒冷の悪条件下におけるがん対策に創意工夫をこらし、みるべき成果を挙げた」として保健文化賞及び厚生大臣表彰を受賞する。 乳がん検診車「すずらん号」を整備し活動を開始する。

昭 和	5 4	年	「がんの予防及び治療の普及啓発に努力を重ね、本道の発展に偉大な業績を挙げた」として北海道開発功労賞を受賞する。 本会創立50周年記念式典及び記念行事を実施する。
昭 和	5 6	年	道北・道東北の拠点となる旭川がん検診センターが業務を開始する。 旭川市において東日本ガン対策連絡協議会を開催する。
昭 和	5 7	年	検診センター内に細胞診センターを併設する。
昭 和	5 8	年	札幌市と対がん協会とのがん対策連絡会が発足する。
昭 和	5 9	年	胃がん検診数の増加にともないデータ処理の迅速正確性をはかるためコンピュータを導入する。
昭 和	6 0	年	道東南の拠点となる釧路がん検診センターが業務を開始する。
昭 和	6 1	年	わが国で、最初の対癌協会として昭和4年創立以来、半世紀にわたる歴史を刻んだ「北海道対がん協会50年史」を発行する。 検診車による肺がん集団検診を開始する。
昭 和	6 2	年	大腸がん検診を開始する。
平 成	元	年	本会創立60周年記念式典及び記念行事を実施する。
平 成	2	年	釧路がん検診センター5周年記念行事を実施する。 がん征圧全国大会が北海道厚生年金会館で開催され、全国から3,000余名が参加する。
平 成	3	年	旭川がん検診センター10周年記念行事を実施する。 北海道の委託を受けてがん登録評価事業を開始する。
平 成	4	年	旭川がん検診センター待合室、婦人科診療室などの増改築をする。 がん予防学級開講20周年を記念し講演会を開催する。
平 成	5	年	昭和38年11月に検診車による胃がん検診を開始して30年「しらかば記念号」を発行する。
平 成	6	年	「がん電話相談」を開設して10年。相談件数は延べ4,964人に達した。
平 成	7	年	釧路がん検診センター10周年記念行事を実施する。

平成	8	年	「集団検診などによるがん早期発見・治療への成果と予防知識の普及」活動に対し、道新文化賞第50回記念賞を受賞する。
平成	10	年	札幌がん検診センターを東区に移転新築し、業務を開始する。
平成	11	年	本会創立70周年記念式典及び記念行事を実施する。
平成	13	年	旭川がん検診センター20周年記念行事を実施する。
平成	19	年	道内初のヘリカルCT肺がん検診車を導入する。 個人情報保護法の施行に伴い施設プライバシーマークを取得する。
平成	21	年	本会創立80周年を迎え、第42回がん予防道民大会を80周年記念大会として音更町で開催。 沿革と事業をまとめた創立80周年記念誌を発刊した。
平成	23	年	旭川がん検診センター30周年記念行事及びがん予防学級開校30周年記念講演会を実施する。 道内初の最新式フラットパネルデジタルマンモグラフィ車を導入する。
平成	24	年	公益法人制度改革に基づく公益財団法人として北海道知事から認定を受け、名称を「公益財団法人北海道対がん協会」へと変更する。
平成	25	年	9月13日、さっぽろ芸術文化の館（ニトリ文化ホール）にて「2013年度がん征圧全国大会」を開催し、大会史上最多の約2,000名の参加を得て、盛会裡に終了した。
平成	27	年	釧路がん検診センター30周年記念行事を実施する。 創立30周年記念誌「30年のあゆみ」を発刊した。 2月9日、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした「北海道がん対策基金」を設立。 当協会が事務局を担う。
平成	29	年	札幌がん検診センターで駐車場用敷地を購入し、50台から80台に拡張する。
令和	元	年	本会創立90周年を迎え、創立90周年記念フォーラムを札幌市で開催した。

## 4 個人情報保護方針

これからの情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。北海道対がん協会は、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下の通り定め、役員、職員及び関係スタッフに周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

### 1. 個人情報の取得・利用・提供

検（健）診の内容と規模を考慮して、個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の取得、利用及び提供に関する内部規程を定め、これを遵守します。

### 2. 個人情報の安全対策と教育

当会は、個人情報の重要性について、職員に対する教育啓発活動を実施するほか、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

### 3. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する日本の法令及びその他の規範を遵守します。

### 4. 継続的改善

当会は、以上の活動を実施するに当たり、個人情報保護を適切に維持するための規程を策定・運用し、運用状況について監査し、これを継続的に見直し改善してゆきます。

### 5. 個人情報に関するお問い合わせ

個人情報に関するお問い合わせは、下記の相談窓口にてお受けいたします。

公益財団法人 北海道対がん協会

個人情報保護相談窓口（総務課長）

電話011-748-5511（平日午前9時～午後5時）

E-mail office@hokkaido-taigan.jp

平成29年4月1日 制定

令和4年4月1日 改訂

公益財団法人 北海道対がん協会  
会 長 加 藤 元 嗣

## 5 検診センターにおける各種検診日

### 札幌がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺CT検査</li> <li>・前立腺がん検診</li> <li>・各がん検診の精密検査*</li> <li>・特定健康診査</li> <li>・定期健康診断</li> <li>・人間ドック</li> <li>・生活習慣病予防健診</li> <li>・骨密度測定</li> <li>・内臓脂肪CT検査</li> <li>・腹部超音波検査</li> </ul>
受付時間	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	
	月～金 13:00～15:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～15:00	月～金 13:00～15:00	

ピロリ菌外来：祝日を除く毎週水曜日 14:00～15:00 (担当医：加藤元嗣会長)

便秘外来：祝日を除く毎週金曜日 13:00～15:00 (担当医：津田桃子内科部長)

札幌がん検診センター 〒065-0026 札幌市東区北26条東14丁目1番15号  
電話(予約)(011)748-5522

### 旭川がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺CT検査</li> <li>・前立腺がん検診</li> <li>・各がん検診の精密検査*</li> <li>・特定健康診査</li> <li>・定期健康診断</li> <li>・人間ドック</li> <li>・生活習慣病予防健診</li> <li>・骨密度測定</li> <li>・腹部超音波検査</li> <li>・動脈硬化検査</li> </ul>
受付時間	8:15～11:00	月～土 8:15～11:00	月～土 8:15～11:00	月～土 8:15～11:00	月～土 8:15～11:00	
		月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～14:00	

旭川がん検診センター 〒071-8122 旭川市末広東2条6丁目6番10号  
電話(代)(0166)53-7111  
予約専用フリーダイヤル 0120-972-489

### 釧路がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	月・水・木	月～木	毎 日	毎 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前立腺がん検診</li> <li>・各がん検診の精密検査*</li> <li>・特定健康診査</li> <li>・定期健康診断</li> <li>・人間ドック</li> <li>・生活習慣病予防健診</li> <li>・骨密度測定</li> </ul>
受付時間	8:30～11:00	月 8:30～10:00	8:30～13:00	月～土 8:30～11:00	月～土 8:30～11:00	
		水・木 8:30～13:00		月～金 13:00～15:00	月～金 13:00～15:00	

釧路がん検診センター 〒085-0058 釧路市愛国東2丁目3番1号  
電話(代)(0154)37-3370

※受診の際は、予約が必要です。

※各がん検診の精密検査はセンターによって実施している科目が異なります。詳細はお問い合わせください。

## 6 北海道がん対策基金のご案内



北海道がん対策

### 助かる命 助ける絆 北海道がん対策基金

「がん」は、本道においても死因の第1位を占め、道民の生命や健康への脅威であり、がんの克服は多くの道民の願いでもあります。北海道では、「がんになっても安心して暮らせる社会づくり」を目標に、全ての道民が一体となってがん患者やその家族の方々を社会全体で支える仕組みとして、平成27年2月、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした基金を設立いたしました。

本基金では、がんの正しい知識や予防に係る普及啓発活動に取り組んでいる団体等に対し、毎年度、助成を行っております。今後とも、皆様とともに「がんに負けない社会」の実現を目指して様々な取組みを進めてまいりますので、継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

#### 基金のしくみ



#### 北海道がん対策基金に寄せられた善意は、こんな事業に役立てられます

**◎がん患者・家族への支援**  
患者やご家族の方々の身体的、経済的な負担を軽減するための療養生活や 就労の相談のほか、ピアサポーターの派遣等に活用  
※ピアサポーターとは...がん患者や家族を 仲間(ピア)として支援するがん患者



**◎小児がん患者・がん教育への支援**  
小児がんの子供への学習支援や家族との交流、幼少期からのがんの知識を深めるためのがん専門医を学校に派遣するがん教育等に活用



**◎情報提供・普及啓発**  
がんの知識や理解を深めるための様々なイベントの開催や啓発素材の作成、地域の療養施設の情報提供等に活用



**◎がん検診の受診促進、予防対策**  
がんになるリスクを減らすため、日頃の生活習慣の改善やがん検診受診の必要性を理解していただくためのイベントの開催や広報活動等に活用



## 令和3年度に助成した団体及び事業

団体名	事業名
ピンクリボン in SAPPORO	ピンクリボン in SAPPORO 2021
北海道がん患者連絡会	がん患者によるがん教育講師養成及び派遣事業
難治性がん啓発キャンペーン実行委員会	難治性がん啓発キャンペーン 2021 WEB医療セミナー
NPO法人パンキャンジヤパン北海道アフィリエイト	隣がん教室
HHMホット・ハンド・むろらん	タオル帽子等製作及び寄贈、レンタルウィッグ活動
弟子屈町役場	弟子屈高校がん教育

## 募金の方法

※この募金は法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。

- 口座振込による募金    ○協賛商品の購入による募金    ○募金箱への募金

## 振込口座

次の銀行口座で受け付けております。

金融機関・支店名	口座番号	口座名義	備考
北海道銀行 札幌駅前支店	普通1877125	北海道がん対策基金	窓口及びATMからの振込は、振込手数料は無料
北洋銀行 札幌南支店	普通4591650	北海道がん対策基金	窓口からの振込は、振込手数料は無料
ゆうちょ銀行	02740-9-102016	北海道がん対策基金	

## 令和3年度末(令和4年3月末)時点の募金状況

(単位：円)

区分	金額
個人	6,794,378
企業・団体等	15,121,119
自販機	13,210,566
募金箱	2,047,132
計	37,173,195

※本表は平成27年2月から令和4年3月までの累計額です。

# 基金支援自販機設置状況

・本自販機の売上の一部が北海道がん対策基金に寄付されております。

	設置場所	住 所
1ho	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市
2	公益財団法人 北海道対がん協会	札幌市
3	公益財団法人 北海道対がん協会 1F	札幌市
4	旭川がん検診センター	旭川市
5	釧路がん検診センター	釧路市
6	一般社団法人 北海道医師会	札幌市
7	一般社団法人 北海道歯科医師会	札幌市
8	小樽医師会	小樽市
9	勤医協西区ひだまりクリニック	札幌市
10	徳州会 札幌病院	札幌市
11	日鋼記念病院	室蘭市
12	社会医療法人 北榆会 札幌北榆病院	札幌市
13	手稲溪仁会病院	札幌市
14	ワタキューセイモア(株)北海道支店(岩内協会病院)	小樽市
15	医療法人五月会 小笠原クリニック札幌病院	札幌市
16	室蘭リゾート開発株式会社(市立室蘭総合病院)	室蘭市
17	社会医療法人 製鉄記念室蘭病院	室蘭市
18	五稜郭病院5階/リハビリテーション科前	函館市
19	ノルデン薬局北栄店	札幌市
20	日本データサービス株式会社	札幌市
21	モロオANNEXビル1F	札幌市
22	株式会社モロオ 函館	函館市
23	株式会社モロオ 札幌業務推進センター	札幌市
24	株式会社モロオ ANNEX 5F	札幌市
25	株式会社モロオ 小樽	小樽市
26	株式会社モロオ コールセンター	札幌市
27	株式会社モロオ 札幌東・豊平	札幌市
28	株式会社モロオ 苫小牧	苫小牧市
29	株式会社モロオ 室蘭	室蘭市
30	株式会社モロオ 岩見沢	岩見沢市
31	株式会社モロオ 大谷地物流	札幌市
32	株式会社モロオ 発寒物流2F	札幌市
33	株式会社モロオ 発寒物流3F	札幌市
34	株式会社モロオ 旭川	旭川市
35	株式会社モロオ 釧路	釧路市
36	株式会社モロオ 北見	北見市
37	株式会社モロオ 帯広	帯広市
38	山崎製パン株式会社 札幌工場	恵庭市
39	竹山札幌業務センター	札幌市
40	株式会社ほくやく コールセンター	札幌市
41	太平洋セメント株式会社 上磯工場	北斗市
42	衛タック・コーポレーション(美園7・4メディカル)	札幌市
43	株式会社ムトウ	札幌市
44	株式会社パルイス室蘭店	室蘭市
45	㈱マルベリー さわやかセンター帯広	帯広市
46	株式会社ほくやく新川物流センター	札幌市
47	北海道キリンビレッジ(株)2F	札幌市
48	トランスコスモス株式会社1F	札幌市
49	トランスコスモス株式会社6F	札幌市
50	トランスコスモス株式会社4F	札幌市
51	トランスコスモス札幌駅前	札幌市
52	株式会社NTT東日本サービス 函館116センター	函館市
53	札幌工業株式会社	札幌市
54	北洋銀行 本店営業部	札幌市
55	北海道庁本庁舎 13F	札幌市
56	深川保健所	深川市
57	名寄保健所	名寄市
58	富良野保健所	富良野市
59	北見保健所	北見市
60	静内保健所	新ひだか町
61	根室保健所	根室市
62	中標津保健所	中標津町
63	江別保健所	江別市
64	苫小牧保健所	千歳市
65	八雲保健所	八雲町
66	滝川保健所	滝川市
67	紋別保健所	紋別市
68	北海道立衛生研究所	札幌市
69	室蘭保健センター	室蘭市
70	室蘭リゾート開発株式会社(室蘭市役所)	室蘭市
71	苫小牧身体障がい者福祉協会(苫小牧市役所)	苫小牧市
72	エムサービス株式会社(北海道医療大学歯学部棟1F)	当別町
73	NPO法人蒼空 わく・WORKらんな	室蘭市

北海道キリンビレッジ(株)

	設置場所	住 所
1	社会医療法人北榆会 札幌北榆病院 1F	札幌市白石区
2	社会医療法人北榆会 札幌北榆病院 EV前	札幌市白石区
3	社会医療法人北榆会 札幌北榆病院 東棟3階NO1	札幌市白石区
4	社会医療法人北榆会 札幌北榆病院 東棟3階NO2	札幌市白石区
5	北海道がんセンター 2F外来待合	札幌市白石区
6	洞爺湖温泉病院 新売店 No.1	洞爺湖町
7	洞爺湖温泉病院 No.2	洞爺湖町
8	KKR札幌医療センター(3F事務所)	札幌市
9	KKR札幌医療センター(2FVDコーナー)	札幌市
10	KKR札幌医療センター(新管理センターB1F)	札幌市
11	KKR札幌医療センター(新管理センター2F)	札幌市
12	KKR札幌医療センター(B1検査所)	札幌市
13	KKR札幌医療センター(大塚機)	札幌市
14	KKR札幌医療センター(アリック)	札幌市
15	北海道立子ども総合医療・療育センター(こどもつくる)	札幌市
16	株式会社ほくやく 札幌白石業務センター	札幌市白石区
17	株式会社ほくやく 本社	札幌市中央区
18	株式会社ほくやく 本社	札幌市
19	株式会社ほくやく カスタマセンター	札幌市
20	株式会社ほくやく 札幌西業務センター	札幌市
21	株式会社竹山業務センター	札幌市中央区
22	株式会社竹山	札幌市
23	岩田地崎建設(仮)特別養護老人ホームラースル苗穂/バーサド	札幌市
24	IB-丸彦 渡辺建設 丸彦 渡辺建設	札幌市
25	第一生命保険㈱ 札幌総合支社	札幌市
1	北海道歯科医師会4階	札幌市
2	大川原脳神経外科病院	室蘭市
3	札幌医科大学付属病院外来棟1階	札幌市
4	帯広協会病院	帯広市
5	社会医療法人札幌清田病院1階	札幌市
6	医療法人影和会 北海道消化器科病院	札幌市
7	室蘭太平洋病院 1階 CVM	室蘭市
8	札幌厚生病院1F ATM前	札幌市
9	定山溪病院売店前	札幌市
10	東陽上村アドバンス株式会社 長沼工場	長沼町
11	東陽上村アドバンス株式会社 本社	札幌市
12	東陽上村アドバンス株式会社 江別工場FV	江別市
13	東陽上村アドバンス株式会社 従業員休憩所	札幌市
14	株式会社ほくやく竹山ホールディングス本社	札幌市
15	株式会社ほくやく札幌西センター	札幌市
16	ほくやくビル4F	札幌市
17	ほくやく・竹山 札幌東支店	札幌市
18	株式会社竹山 札幌業務センター	札幌市
19	株式会社竹山 苫小牧支店	苫小牧市
20	株式会社竹山 ハビア物流センター	札幌市
21	赤帽北海道軽自動車運送共同組合FV	札幌市
22	株式会社保健科学研究所	札幌市
23	株式会社HBA 5階FV	札幌市
24	愛全病院B1ラプコック KO	札幌市
25	愛全病院地下 KO	札幌市
26	愛全病院渡り廊下 FV	札幌市
27	愛全病院1F カップ	札幌市
28	愛全病院3F FV	札幌市
29	愛全病院1階 FV	札幌市
30	愛全病院2F KO	札幌市
31	愛全病院4F KO	札幌市
32	アピタール	札幌市
33	静山荘 FV	札幌市
34	アートヒルズ KO	札幌市
35	ローザガーデン FV	札幌市
36	アン・ペルアミー KO	札幌市
37	サン・クレイス FV	札幌市
38	高齢者総合福祉施設アピタール アネックス	札幌市
39	リラコート愛全 KO	札幌市
40	介護老人保健施設ガーデンハウスくりやま	岩見沢
41	静山荘2F FV	札幌市
42	アフラック札幌総合支社 V	札幌市
43	株式会社セイシヨウ 本社	札幌市
1	公益財団法人 北海道対がん協会 4F	札幌市東区
2	公益財団法人 北海道対がん協会 1F	札幌市東区
1	㈱ほくやく 本社ビル	札幌市
2	㈱ほくやく 桑園ビル3階	札幌市
3	㈱ほくやく 桑園ビル4階	札幌市
4	㈱竹山 札幌業務センター	札幌市
1	日本生命保険相互会社 日本生命札幌ビル 9F 休憩室	札幌市
2	市立函館病院 本棟1階食堂前廊下VD	函館市
3	㈱竹山 商品管理センター	札幌市
4	大和ハウス工業㈱ ほくやく札幌支店新築	札幌市

サントリービレッジソリューション(株)

北海道「カー」ポトリン(株)

ネオス(株)

㈱大沼

㈱伊藤園

※本表は令和3年度末(令和4年3月末)時点のデータです。

※自販機の設置を検討・希望される団体様等におかれましては、次のURLに設置方法や連絡先を記載しております。

<https://hokkaido-taigan.jp/donate/support/vending/>



## 常設募金箱設置状況

・常設で設置している募金箱は次のとおりです。その他各種イベントで臨時の募金箱を設置する場合があります。

NO	区 分	病 院 名	所 在 地
1	拠点病院	北海道がんセンター	札幌市白石区
2	〃	手稲溪仁会病院	札幌市手稲区
3	〃	JA北海道厚生連札幌厚生病院	札幌市中央区
4	〃	恵佑会札幌病院	札幌市白石区
5	〃	砂川市立病院	砂川市
6	〃	日鋼記念病院	室蘭市
7	〃	王子総合病院	苫小牧市
8	〃	市立旭川病院	旭川市
9	〃	北見赤十字病院	北見市
10	〃	函館五稜郭病院	函館市
11	指定病院	函館中央病院	函館市
12	〃	札幌北楡病院	札幌市白石区
13	〃	札幌共立五輪橋病院	札幌市南区
14	〃	北海道医療センター	札幌市西区
15	〃	深川市立病院	深川市
16	〃	市立室蘭総合病院	室蘭市
17	〃	製鉄記念室蘭病院	室蘭市
18	〃	伊達赤十字病院	伊達市
19	〃	苫小牧市立病院	苫小牧市
20	〃	旭川赤十字病院	旭川市
21	一般病院	札幌秀友会病院	札幌市手稲区
22	〃	道東勤医協釧路協立病院	釧路市
23	調剤薬局	ふよう調剤薬局	苫小牧市
24	企業	(株)セイショウ	札幌市豊平区
25	行政	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課	札幌市中央区
26	〃	北海道江差保健所	江差町
27	〃	厚岸町	厚岸町
28	〃	福島町	福島町
29	法人	(公財)北海道対がん協会(事務局)	札幌市東区
30	〃	(公財)北海道対がん協会札幌がん検診センター	札幌市東区
31	〃	〃 旭川がん検診センター	旭川市
32	〃	〃 釧路がん検診センター	釧路市

※常設の募金箱は、北海道がん対策基金募金箱設置要領に基づき設置されています。

※本表は令和3年度末(令和4年3月末)時点のデータです。

## お問い合わせ

○(管理・運営)公益財団法人北海道対がん協会経営管理部企画課  
<https://hokkaido-taigan.jp/>

Tel(011)-748-5518

○北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策係  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/gantaisakujyouhou.html>

Tel(011)-204-5117

## 7 がん征圧賛助会へのご入会案内

北海道対がん協会は、昭和4年に全国で初めて創立された対がん組織です。その使命には、がんに関する正しい知識の普及と早期発見のための検診事業の推進、がんの研究等があります。

現在、当協会が行っている検診から発見されるがんは、8割以上が治し得るがんです。そのことから、がん検診事業は多くの人命を救う事業と言えます。

北海道においても、がんは年々増え続け、今や2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなる時代となりました。

当協会では、がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。

ご入会いただいた会員の皆さまから寄せられる会費は、がんに関する正しい知識を知ってもらうための教材を作成することに使用するほか、がん検診や機器の整備、がん研究の援助などに使わせていただきます。

がん征圧事業の拡大強化のため、皆さまのあたたかいご支援をお願い申し上げます。

1. 賛助会員（継続して会費を納めて頂き、支援して下さる方）

個人会員 年1口 1,000円

（3口以上で税控除対象）

法人会員 年1口 10,000円

（口数に制限はありません）

2. 特別会員（寄付金を寄せられた方）

金額の多少にかかわらずお受けしております。

多くは香典返しに替えてのご寄付ですが、快気祝、還暦、古希など個人のお祝いや、チャリティイベントにちなんだご寄付などが寄せられております。

※賛助会費は、法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。寄付金の税控除の手続きには領収書のみで対応できます。必要な場合は、各がん検診センターへお問い合わせください。

3. ご入会後は

がん征圧賛助会員として登録し、パンフレットや当協会の機関誌「しらかば」等、がんに関する印刷物を作成ごとにお送りいたします。

4. お申し込み・お問い合わせ

詳細は最寄りのがん検診センターへご連絡ください。

公益財団法人北海道対がん協会 札幌がん検診センター 011-748-5511

〃 旭川がん検診センター 0166-53-7111

〃 釧路がん検診センター 0154-37-3370

## 日本人のためのがん予防法

～現状において日本人に推奨できる科学的根拠に基づくがん予防法～

喫煙	煙	タバコを吸わない。他人のタバコの煙を避ける。
飲酒	酒	飲むなら、節度ある飲酒をする。
食事	事	食事は偏らずバランスよくとる。 *塩蔵食品、食塩の摂取は最小限にする。 *野菜や果物不足にならない。 *飲食物を熱い状態でとらない。
身体活動		日常生活を活動的に。
体形		適正な範囲に維持する。
感染	染	肝炎ウイルス感染検査と適切な措置を。機会があればピロリ菌検査を。

国立がん研究センターがん対策情報センター  
「日本人のためのがん予防法」より抜粋